

令和6年度

# 教育委員会の点検・評価 報告書

令和7年11月

あま市教育委員会

## — 目 次 —

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員会会議以外の活動状況
5. あま市教育立市プラン
6. 児童生徒数
7. 主な事業の取組状況

### (1) 教育総務課

- あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針
- 小中学校 I C T 化推進事業
- 小中学校施設管理
- 学校施設と他用途施設との複合化
- 学校施設長寿命化計画
- 小中学校施設整備事業

### (2) 学校教育課

- あまっ子宣言
- 児童生徒の表彰
- スクールサポーター配置事業
- 英語教育の推進
- 福祉実践教室
- 特別支援教育
- 特別支援教育連携協議会・幼保小連絡会
- 全国大会等出場報奨金
- 弁当の日
- Ama Teachers College
- 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

- キッズ防犯体験教室事業
- 通学路交通安全プログラム
- 教育相談センター事業
- 校内教育支援室
- 生徒指導の状況
- 学校教育課主催の会議
- 学校支援会議
- 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
- 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業
- キャリアスクールプロジェクト（県委託事業）
- 特色ある学校づくり推進事業
- 私立高等学校等授業料等補助金
- 外国人学校修学援助費
- 就学援助費
- 特別支援教育就学奨励費
- 区域外就学
- 指定学校変更
- 副教材
- 学校教育関係事業費補助金
- 学校給食事業

### （３）生涯学習課

- 生涯学習推進本部事業
- 公民館事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 文化の杜指定管理事業
- 美和文化会館事業
- 美和図書館事業

- 放課後子ども教室事業
- はたちの式事業
- あま発未来創造塾
- シルバーカレッジ事業
- 人権啓発推進事業
- 地域学校協働活動事業
- 社会教育団体育成事業
- 歴史民俗資料館事業
- 文化財保護啓発事業
- 文化財保存活用地域計画作成事業
- 社会教育施設整備事業
- 文化会館施設整備事業

#### (4) スポーツ課

- あま市スポーツ推進連絡会議
- スポーツ顕彰
- トップアスリート関係事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- 社会体育団体育成事業
- 夏休み学校プール開放事業
- 社会体育施設整備事業
- オリンピック・パラリンピック大会市民応援事業

### 8. 学識経験者による意見

## 1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表します。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

## 2. 教育委員会会議の開催状況

令和6年度は定例会を12回開催し、臨時会を1回開催しました。

### (1) あま市教育委員会委員（令和7年3月31日現在）

職名	氏名	任期
教育長職務代理者	みぞぐち まさみ 溝口 正己	平成29年6月25日～令和3年6月24日 令和3年6月25日～令和7年6月24日
委 員	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成22年3月22日～平成22年6月24日 平成22年6月25日～平成24年6月24日 平成24年6月25日～平成28年6月24日 平成28年6月25日～令和2年6月24日 令和2年6月25日～令和6年6月24日 令和6年6月25日～令和10年6月24日
委 員	さきの なつこ 笹野 奈津子	令和3年6月25日～令和7年6月24日
委 員	よしかわ たかこ 吉川 孝子	令和4年6月25日～令和8年6月24日
委 員	こんどう まさし 近藤 真司	令和5年6月25日～令和9年6月24日
教育長	いとう かつひと 伊藤 克仁	令和5年4月1日～令和8年3月31日

### (2) 教育委員会会議等

開催日	開始時間	議案件数	報告件数
令和6年 4月 1日（月）	午後1時30分	1件	0件
4月19日（金）	午後2時	3件	13件
5月16日（木）	午後2時	3件	8件
6月18日（火）	午後2時	6件	9件
7月10日（水）	午後2時	6件	7件
8月 6日（火）	午後2時	2件	8件
9月12日（木）	午後2時	1件	10件
10月18日（金）	午後2時	2件	8件
11月15日（金）	午後2時	4件	10件
12月18日（水）	午後2時	6件	11件
令和7年 1月17日（金）	午後2時	6件	6件
2月21日（金）	午後2時	6件	9件
3月17日（月）	午後2時	6件	13件

### 3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「後援申請」、「区域外就学、指定学校変更」、「特別支援学級の入退級」、「教育支援室の入室」、「就学援助費の受給審査」、「特別支援教育就学援助費の受給審査」、「外国人の就学に係る在籍学年変更」、「令和5年度教育委員会の点検・評価報告書（案）」、「補正予算（案）」、「市議会議案（案）」、「委員の委嘱」、「市議会議案（工事請負契約の締結）」、「あま市小中学校 ICT 化推進業務公募型プロポーザル審査委員会設置要綱の新設について」、「あま市立小中学校における通話録音装置の設置及び運用に関する要綱の新設について」、「あま市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部改正」、「あま市美和図書館の管理及び運営に関する規則の一部改正」、「あま市体育施設の管理及び運営に関する規則の一部改正」、「あま市立小中学校体育施設スポーツ開放実施規則の一部改正」、「小中学校へのチラシ配布基準の一部改正」、「令和7年度教職員定期人事異動仮内示等」、「あま市内教職員人事案件」、「市内中学校で発生したいじめ事案」など51件の議案が協議され、活発な議論がなされました。

さらに、教育長専決事項や月別長期欠席者・生徒指導報告など112件の報告を受けました。

また、臨時会（令和6年4月1日開催）では、「指定学校変更申請について（審議）（非公開）」の1件の議案が協議されました。

### 4. 教育委員会会議以外の活動状況

#### （1）会議以外の活動状況

教育委員会会議の他にも委員は様々な活動をしました。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。また、市長部局と連携し、予算の確保、議会答弁等市議会と積極的かつ綿密な関係をもちながら様々な事業を展開しました。

○市教育委員会関係	58回
○教育長用務	50回
○教育総務課事業	16回
○学校教育課事業	94回
○生涯学習課事業	31回
○スポーツ課事業	45回
○市行事	91回
○市議会関係	28回

#### （2）広域会議

- ①全国都市教育長協議会
- ②東海北陸都市教育長協議会
- ③愛知県都市教育長協議会
- ④愛知県市町村教育委員会連合会
- ⑤尾張部都市教育長会議
- ⑥海部東部教育委員会連絡協議会（令和6年度までで解散しました）
- ⑦海部地方教育事務協議会

#### （3）総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づき、市長は総合教育会議を開催し、教育委員会委員は参加しました。

- 第1回 令和7年1月27日（月）午後2時30分から あま市役所2階D会議室
- 議題（1）部活動の地域連携・地域移行について
  - 議題（2）学校給食費の値上げについて
  - 議題（3）学校での履物について

#### (4) 大学等との連携協力

##### 岐阜聖徳学園大学との連携協力（スクールパートナーシップ）

令和6年11月21日に岐阜聖徳学園大学とあま市教育委員会は、連携協力に関する協定書を更新しました。最初の協定は、令和元年度に取り交わしており、本協定を更新したことで、さらに3年間連携を行います。

期間 第1期 令和元年4月1日から令和 4年3月31日まで  
第2期 令和4年4月1日から令和 7年3月31日まで  
第3期 令和7年4月1日から令和10年3月31日まで

##### 連携の内容

- 1 「教育実習」に関すること
- 2 「学校インターンシップ」に関すること
- 3 教職員の資質向上研修等に関すること
- 4 その他、目的に資するもので双方が必要と認める事項に関すること

#### (5) 後援名義の使用許可

教育、学術、文化及びスポーツ等に関する事業を行う個人又は団体に対し、あま市教育委員会の後援名義の使用を許可することによって、その事業を奨励し、教育、学術、文化及びスポーツの振興に資することを目的としています。

##### (1) 教育総務課

新規 許可	3件	不許可	4件
専決 許可	6件	不許可	0件

##### (2) 学校教育課

新規 許可	0件	不許可	0件
専決 許可	1件	不許可	0件

##### (3) 生涯学習課

新規 許可	2件	不許可	2件
専決 許可	44件	不許可	0件

##### (4) スポーツ課

新規 許可	1件	不許可	0件
専決 許可	12件	不許可	0件

#### (6) 教育委員会交際費

教育委員会慶弔基準に基づき、教育委員はじめ学校関係者、条例や規則に規定する委員等の弔事・入院に対して、供花・弔電・見舞金等を送ります。

令和6年度は弔事等がなく、教育委員会交際費の支出はありませんでした。

### 5. あま市教育立市プラン

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）の育成を推進しています。この考えをもとに、平成24年4月に「あま市教育立市プラン」を策定し、令和4年3月に改訂を行いました。

#### 「あま市教育立市プラン」

施策1 学校の教育力を充実させ、あまっ子の学ぶ力を高める

□子どもの学力を高めるための実践

- 主体的、対話的で深い学びの推進
- ICT機器を活用した授業改善の推進
- ユニバーサル・デザインに基づく教育活動の推進
- 二期制のメリットを生かした教育活動

- ☐外部人材による支援
  - スクールサポーター・A L T等の活用
  - 学生ボランティアによる学校支援活動の充実
  - 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）による学校支援活動の充実
  - 大学等関係機関との連携協力の推進
- ☐個に応じた教育の推進
  - 教育支援・就学支援の充実
  - 特別支援教育に関する研修の充実
  - 小中連携教育の推進
  - 幼保小連携教育の推進
- ☐学校体育の充実
  - 学校体育の充実による体力の向上
  - 学校部活動の在り方の検討
- ☐食育の推進
  - 食育に関する取組
  - 弁当の日の取組
  - 食物アレルギー対策
  - 地産地消への取組
- ☐教職員の教師力の向上
  - 教職員の資質向上研修
  - 若い教職員の人材育成の充実
  - 教職員多忙化解消への取組

施策2 人に思いやりをもち、共に生きるあまっ子を育む

- ☐いのちを大切に作る心の教育の推進、人権教育の推進
  - 教育活動全般での道德教育
  - 特別の教科・道德の実践
  - 人権教育の推進
  - SDG s についての学習の推進
- ☐学校安全・防災に向けた活動の充実
  - 児童生徒の安全確保のための情報共有
  - 登下校時の見守り
  - 学校内、通学路の安全確保のための取組
- ☐いじめ・不登校を生まない環境づくりと早期対応に向けた取組
  - 教育相談センターでの相談、支援活動の充実
  - 各小中学校の生徒指導への支援
  - 不登校等対策協議会、いじめ問題対策連絡協議会の開催
  - 学校支援会議（緊急ケース会議）の開催
  - スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用

施策3 開かれた学校づくり、特色ある学校づくりを進める

- ☐地域・家庭・学校の相互連携、地域人材の活用推進
  - 学校運営協議会を活かした学校づくり（コミュニティ・スクール）
  - 民生委員・児童委員との連絡会の開催
  - 学校関係者会議の開催
  - 総合的な子ども支援の推進
  - 教育人材バンク（学びの道の案内人）の活用
  - 出前授業の講座の充実
  - 地域との連携を生かしたキャリア教育の推進
  - 地域を主体とした学校施設の管理及び有効活用の推進
- ☐地域に開かれた特色ある学校づくりの推進
  - 特色ある学校づくりの推進



- 学校からの情報公開、情報発信の推進
- 学校評価制度による学校評価
- 施策4 学校の教育環境の整備と充実に努める
  - 安全・安心な学校づくりの推進
    - 快適な学校教育環境の整備
    - ICTを活用した学習環境の整備
    - オンライン授業の実施等に向けた教育環境整備と実践
    - 児童生徒にとって望ましい学校の規模やあり方の検討と整備
    - 教職員が働きやすい教育環境の整備
  - 新たな教育課題への対応
    - 教育課題検討委員会による新たな教育課題への対応
- 施策5 共に考え、学び、楽しむ生涯学習社会を創る
  - 社会教育施策機能の充実
    - 公民館等を拠点とした生涯学習活動の推進
  - 家庭の教育力の向上
    - 家庭教育事業の推進、企業に対する家庭教育の啓発
  - 読書活動の推進
    - 図書館等の利用促進（図書室、読書室を含む）
    - 子どもの読書活動の推進
  - 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対する支援
    - 子ども・若者支援地域協議会、子ども・若者相談窓口における支援
  - 若者世代の能力活用
    - まちづくりに関わる若者を支援
  - シニア世代の能力活用
    - シニア世代の活力を地域で活かすための支援
  - 人権教育の充実
    - 人権教育・啓発事業の推進
  - 地域を中心とした社会活動の推進
    - 学校、地域の活動に関わる市民・団体、その他関係機関との連携による社会参加活動の推進
  - 豊かな芸術文化活動の振興
    - 芸術文化活動等への支援
  - 文化財の保護と積極的な活用の促進
    - 資料館を活用した郷土学習
    - 地域の歴史文化の保存と継承の推進
    - 観光、教育の場における歴史・文化財の活用
  - 生涯学習活動拠点の整備
    - 社会教育施設の整備
- 施策6 スポーツ環境の充実に努める
  - 市民のニーズにあったスポーツの推進
    - スポーツ推進計画の策定
    - 社会体育施設の充実
    - 小中学校体育施設スポーツ開放の有効活用
    - 地域スポーツ、生涯スポーツの推進
    - 青少年健全育成活動の充実

## 「あまっ子宣言」

あまっ子宣言（平成26年4月1日制定）

- 一 「おもしろい」気持ちを大切にします。自ら学び、世界にはばたきます。
- 一 伝統を守り、文化を創り出します。世界につながる和の心を大切にします。
- 一 人をいたわります。誠を尽くして、正しい道を進みます。
- 一 命は一人ひとりの宝物です。心と体を鍛え、大切な命を守ります。
- 一 いじめはしません。手をさしのべ、助け合う仲間づくりを目指します。
- 一 差別をなくします。自分を大切にし、相手の気持ちを考えます。

※「あまっ子」：自らの判断と責任で、諸課題に取り組むことができる力を備えたあま市の子どもに対する親しみやすい名称

## 目指す「あまっ子」

—「自らの判断と責任」で、諸課題に取り組むことができる子どもの育成—

『広い知識と教養』

学ぶ楽しさを通して自らの可能性と人生を切り拓く

『情操と道徳心』

礼儀や規律を重んじ、家族を大切にし、他者を思いやり相手の人格を尊重して行動する

『健やかな体』

生命を尊び、自らの健やかな体を作る

『郷土愛と社会参画意識』

あま市の伝統や文化を愛し、積極的に社会にかかわり地域の諸課題に取り組む

『国際社会へ寄与する心』

日本の伝統や文化を知り、国際社会に貢献する

## 6. 児童生徒数

令和6年5月1日付け児童生徒数

学校名	クラス数	児童生徒数
七宝小学校	17クラス	354人
宝小学校	9クラス	122人
伊福小学校	15クラス	324人
秋竹小学校	10クラス	167人
美和小学校	17クラス	327人
正則小学校	15クラス	301人
篠田小学校	17クラス	362人
美和東小学校	16クラス	281人
甚目寺小学校	26クラス	562人
甚目寺南小学校	34クラス	775人
甚目寺東小学校	24クラス	615人
甚目寺西小学校	23クラス	488人
小学校計	223クラス	4,678人
七宝中学校	13クラス	368人
七宝北中学校	9クラス	163人
美和中学校	24クラス	661人
甚目寺中学校	22クラス	664人
甚目寺南中学校	21クラス	542人
中学校計	89クラス	2,398人
合 計	312クラス	7,076人

## 7. 主な事業の取組状況

### (1) 教育総務課

#### ■あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針

##### ○あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針

令和6年1月19日 あま市教育委員会決定

あま市教育委員会は、あま市小中学校あり方検討委員会報告書を受けて、次の課題についてあま市立小中学校のあり方に関する基本的方針を決定した。

#### (1) 小規模校と大規模校について

小規模校及び大規模校のそれぞれにメリットとデメリットがあり、特色ある学校運営を支援するが、単学級学年まで小規模となることは望ましくない。

学校の適正規模を確保し、教育の質的充実を図るため、小中一貫教育を行う学校を設置することを目指す。小中一貫教育を行う学校は、併設校とするか義務教育学校とするかは検討課題とする。ただし、すすめ方やその在り方については市民に理解が得られるよう丁寧に説明するものとする。

大規模校については、当面の間は現状維持とするが、過大規模校となることは望ましくない。

#### (2) 施設等の共有化・複合化について

全小中学校において学校プールをはじめとするあらゆる施設の共有化を進める検討をし、共有化できる施設については共有化する。ただし、その検討は慎重に行うものとし、施設の老朽化を考慮するものとする。空き教室や共有化で空いた施設などについては複合化を進める。

#### (3) これからの学校・学校と学校・学校と地域のあり方について

##### ①学校と家庭と地域のあり方

学校運営協議会について、地域コーディネーター及び地域学校協働本部を積極的に用いて、学校運営における地域コミュニティや外部の専門性の活用を推進する。学校運営協議会と地域ボランティアの取組について、教育委員会は、広く市民へ広報する。

学校、学校運営協議会及び地域の活動は、それぞれ主体性をもった活動がお互い無理のない範囲で連携しあう活動であり、協働及び共生により学級、学校、地域へとウェルビーイングの範囲が広がるものであることを目標とする。

##### ②学校間交流のあり方

幼保小中の詳細な情報連携とスムーズな移行を支援する。市内幼保小及び小中学校間の交流を支援するが、過度な負担とならないよう配慮する。

##### ③特別支援教育における学校のあり方

校内の適応指導教室、特別支援学級、市の適応指導教室、民間施設を含めた制度間の切れ目ない支援を行う。

特別支援教育について、不登校の児童生徒のみならず、普通学級を含めた発達障害などの特性がある児童生徒への支援の視点を持ち、ひとりで勉強できたり気持ちを持ちをクールダウンできたりする部屋を用意したり、オンラインによる授業参加やe-ラーニングなど、児童生徒がそれぞれの特性に応じて自分を活かし、多様な学びを実現できる環境整備並びにICT利活用を図る。

#### (4) ICT利活用について

先進的ICT活用法を日常生活の中での活用から始め、徐々に授業での活用へと進める。ICT支援員を活用し、教職員と児童生徒の学校全体での利活用を推進する。

小学校入学から中学校卒業まで一貫して児童生徒のデータを収集、蓄積、活用することで、成長の過程を指導に活かす。

教職員による児童生徒のデータの蓄積のみならず、児童生徒自身の日常利用によるデータの収集、蓄積、活用を目指す。

## (5) 働く場としての学校

I C T及びA Iを積極的に活用し教職員の働き方改革を推進する。

教職員の本務以外の仕事をスクールサポーターや学校運営協議会による地域への取り組みによって担えるように推進する。

子ども家庭センターとの連携を推進し、スクールソーシャルワーカー並びにスクールカウンセラーなどの専門職による分業によりチーム学校での学校運営を進める。

教職員の在校時間を可視化し、集計することとともに、教職員の意識を高める取組やライフワークバランスの取組をする。

中学校部活動の地域移行を推進する。

### 対象期間

この基本的方針の対象期間は、

令和6年度から令和15年度までの10年間とする。

対象期間経過後は、新しい基本方針等に変更するか継続とするか検討するものとする。

## ○あま市小中学校あり方課題別検討委員会

あま市小中学校あり方検討委員会報告書を受けて決定したあま市立小中学校のあり方に係る基本的方針にのっとり、小中学校の将来を見据えたあり方に向けて具体的な方策を実施するにあたり、学校関係者及び市民などから広く意見を聴取するため、あま市小中学校あり方課題別検討委員会を設置する。

### (1) あま市小中学校あり方課題別検討委員会（学校プール）

**課題** あま市内小中学校の学校プールは、ほとんどが昭和40年代から昭和50年代に設置されたもので、老朽化が著しい。プール槽、水道配管、ろ過装置のいずれも老朽化に伴う不具合が散見され、原因箇所不明の水漏れが常態化している学校プールもあり、年々必要な修繕費が上昇してきている。

児童生徒数が減少する中、学校プールを共有化できないか、共有化できない場合は民間プールに委託できないか、その場合にどのようなことを考慮する必要があるかを検討する。

水泳授業を外部民間委託する場合は、プール施設の清掃、水質管理等の業務を委託先が行うことから、教職員の負担軽減が期待され、委託先インストラクターによる支援によって、教育効果の向上が期待できる。

### 基本的方針

「あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針」 令和6年1月19日

### (2) 施設等の共有化・複合化について

### 委員会スケジュール

1回／全1回 開催日 令和6年10月23日（水）

開催場所 あま市役所 2階 E会議室

### 委員

株式会社ルネサンス 公共施設・学校水泳チーム課長

ゼット工業株式会社 アクアテック事業部サービス課

甚目寺小学校 校長

甚目寺中学校 教職員 水泳部顧問

学校教育課 課長

スポーツ課 課長

**報告書** あま市小中学校あり方課題別検討委員会（学校プール）報告書

令和6年10月23日

### (2) あま市小中学校あり方課題別検討委員会（部活動）

**目的** 休日部活動について、小中学校の将来を見据えたあり方に向けて具体的な方策を実施するにあたり、学校関係者及び市民等から広く意見を聴取するため。

**部活動の方針及び市の現状** 国は、部活動の地域連携や地域スポーツ・文化クラブ活動移行に向けた整備として、令和５年度から令和７年度の３年間を改革推進期間として定めている。

あま市内５中学校の部活動は、運動部１１種目、文化部７種目の部活動が存在している。

**改革の必要性** これまでの部活動は、教師による献身的な勤務の下に成り立っており、持続可能な部活動と学校の働き方改革の両方を実現するためには、特に休日部活動における教師の負担軽減を図る必要がある。

学校教育の一環として行われる活動であるが、教師が担う必要のないものであることを踏まえ、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築する。

一方で、休日における生徒の活動の場を確保するため、休日において部活動を地域の活動として実施できる環境を整えることも重要である。

### **基本の方針**

「あま市立小中学校のあり方に関する基本の方針」 令和６年１月１９日

(３) これからの学校・学校と学校・学校と地域のあり方について

①学校と家庭と地域のあり方

(５) 働く場としての学校

### **委員会スケジュール**

１回／全１回 開催日 令和７年１月２３日（木）

開催場所 あま市役所 ２階 Ｄ会議室

### **委員**

至学館大学 教授

アスフィール株式会社

あま市ＰＴＡ連絡協議会 会長

あま市ＰＴＡ連絡協議会 副会長

あま市ＰＴＡ連絡協議会 副会長

甚目寺小学校 校長

甚目寺中学校 校長

部活動顧問代表（七宝中学校）

部活動顧問代表（七宝北中学校）

部活動顧問代表（美和中学校）

部活動顧問代表（甚目寺中学校）

部活動顧問代表（甚目寺南中学校）

生涯学習課長

スポーツ課長

**報告書** あま市小中学校あり方課題別検討委員会（部活動）報告書

令和７年１月２３日

### **(３) あま市小中学校あり方課題別検討委員会（小中一貫教育）**

**課題** 基本の方針に基づき、あま市内に小中一貫教育を行う学校の設置を目指し、計画の策定を進める。義務教育学校とするものか、併設校とするものか、どの地域にどのような形の小中一貫教育を行う学校を設置することを目指すのかの計画策定に先立ち、市内小中学校の校長から意見を聴取する。

なお、小中学校から意見を聴取することは、今回に限らず、今後必要に応じて複数回行うものとする。

### **基本の方針**

「あま市立小中学校のあり方に関する基本の方針」 令和６年１月１９日

(１) 小規模校と大規模校について

### **委員会スケジュール**

１回／全１回 開催日 令和７年２月１０日（月）

開催場所 あま市役所 2階 C会議室

#### 委員

あま市小中学校長会長 伊福小学校 校長  
七宝北中学校 校長  
宝小学校 校長  
秋竹小学校 校長  
美和東小学校 校長  
美和中学校 校長  
美和小学校 校長  
正則小学校 校長  
篠田小学校 校長  
甚目寺中学校 校長  
甚目寺小学校 校長  
甚目寺東小学校 校長  
甚目寺西小学校 校長  
甚目寺南小学校 校長

#### オブザーバー

七宝小学校 校長  
七宝中学校 校長  
甚目寺南中学校 校長

報告書 あま市小中学校あり方課題別検討委員会（小中一貫教育）報告書  
令和7年2月10日

#### （4）あま市小中学校あり方課題別検討委員会（タブレット端末持ち帰り）

課題 令和7年9月からの小中学校ICT化推進事業に合わせて、あま市小中学校にクラウドフィルタリングが導入される。クラウドフィルタリングを導入することにより、児童生徒のタブレット端末の持ち帰りについて、オンラインによる持ち帰り学習が可能となる。

あま市の小中学校は、令和3年度のタブレット端末利用開始以後、持ち帰り学習が積極的には実施されてこなかったため、有識者から先進事例についての知見を得ながら、各小中学校の希望を聴取し、持ち帰り学習に係るガイドラインを作成する。

#### 基本的方針

「あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針」 令和6年1月19日

#### （4）ICT利活用について

#### 委員会スケジュール

1回／全1回 開催日 令和7年3月28日（金）

開催場所 あま市役所 2階 A会議室

#### 委員

学校法人SOLAN学園 理事長  
株式会社内田洋行 教育ICT事業部 名古屋営業所  
ラインズ株式会社 文教グループ  
甚目寺東小学校 教務主任  
甚目寺南中学校 教頭

報告書 あま市小中学校あり方課題別検討委員会（タブレット端末持ち帰り）報告書  
令和7年3月28日

評価： あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針にのっとり小中学校の将来を見据えたあり方に向けて具体的な方策を実施するにあたり、学校関係者及び市民などから広く意見を聴取するため、あま市小中学校あり方課題別検討委員会を4回開催しました。

あま市小中学校あり方課題別検討委員会報告内容をそれぞれの教育活動に反

映していきます。

- ・評価指標  
会議開催回数
- ・評価に係るエビデンス  
会議を4回開催

目標： 令和7年度は、あま市小中学校あり方課題別検討委員会を5回開催する予定です。

あま市小中学校あり方課題別検討委員会では、あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針にのっとり小中学校の将来を見据えたあり方に向けて具体的な方策を実施するにあたり、学校関係者及び市民などから広く意見を聴取します。

- ・数値目標  
あま市小中学校あり方課題別検討委員会を5回開催する。

## ■小中学校ICT化推進事業

国が提唱する「GIGAスクール構想」を実現するため、義務教育段階の児童生徒1人1台端末環境の実現と、市内小中学校に高速大容量の情報通信ネットワーク環境を構築し、運用しています。

### ○概要

1人1台タブレット端末（iPad）（教職員用・児童生徒用）8,032台  
校内無線LAN網及びセンターファイアーウォール  
高速大容量のインターネット通信  
普通教室・職員室のiPad充電保管庫  
普通教室・特別教室・パソコン教室の大型提示装置（AppleTV付）  
モバイルWi-Fiルーター  
オンライン有償ドリル教材、授業支援用アプリ、端末管理アプリ  
タブレット端末運用管理委託・保守委託（学校ヘルプデスク）  
小中学校ICT支援業務（ICT支援員）

### ○経緯

令和3年	3月	校内無線LAN網敷設及びセンターファイアーウォール設置 高速大容量のインターネット通信開始 1人1台タブレット端末購入納品 各教室・職員室のiPad充電保管庫設置 普通教室・特別教室の大型提示装置設置（一部未設置）
令和3年	4月	オンライン有償ドリル教材利用開始 学校ヘルプデスク運用開始
令和3年	8月	普通教室・特別教室の大型提示装置設置（完了）
令和3年	12月	モバイルWi-Fiルーター購入 パソコン教室の大型提示装置設置
令和4年	4月	ICT支援員によるICT支援業務開始 GIGAスクール運営支援センター運用開始
令和5年	4月	授業目的公衆送信保証金制度加入
令和5年	8月	あま市小中学校児童生徒用モバイルルーター等貸出要綱施行

### ○あま市教育課題検討委員会（GIGAスクール構想への対応について）

#### ・シーズン1

全12回（令和2年10月28日から令和4年3月9日まで）

令和4年3月16日（水）付け答申

- ①ICTを活用した学習活動の充実に向けて、引き続き教職員研修の継続、各校の実践事例の共有、コンピュータ室の設備環境の工夫を行いながら、児童・生徒の情報活用能力の育成を図る。
- ②タブレット端末を活用したさらなるICT教育推進のため、令和4年度も検討

委員会を継続して開催し、新たな課題への検討・解決に努める。

## ・シーズン2

全11回（令和4年4月27日から令和5年9月15日まで）

令和5年10月2日（月）付け答申

- ①今後もICTを活用するための環境整備とATC研修を中心とした教員の力量向上の促進を図る。
- ②オンライン学習、オンライン授業を推進していくために、iPadの持ち帰りやWi-Fiルーターの貸与等といった物理的な環境に加え、指針や規定などの整備を進める。
- ③学校DXを推進していくために、学校DXについて市と市ICT部会の間で連携を密にし、各校の情報を交換したり、先進的な事例を学んだりできる環境を整える。
- ④校務支援システムに新機能（保護者からの欠席連絡等）の追加等のソフトウェア面の環境整備を進め、業務の効率化につながるような機能を校務支援システムに組み込んでいくことで学校DXの促進を図る。
- ⑤本市と他市町村とICT環境が異なるため、4月に赴任した教職員対象の研修支援が必要となる。また市が求める教職員のICT活用能力を育成するためには、市主導の計画的な講習を設定する。
- ⑥さらなるICT活用（学校DXやオンライン授業等）を進めていくためには、より専門的な知識や技能習得が必要となり、これまで以上にICT支援員の時間数を増やす。

## OGIGAスクール構想への対応に向けた研修

### <ロイロノート（学習支援システム）・eライブラリ（学習ドリル）研修>

それぞれの学校において、下記のメニューの中から少なくともひとつ選択し、研修を実施した。

- ・学校で必要に応じてロイロに講師を依頼し、校内現職教育として対面またはオンラインで研修を実施。
- ・ロイロの用意する研修パッケージを活用して、校内で研修を実施。
- ・ロイロの用意する無料オンライン研修を、必要に応じて全体又は各自で受講。
- ・ラインズに講師を依頼し、校内現職教育として対面又はオンラインで研修を実施。
- ・ラインズの用意する無料オンライン研修を、必要に応じて全体又は各自で受講。

学校名	ロイロ		eライブラリ	
七宝小学校	夏休み期間中	オンライン研修	／	全職員が問題なく使用できるため受講していない
宝小学校	5月2日	研修パッケージ	5月2日	教職員が講師
伊福小学校	4月9日	研修パッケージ	4月9日	教職員が講師
秋竹小学校	／	全職員が問題なく使用できるため受講していない	／	全職員が問題なく使用できるため受講していない
美和小学校	8月21日	研修パッケージ	／	全職員が問題なく使用できるため受講していない
正則小学校	夏休み期間中	オンライン	4月中	個別オンライン
篠田小学校	7月中	オンライン	8月中	教職員が講師



美和東小学校	7月17日	教職員が講師	6月10日 7月17日 11月25日 2月10日	個別オンライン 教職員が講師 個別オンライン 個別オンライン
甚目寺小学校	4月10日	研修パッケージ	4月10日	教職員が講師
甚目寺南小学校	/	全職員が問題なく 使用できるため受 講していない	5月20日 9月9日	対面研修 個別オンライン
甚目寺東小学校	4月～8月	オンライン	4月～8月	個別オンライン
甚目寺西小学校	4月3日 5月8日	オンライン	4月3日 及び5月	教職員が講師
七宝中学校	4月3日	教職員が講師	4月3日	教職員が講師
七宝北中学校	4月～9月	オンライン	9月9日 11月25日	個別オンライン
美和中学校	8月19日	教職員が講師	12月5日 1月14日 1月20日	個別対面 個別オンライン 個別オンライン
甚目寺中学校	7月19日	研修パッケージ	7月19日	教職員が講師
甚目寺南中学校	8月28日	教職員が講師	5月13日 8月28日 9月9日	対面研修 教職員が講師 個別オンライン

<エヴァンジェリスト研修（学校での伝達研修）>

9月19日（木）Doit 代表取締役 土井 敏裕 氏

「あま市学校情報セキュリティポリシーを読み解く」

3月21日（金）デジタルアーツ株式会社

プロモーション課副主任 黒川 衣紗菜 氏

「情報リテラシー」

**評価：** 研修アンケートからも、本研修が学校におけるタブレット端末の有効的な活用のために必要な情報を提供するだけでなく、教師・児童生徒の活用能力や必要な知識を高めることにつながっているという回答を得ることができました。一人だけで実践するのではなく、仲間と相談しながら研修を受けることができるのは、特に苦手な教師にとっては有用であると言えます。ただし、一方で十分な活用に至っていない教師や児童生徒がいることも明らかになりました。

また、参加者からは情報リテラシーや情報セキュリティなど、デジタル・シティズンシップ教育に関する最新情報を得られたことが有意義であったとの回答が寄せられました。現在の取組を見直す良いきっかけになったという意見もあり、情報分野における急速かつ多様な変化を整理し、包括的な内容を解説する研修は有用であったと言えます。

一方で、「情報」という広範なテーマを扱うため、学校内での伝達研修の実施に不安を感じるという声もありました。このような意見を踏まえ、今後の研修実施方法について再考が必要であると考えられます。

・評価指標

学習支援システム及び学習ドリルの研修を両方実施した校数

・評価に係るエビデンス

13校／全17校

**目標：** 令和7年度も引き続き、1人1台端末（タブレット）のさらなる活用に向け、  
定着・発展期と位置付け、教職員への研修を行います。

・ **数値目標**

**全17校での研修実施**

**OGIGAスクール構想への対応に向けた校内ICT機器等の運用**

適切かつ効果的にICT機器等を活用できるよう細かな運用ルールを定めたり、実証実験を行ったりしました。

・ **学校ヘルプデスク**

保守運用契約にて、ワンストップの窓口対応を行いました。

不具合履歴のインシデント管理や運用支援、システム全体の一次問合せ及びリモートトラブル対応又は一次切り分けを行った上で復旧までの確認等を行いました。

・ **デジタルテスト採点システム百問繚乱の導入（令和5年度試行、令和6年度導入）**

株式会社シンプルエデュケーション社製のオンラインによるデジタルテスト採点支援システムである「百問繚乱」を市内全中学校で導入しました。

・ **中学生のためのIT・プログラミング教育サービスライフイズテックの試行**

ライフイズテック株式会社が運営する中学生・高校生のためのIT・プログラミング教育サービスであるライフイズテックを令和5年度に七宝中学校と美和中学校で試験導入し、令和6年度に全中学校で試行しました。

・ **教育機関向けCANVA（キャンバ）の利用**

画像等を編集し授業に活用できる教育機関向けCANVAを全校で利用開始しました。

・ **中日新聞@school（チュースク）の期間限定試験利用（秋竹小）**

中日新聞社が学校現場に提供している小中学校向けニュース配信サイトで、毎日ニュース記事や読み物、低学年でも気軽にみられる写真や動画などの多様なコンテンツが配信されます。学習用のタブレット端末及び教職員が利用するデバイスからブラウザを使って閲覧することができます。秋竹小学校で期間限定で試験利用しました。

・ **タブレット端末持ち帰り実証実験（甚目寺東小学校・甚目寺南中学校）**

**①あま市立甚目寺東小学校**

**第1回**

時期：令和6年12月12日（木）～12月13日（金）

対象：5年3組 31人

持ち帰りをしなかった人数：欠席のため 3人、希望しなかった 1人、  
その他 0人

内容：オンライン環境でロイロノートの課題に取り組み、提出機能を使って課題を提出する。教科書を使って課題を調べ、ロイロノートに答えを入力したカードを提出する。

良かった点：あま市のポケットWi-Fiを利用した家庭は、30家庭中わずか1家庭だけでした。その理由は、「家庭のWi-Fiに接続は可能だが、通信環境に不安がある」ということでした。

多くの家庭が家庭のWi-Fiに接続しても良いと判断していることが分かりました。

課題となった点：27人中、23人は、オンライン課題を提出することができ、4人は提出することができなかった。

提出できなかった原因は、家庭のWi-Fiの接続方法に伴うもの。

Wi-Fiの接続方法が分からなかったため、父親が帰宅するまでタブレットを家庭のWi-Fiに接続できず、帰宅後の夜間に作業をして、夜遅くや翌朝に課題を提出した家庭もあった。

## 第2回

時期：令和7年1月22日（水）～1月23日（木）

対象：2年2組 31人

内容：オンライン環境でロイロノートの課題に取り組み、提出機能を使って課題を提出する。グーグルクラスルームに指定されたお題についてコメントを書き込む。

良かった点：あま市のポケットWi-Fiを利用した家庭は、29家庭中2家庭でした。その理由は、「家庭のWi-Fiに接続は可能だが、通信環境に不安がある。」が1件、「家庭にWi-Fi環境がない。」が1件でした。

接続に必要な機器や費用の負担を希望する家庭はほとんどなく、多くの家庭が家庭のWi-Fiに接続しても良いと判断していることが分かりました。

課題となった点：担任がグーグルフォームで、児童にアンケートを取りました。29人中、4人は、家庭のネットワークに接続することができなかった。接続はできた25人中、出された課題のクラスルームにコメントを書き込むことができなかったのが3人いた。

多くのご家庭で、保護者の方に手伝ってもらいながら課題に取り組めた。

実施後のご意見：実施しての感想として、そこまで難しいことではありませんでした。実際に実施してみると、インターネット接続のための費用負担を求められたり、家庭で使うWi-Fiルーターを貸してくださいであるとかの要望が保護者から多く出ると思っていたのですが、ほとんどありませんでした。ほとんどのご家庭が実証実験にご理解をいただき、ご自宅の無線LAN環境に接続してもいいよとおっしゃっていただけでした。

感想としては、ICT機器が苦手なご家庭もあるようで、父親が仕事から帰ってきた夜の遅い時間に一緒にWi-Fiに接続して、それから課題をやったというご家庭もありました。慣れてきたら、そのあたりは解消されそうです。

保護者の方も日本語が良くわからず、児童も日本語があまり上手ではないご家庭は、説明に苦労しました。それ以外には、特別苦労したことはありませんでした。

## ②あま市立甚目寺南中学校

### 第1回、第2回

時期：令和6年11月26日（火）～令和6年12月3日（火）

令和6年12月23日（月）～令和7年1月6日（月）

対象：中学1年生 160人

保護者文書：保護者案内は出したが、同意書はとっていない。

内容：オンラインでeライブラリの一斉課題配信機能を使って、宿題を出した。総合的な学習の一環で、親にインタビューをし、ロイロノートにまとめるという宿題を出した。

各自が必要に応じ持ち帰りを実施している。教員が一斉課題として出すこともあるし、生徒が自主的に学習したいから、個々に持ち帰ることもある。

良かった点：同意書をとらないことにしたが、質問や意見があった家庭はほとんどなかったと把握している。とくに利用率は、持ち帰りをきっかけに一気にすすんだと思われる。また、一斉個別課題だけにとどまらず、自分で学習を進めている生徒も見受けられ、自由進度学習のきっかけにもなった。

当初、心配していた生徒指導的なトラブルについては、ほとんどなく「オンラインだから」起こる問題行動は今のところ見られない。

課題となった点：保護者からの意見が1件。普段からスマホ等を渡していない生徒で、学校から持って帰ってきたタブレットでゲームをして遊んでいる……。保護者が管理して使わせてくださいとお伝えして納得いただいた。

実施後のご意見：実証実験は、1年生全生徒を対象に行い、合計3回の実施をしました。第1回目は、土日にeライブラリで課題を行うというものでした。全員が課題に取り組むことができたわけではありませんが、意欲のある生徒は課題に取り組んで、課題として出されたものを全て行って、提出をしました。また、教職員も課題の取組状況を確認することができました。

モバイルWi-Fiルーターの貸し出しについては、概ね全体の5%程度、7～8人が利用しました。最初は、接続に際して、2回、3回と連絡をしてフォローをする必要がありましたが、最終的には全員が利用することができました。モバイルWi-Fiルーターの貸し出しと利用については、成功したと言っているのかなと思います。

第2回目は、1年生の総合の学習の一環として、ご家庭の保護者に職業についてインタビューを行い、最終的にロイロノートを利用して報告書にまとめるという課題を出しました。生徒にとって、課題のレベルが高めであると認識されたようで、取り組むことができなかった生徒もいましたが、普段の授業でもロイロノートを使用しており、多くの生徒は自宅であろうと問題なく使用できたようです。生徒の声としては、ゆっくり課題に取り組むことができ、やりやすかったというものもありました。

冬休みでの持ち帰りが問題なく行うことができたことから、2月ごろからは毎日持ち帰りをしてよいという取組を行いました。持ち帰りを希望する場合は、毎日、担任の先生に今日は持ち帰りますと申し出て許可を得て持ち帰り、翌朝に担任のもとに持ってきて、戻ったことを確認するという手順で行いました。何人かが、家に忘れてきてしまって、翌日授業で使うことができなかったというデメリットもありましたが、その後、家でeライブラリなどを使って補填するという取組も行ってみました。そのため、学習に遅れが出るということは最小限で済んだのかなと思います。

その他で、学校において問題であると共有されたことは、帰る途中でタブレット端末をカバンから出して落としてしまった事例や、同じく出してキーボード付きカバーを落としてしまって、地域の方が拾ってくださり戻ってきた事例があったことです。この辺りは、しっかりと生徒に注意を喚起し、指導をしていかななくてはならないと考えます。

保護者から連絡があった内容として、普段はスマホやテレビなどについて、時間を決めて使用させているご家庭もあり、タブレット端末を持ち帰って自宅で遊んでいた生徒もいたようで、どのように指導したらよいですかとアドバイスを求める相談がありました。家庭では保護者の管理の下、タブレット端末を使用させるようにしてはどうかと答えました。家庭の中での使い方については、それぞれのご家庭で決めていただく他ないかなと、事前に校内で話し合っていたので、そのようにご案内をすることができました。

表立ったトラブルとしては、以上となります。写真撮影にまつわるトラブルなどを危惧していましたが、そのようなこともなく安心しました。

## ○あま市内小中学校 I C T 支援業務

小中学校に導入されている又は新たに導入される I C T 機器等を有効活用し、あま市の小中学校における I C T 利用教育を促進するための支援（以降、「I C T 支援」という。）を学校現場において教職員個人及び児童生徒に対して実施することにより、I C T 利用教育に習熟した教職員の育成、児童生徒の I C T 利活用能力の向上を図りました。

小学校 12 校、中学校 5 校で実施

1 校あたり月 1 日、1 日あたり 8 時間の学校現場における I C T 支援業務を行う。（17 校×1 日×12 か月＝204 回（1,632 時間））

### ・ I C T 支援業務の詳細

- ①授業支援（I C T 機器等活用教育）
- ②授業支援（プログラミング教育）
- ③ティームティーチング
- ④授業準備支援
- ⑤教材開発支援
- ⑥教員研修
- ⑦情報提供
- ⑧保守・修繕作業にあたる教職員への支援
- ⑨学校教育活動全般に係る I C T 利用へのアドバイス

## ○教職員の I C T 利活用能力の評価指標

支援効果の評価指標として、「段階的なタブレット活用のイメージ」を用いる。なお、支援効果の評価は教職員による自己評価でも可とし、ステージそれぞれの行為を授業中に行ったか否かにかかわらず、それぞれの行為をする能力があればよいものとする。

### 「段階的なタブレット活用のイメージ」

＜タブレット端末を使い始める＞

#### ステージ 0（活用なし）

教職員はタブレット端末の操作をすることができない。

＜タブレット端末を授業で使う＞

#### ステージ 1（一斉学習）

教職員は児童生徒へ一斉に教材等の提示ができる。

#### ステージ 2（個別学習）

教職員は児童生徒へ個別に教材等の提示ができる。

＜創造的な学び・先進的な学び＞

#### ステージ 3（個別学習）

教職員は児童生徒と双方向の教材等のやりとりをすることができる。

#### ステージ 4（協働学習）

教職員は児童生徒個人と双方向の教材等のやりとりをすることができ、児童生徒のグループと双方向の教材等のやりとりをすることができる。かつ、教職員は児童生徒の個人間の教材等のやりとりをさせることができ、児童生徒のグループ間での協働制作をさせることができる。

**評価：** 実際に運用しなければ見えてこない問題も多数あり、適切かつ効果的な I C T 機器等の活用のため、その都度、問題を検証・検討し、ルールを定めました。

I C T 支援業務による I C T 支援員が学校現場において教職員個人及び児童生徒に対して I C T 利活用支援を行うことにより、I C T 利用教育に習熟した教職員の育成、児童生徒の I C T 利活用能力の向上を図ることができました。

・評価指標

年間目標

目標 1 年度末業務完了時に全校で、ステージ 0 の教職員の割合が 0 % 以下

目標 2 年度末業務完了時に全校で、ステージ 3 以上の教職員の割合が 6 0 % 以上

目標 3 年度末業務完了時にチームティーチング授業を各校 1 回以上実施

・評価に係るエビデンス

令和 6 年度 I C T 支援業務評価報告書（各ステージの教職員の割合）

ステージ 0 平均 0. 0 0 %

ステージ 1 平均 2. 8 6 %

ステージ 2 平均 3. 7 0 %

ステージ 3 平均 1 0. 3 3 % ステージ 3 以上 9 3. 5 6 %

ステージ 4 平均 8 3. 2 3 %

令和 6 年度 I C T 支援業務完了届（年間実施回数）

ア 授業支援（I C T 機器等活用教育） 8 回

イ 授業支援（プログラミング教育） 3 7 回

ウ ティームティーチング 1 5 6 回

エ 授業準備支援 2 3 4 回

オ 教材開発支援 3 回

カ 教員研修 2 7 回

キ 情報提供 6 4 回

ク 保守・修繕作業にあたる教職員への支援 6 2 3 回

ケ 学校教育活動全般に係るアドバイス 2 3 1 回

目標： 令和 7 年度も引き続き、適切かつ効果的な I C T 機器等の活用のため、様々な問題について検証・検討し、さらなる授業への I C T 機器等の活用を図ります。

・数値目標

I C T 支援業務の年間目標

目標 1 年度末業務完了時に全校で、ステージ 1, 2 の教職員の割合が 10 % 以下

目標 2 年度末業務完了時に全校で、ステージ 3, 4 の教職員の割合が 50 % 以上

目標 3 年度末業務完了時に全校で、ステージ 5, 6 の教職員の割合が 20 % 以上

目標 4 年度末業務完了時にチームティーチング授業を各校 1 回以上実施

○ I C T 機器等購入及び I C T 機器等修繕並びに工事

・ I C T 機器購入

特別支援学級増による可搬式モニター及びモニタースタンド購入 3 件(甚目寺東小学校、七宝中学校及び七宝北中学校)

A p p l e TV 購入 5 件(美和東小学校、甚目寺東小学校、七宝中学校、七宝北中学校及び甚目寺南中学校)

・ I C T 機器等修繕

G I G A スクールに係る 1 人 1 台端末修繕（フィルムはがれ 9 8 台分）

タブレット端末周辺機器修繕 1 件(甚目寺南中学校)

・ I C T 機器等工事

学級増による大型提示装置設置工事 2 件(甚目寺小学校及び甚目寺中学校)

学級増等によるタブレット充電保管庫設置工事 2 件(甚目寺東小学校及び美和中学校)

次年度教室配置替えによるタブレット充電保管庫移設工事 1 件(甚目寺西小学校)

i ルーム新設によるアクセスポイント設置工事 1 件(七宝中学校)

学級増によるアクセスポイント設置工事 2 件(甚目寺東小学校及び七宝中学校)

評価： 購入及び修繕・工事を実施することにより、児童生徒が安全安心に使用できる  
ICT機器環境の整備を進めることができました。

・評価指標

備品購入費及び修繕・工事費

・評価に係るエビデンス

令和6年度予算執行実績

備品購入費 373, 890円

修繕費 122, 298円

工事費 2, 143, 460円

合計 2, 639, 648円

目標： 安全安心で快適な教育環境を整えるため、今後もICT機器等の整備に努めていきます。

○あま市小中学校ICT化推進業務（教職員用校務パソコン）

あま市小中学校ICT化推進業務プロポーザル審査委員会において、計4回開催し提案内容等の審査を行いました。

委員会	開催日	主な議題
第1回	5月16日（木）	・あま市小中学校ICT化推進業務に係る概要について ・委員会の日程及び内容確認
第2回	5月30日（木）	・あま市小中学校ICT化推進業務仕様書（案）について ・あま市小中学校ICT化推進業務公募型プロポーザル実施要領（案）について ・あま市小中学校ICT化推進業務の業者選定について
第3回	8月22日（木）	・企画提案書審査（第1次審査）について ・プレゼンテーション（第2次審査）について
第4回	9月27日（金）	・プレゼンテーションの進行等について ・質疑応答時の質問事項について ・プレゼンテーションによる審査 ・審査結果及び受託候補者の特定について ・今後のスケジュールについて

あま市小中学校ICT化推進業務プロポーザル審査委員会において、下表のとおり評価基準を算定し、提案者である「株式会社内田洋行教育ICT事業部」を受託候補者として決定しました。

項目	提案者
提案価格	570,960,000円（税抜）
提案書評価点（200）	157
プレゼンテーション評価点（40）	32
価格評価点（60）	0
総合評価点（300）	189

評価： あま市小中学校ICT化推進業務プロポーザル審査委員会において、受託候補者審査基準に基づき、厳正かつ公正に審査を行い、「株式会社内田洋行教育ICT事業部」を受託候補者として決定しました。

・評価指標

審査委員会開催回数

・評価に係るエビデンス

審査委員会を4回開催

**目標：** 現在の校務パソコン環境は、令和7年8月末で契約満了となります。同年9月から新しい校務パソコン環境の運用を開始します。  
教職員の業務負担軽減を図るため校務DXを推進します。

## ■小中学校施設管理

### ○施設管理委託・手数料

#### ・手数料

学校環境衛生関係検査、プール水質検査、簡易専用水道検査、飲料水水質検査、浄化槽法定検査、浄化槽清掃、下水道中継ポンプ槽清掃、備品廃棄、家電リサイクル廃棄

#### ・委託業務

警備保安業務、昇降機保守点検業務、ガスヒーポン保守点検業務、自家用電気工作物保安管理業務、自家用電気工作物（発電機）燃料交換業務、浄化槽保守点検業務、下水道中継ポンプ槽点検業務、樹木剪定等業務、消防設備保守点検業務、遊具体育器具保守点検業務、プールろ過装置保守点検業務、鼠族衛生害虫防除業務、空調設備保守点検等業務、牛乳保冷库簡易点検業務、体育館吊物点検業務、受水槽高架水槽清掃点検業務、排水管等清掃業務、体育用具保守点検業務、窓清掃業務、排水路清掃業務、学校周辺除草業務、クビアカツヤカミキリ防除業務、ごみ処理業務（事業系ごみ・牛乳パック）、廃棄備品処分業務、資源物収集運搬及び買取業務、水銀廃棄物処理業務、機密文書収集運搬処理業務

### ○賃貸借業務

小中学校パソコン関係機器等賃貸借（あま市内11小中学校パソコン等賃貸借、七宝地区小中学校パソコン等賃貸借）

放送設備関係設備賃貸借、AED賃貸借、電話機器賃貸借、コピー機（複合機）賃貸借、輪転機賃貸借

甚目寺西小学校校舎賃貸借、LED照明賃貸借

### ○学校用地等賃貸借

七宝小学校 14筆、宝小学校 1筆、

美和小学校 67筆、正則小学校 13筆、篠田小学校 4筆

七宝中学校 13筆

伊福小、秋竹小、美東小、甚小、甚南小、甚東小、甚西小、七北中、美和中、甚目寺中、甚目寺南中 借地なし

**評価：** 法令等に基づく、適切な教育環境の維持を実現することができました。

#### ・評価指標

学校環境衛生の基準

#### ・評価に係るエビデンス

学校環境衛生関係検査

**目標：** 法令等に基づく、適切な教育環境が実現できるよう必要な業務を行います。

## ■学校施設と他用途施設との複合化

あま市公共施設等総合管理計画やあま市公共施設再配置計画では、学校施設の余裕教室を活用し、児童館や公民館など他用途施設との複合化の継続・拡大を検討することが定められています。あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針でも共有化及び複合化を進めることとしています。

複合化とは、機能が異なる複数の公共施設を1つの施設に合わせて整備することです。

35人学級の拡大や特別支援学級の増設などにより、児童生徒数が減少しても余裕教室が増加しない現状ではありますが、学校や所管部署と連携を図りながら複合化の継続や拡大の検討を進めています。



令和6年度の実績は次のとおりです。

**○七宝小学校**

- ・北館1階の2教室分を児童クラブとして活用
- ・体育館(アリーナ)を放課後子ども教室で活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館・学校プール)の開放(スポーツ開放)

**○宝小学校**

- ・南館1階の1教室分を児童クラブとして活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館)の開放(スポーツ開放)

**○伊福小学校**

- ・北館1階の2教室分を児童クラブとして活用
- ・体育館(アリーナ)を放課後子ども教室で活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館)の開放(スポーツ開放)

**○秋竹小学校**

- ・北館1階の1教室分を児童クラブとして活用
- ・体育館(アリーナ)を放課後子ども教室で活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館)の開放(スポーツ開放)

**○美和小学校**

- ・体育館を放課後子ども教室で活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館・学校プール)の開放(スポーツ開放)

**○正則小学校**

- ・北館1階の1教室分を児童クラブとして活用
- ・夏休み期間のみ体育館(会議室)及び南館1階の1教室分を児童クラブとして活用
- ・体育館(アリーナ)を放課後子ども教室で活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館)の開放(スポーツ開放)

**○篠田小学校**

- ・体育館(アリーナ)を放課後子ども教室で活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館)の開放(スポーツ開放)

**○美和東小学校**

- ・体育館(アリーナ)を放課後子ども教室で活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館)の開放(スポーツ開放)

**○基目寺小学校**

- ・北館3階の2教室分と南館1階の1教室分を児童クラブとして活用
- ・体育館(アリーナ)を放課後子ども教室で活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館)の開放(スポーツ開放)

**○基目寺南小学校**

- ・南館2階の1教室分を児童クラブとして活用(学校と併用)
- ・体育館(アリーナ)を放課後子ども教室で活用
- ・小中学校体育施設(運動場・体育館・学校プール)の開放(スポーツ開放)

**○基目寺東小学校**

- ・体育館(アリーナ)を放課後子ども教室で活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館)の開放(スポーツ開放)

**○基目寺西小学校**

- ・体育館(アリーナ)を放課後子ども教室で活用
- ・小学校体育施設(運動場・体育館)の開放(スポーツ開放)

**○七宝中学校**

- ・中学校体育施設(運動場・体育館・武道場)の開放(スポーツ開放)

**○七宝北中学校**

- ・中学校体育施設(運動場・ハンドボールコート・体育館・武道場)の開放(スポーツ開放)

### ○美和中学校

- ・中学校体育施設（運動場・ハンドボールコート・体育館・武道場・相撲練習場）の開放（スポーツ開放）

### ○基目寺中学校

- ・中学校体育施設（運動場・ハンドボールコート・体育館・武道場）の開放（スポーツ開放）

### ○基目寺南中学校

- ・中学校体育施設（運動場・ハンドボールコート・体育館・武道場・テニスコート）の開放（スポーツ開放）

**評価：** 学校や所管部署と連携を図りながら複合化を継続することができました。

- ・評価指標  
複合化実施校数
- ・評価に係るエビデンス  
全 17 校で実施

**目標：** 今後も各種計画に基づき、児童館や公民館など他用途施設との複合化の継続・拡大について学校や所管部署と検討を行います。

- ・数値目標  
全 17 校

## ■学校施設長寿命化計画

あま市学校施設長寿命化計画は、現在の学校施設の実態を把握し、今後の老朽化対策や現代の社会的要請に応じた教育環境の質的改善などを図る整備等の維持・更新コストを中長期的に算出することにより、改修や更新を行う適切な時期を検討するとともに、今後の維持管理等に係るトータルコスト縮減・予算の平準化を実現することを目的として、令和2年3月に策定しました。

本計画は、あま市公共施設等総合管理計画に基づく、学校施設の個別施設計画として位置づけられるものです。

第Ⅰ期 令和 2年度～令和 8年度（ 7年間）

第Ⅱ期 令和 9年度～令和18年度（10年間）

第Ⅲ期 令和19年度～令和28年度（10年間）

第Ⅳ期 令和29年度～令和38年度（10年間）

第Ⅴ期 令和39年度～令和48年度（10年間）

### ○改修等の基本的な方針

#### （1）長寿命化の方針

子どもたちが安全・安心で快適な環境の中で学ぶことが出来る、安全性や機能性の高い学校を長期的に維持管理していくためにも計画的な予防保全修繕や大規模修繕を行うことで、学校施設の健全性を保つことを基本的な方針とします。

#### （2）目的使用年数、改修周期の設定

目標使用年数は、学校施設の大半を占める鉄筋コンクリート造の場合、長寿命化型の予防保全型管理は80年間と設定します。

予防保全修繕周期（予防） 20年

大規模修繕周期 予防保全型管理 40年

予防保全修繕周期（予防） 60年

更新（目標使用年数） 予防保全型管理 80年

**評価：** 第Ⅰ期の令和6年度までについては、計画に基づいた整備事業を実施しています。

- ・評価指標  
整備事業実施内容
- ・評価に係るエビデンス

## 施設整備費決算

目標： 第Ⅰ期の令和７年度以降についても、計画に基づいた整備事業を実施します。

### ■小中学校施設整備事業

安全安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

#### ○七宝小学校中館東側屋上防水改修工事

耐用年数を超え、雨漏りが常態的に発生していた中館東側の屋上防水工事を行いました。

・事業費 4,950,000円

#### ○七宝小学校特別教室空調設備設置工事

空調が設置されていない理科室、家庭科室及び図工室に空調を新設しました。

・事業費 11,374,000円

#### ○宝小学校特別教室空調設備設置工事

空調が設置されていない理科室、家庭科室、図工室、相談室に空調を新設しました。

・事業費 13,192,300円

#### ○伊福小学校害虫被害樹木伐採工事

害虫被害が著しく、倒木の危険性があつた樹木を伐採しました。

・事業費 4,840,000円

#### ○正則小学校トイレ改修工事

建築後未改修だった児童トイレ及び職員トイレの洋式化及び床の乾式化を行いました。

・事業費 124,135,000円

#### ○正則小学校校舎屋上防水改修工事

耐用年数を超え、雨漏りが常態的に発生していた北校舎及び南校舎の屋上防水工事を行いました。

・事業費 35,670,800円

#### ○正則小学校及び甚目寺小学校児童用ロッカー取替工事

森林環境譲与税充当事業として、老朽化が著しい正則小2教室分、甚目寺小3教室分のロッカーを新しいロッカーへ取り替えました。

・事業費 5,698,000円

#### ○七宝中学校体育館非構造部材耐震改修工事

体育館の外壁や内壁、バスケットゴール、舞台の袖幕などといった非構造部材の落下防止工事を行いました。あわせて、老朽化した屋根や庇の防水やアリーナ床などの改修工事も行いました。

・事業費 172,700,000円

#### ○七宝中学校特別教室空調設備設置工事

空調が設置されていない理科室、家庭科室、木工室、金工室、視聴覚室、美術室、進路指導室に空調を新設しました。

・事業費 26,988,500円

#### ○美和中学校トイレ改修工事

建築後未改修だった生徒トイレ及び職員トイレの洋式化及び床の乾式化を行いました。

・事業費 146,630,000円

#### ○医療的ケア児受入体制整備工事

医療的ケアが必要な生徒が入学するため、医療的ケアを実施する部屋の天井や壁、床などの改修工事を行いました。あわせて空調を設置し、医療的ケア児を受け入れる環境を整備しました。

・事業費 4,631,000円

評価： これらの改修工事を実施することにより、児童生徒が安全安心に使用できる施設の整備を進めることができました。

- ・ 評価指標

- 整備事業実施内容

- ・ 評価に係るエビデンス

- 施設整備費決算

目標： 安全安心で快適な教育環境を整えるため、今後も施設の整備に努めていきます。

## (2) 学校教育課

### ■あまっ子宣言

#### ○あまっ子宣言（平成26年4月1日制定）の啓発実践

あまっ子宣言を印刷した下敷きを作成し、新入学児童に配布しました。

新1年生用下敷き購入 760枚 B5版角Rカラー片面 硬質PET0.5mm厚

評価： 新しくあま市立小学校に入学した児童に対して、あまっ子宣言を啓発することができました。また、あまっ子宣言の唱和やあまっ子宣言を取り入れた授業等を行いました。

#### ・評価指標

配布小学校数

#### ・評価に係るエビデンス

12校／全12小学校

目標： 「あまっ子宣言」の啓発実践に取り組んでいきます。

#### ・数値目標

12校／全12小学校

### ■児童生徒の表彰

#### ○優良児童生徒の表彰

善行又はスポーツや文化活動等において努力が認められ、学校長が推薦する最上級生の児童生徒に対し、各校2人の表彰をしました。

#### ○歯と口腔の優良児童生徒の表彰

歯科検診の結果をもとに歯科優良児童生徒に対し、各校最大で「(2人×通常学級数)＋特別支援学級1人」の表彰をしました。

評価： 優良児童生徒に対して、賞状と記念品(500円の図書カード)を配布しました。歯と口腔の優良児童生徒に対して、賞状と記念品(ホルダー消しゴム)を配布しました。

目標： 令和7年度も継続して児童生徒を表彰することで、他の児童生徒の模範となり、学校生活に対する意欲や向上心の増大、健康を保つ意識を高めます。

#### ・数値目標

実施校数 17校

### ■スクールサポーター配置事業

#### ○スクールサポーター配置事業

児童生徒の基礎学力の育成及び向上を目指し、TT(\*)指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

(\*) TT…… ティーム・ティーチング。担当の教師が進める授業に、教師とスクールサポーター(教職補助員)がチームを組み、児童生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。

スクールサポーター配置数

(延べ人数)

学校名	配置数	学校名	配置数	学校名	配置数
七宝小学校	7人	篠田小学校	6人	七宝中学校	8人
宝小学校	5人	美和東小学校	8人	七宝北中学校	5人
伊福小学校	9人	甚目寺小学校	7人	美和中学校	6人
秋竹小学校	6人	甚目寺南小学校	11人	甚目寺中学校	6人
美和小学校	7人	甚目寺東小学校	11人	甚目寺南中学校	8人
正則小学校	6人	甚目寺西小学校	6人		

(複数校勤務者については各校で人数に計上しています。)

### ○「ラーケーションの日」モデル事業によるスクールサポーターの配置

愛知県の休み方プロジェクトの取組である「ラーケーションの日」の実施に伴い、負担が増加する教職員を支援するため、小中学校全17校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

**評価：** きめ細かい少人数指導を実施し、それにより個に応じた指導を進めることができました。また、TTの授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

ラーケーションの日モデル事業については、愛知県が「休み方改革」によるワーク・ライフ・バランスの充実を目指し、教職員自身の休み方改革を推進するため、配置しました。

- ・評価指標  
配置学校数
- ・評価に係るエビデンス  
全17校

**目標：** 個別の支援が必要な児童生徒は年々増加しています。

令和7年度も学習支援などを有効に進めていけるよう、スクールサポーターをより一層効果的に活用していきます。

また、愛知県の「ラーケーションの日」モデル事業委託要綱に基づき、県費を活用しラーケーションの日に対する学校業務の負担を軽減するためスクールサポーターの配置を行います。

- ・数値目標  
全17校

### ■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、外国人（6人）と邦人（4人）の非常勤講師を英語指導助手（ALT）として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- （1）中学校の英語科授業における英語指導
- （2）小学校の外国語活動における英語指導
- （3）授業で使用する教材の作成
- （4）教師に対する現職研修
- （5）授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- （6）研修やミーティングへの参加

- ・小学校：英語指導助手 延べ20人

（アメリカ、カナダ、イギリス、フィリピン、日本）

- ・中学校：英語指導助手 延べ6人（アメリカ、カナダ、イギリス、フィリピン）

**評価：** 各小学校では、ALTとのTT指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、ALTと英語教師によるTT指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

- ・評価指標  
ALT派遣校数
- ・評価に係るエビデンス  
全17校

**目標：** 小学校中学年は年間35時限の外国語活動、小学校高学年は年間70時限の外国語科が実施されています。今後も引き続き、ALTなどの人的環境やICTなどの物的環境を整備していく必要があります。

- ・数値目標  
全17校

## ■福祉実践教室

あま市内の全ての小中学校で、福祉実践教室を実施しています。

総合的学習の時間で実施している学校もあれば、行事として実施している学校もありますが、あま市社会福祉協議会が福祉協力校事業の一環として実施しています。

教室の内容は、あま市社会福祉協議会が提供する以下のメニューから学校が選択します。

- ① 車椅子体験
- ② 高齢者疑似体験
- ③ 視覚障害者ガイドヘルプ  
(2人1組で一人がアイマスクをし、もう一人が声掛け等で誘導する体験)
- ④ 手話講座
- ⑤ 点字体験
- ⑥ 盲導犬体験
- ⑦ 要約筆記講座

児童生徒全員に対し一括で実施する教室、各教室に分かれて実施する教室の二つがあり、例えば、車椅子体験や盲導犬体験は体育館で一括実施し、他は教室で実施するなど、学校と打ち合わせをして進めています。

実施にあたっては、あま市社会福祉協議会の職員による実施だけではなく、あま市社会福祉協議会が講師を招いて実施することもあります。

### 令和6年度実施校

学校名	実施日	実施学年	実施内容
七宝小学校	10/4	5年生	5年：①，④
宝小学校	10/8	4～6年生	4年：① 5年：⑤ 6年：①
伊福小学校	11/27	5年生	5年：①，③
秋竹小学校	10/17	4～6年生	4年：① 5年：③ 6年：② 全体講話
美和小学校	6/25	4～6年生	4年：④ 5年：①，⑤ 6年：②，③
正則小学校	11/8	4～6年生	4年：① 5年：③ 6年：④
篠田小学校	9/25	4～6年生	4年：⑤ 5年：④ 6年：① 全体講話
美和東小学校	6/18 11/29	5年生	5年：①，④，⑤ 5年：①，②，パラスポーツ
甚目寺小学校	1/15 2/26	4年生	4年：①，②，③，④，⑤ 全体講話 4年：⑥
甚目寺南小学校	11/19	5年生	5年：①，②，③，④，⑤
甚目寺東小学校	6/7	5年生	5年：①，④，⑤，⑥ 全体講話
甚目寺西小学校	10/22	4年生	4年：④
七宝中学校	5/30	1年生	1年：①，③，④，⑤，⑦ 全体講話
七宝北中学校	6/21	1年生	1年：①，④，⑤，⑦ 全体講話
美和中学校	6/20	1年生	1年：①，②，③，④，⑤，⑦
甚目寺中学校	10/29	1年生	1年：①，②，③，④，⑤，⑦ 全体講話
甚目寺南中学校	11/28	1年生	1年：①，②，③，④，⑤ 全体講話

評価： 市内小中学校で福祉実践教室を開催することによって、児童生徒に対して障がい者や福祉への理解、思いやりの心を育むことができました。

・評価指標

福祉実践教室実施小中学校数

福祉実践教室受講児童生徒数

・評価に係るエビデンス

福祉実践教室実施小中学校数 17校

福祉実践教室受講児童生徒数 延べ3,321人

目標： 令和7年度も継続して福祉実践教室を実施します。全ての小中学校で実施することで、人をいたわる心、助け合う心を育み福祉教育を推進します。

・数値目標

福祉実践教室実施小中学校数 17校

■特別支援教育

○教育支援委員会

児童・生徒・幼児に対し、適切な就学相談や教育的措置を講ずるため、教育支援委員会を開催しました。

評価： 医師、児童相談所をはじめ、特別支援学校、保育園、学校と情報共有することで、保護者が希望する学校や学級への進学に対して支援することができました。

・評価指標

特別な支援を必要とする児童・生徒・幼児の保護者からの相談件数

特別な支援を必要とする児童・生徒・幼児の学校見学・体験実施件数

特別な支援をすることの決定件数

・評価に係るエビデンス

(人)

	相談者数	学校見学・ 体験者数
未就学児 ※延べ数(実数)	108 (76)	105 (73)

(人)

	教育支援 委員会	就学先		
		特別支援学校	特別支援学級	通常学級
未就学児	46	7	39	
在校生	380	2	359	19

目標： 令和7年度も継続して教育支援委員会を開催します。個に応じた適切な指導を行うために、保護者の就学の意向を把握したうえで、学校見学や体験を行います。また、安全面を第一に考え、対象児童生徒の生活や学習が可能であるかの検討を保護者・学校・教育委員会で行うことで「学びの場の柔軟な見直し」をし、多様な教育ニーズに応えていきます。

○特別支援学級への途中入退級

障がいのある児童生徒等に対して適切な教育を行うため、特別支援学級への年度途中での入退級を行いました。

○通級指導教室への入退室

障がいによる種々の困難に関して特別な配慮を行うため、随時通級指導教室への入退室を行いました。

評価： 特別支援学級への年度途中の入退級や通級指導教室への入退室を行うことにより、児童生徒に対して学習上又は生活上の困難を克服するための教育を行うことができました。



・評価指標

特別支援学級へ年度途中に入退級した児童生徒数

通級指導教室に入退級した児童生徒数

・評価に係るエビデンス

特別支援学級への途中入退級 (人)

	途中入級	途中退級
児童生徒数	5	2

通級指導教室への入退室 (人)

	入室	退室
児童生徒数	166	5

目標： 令和7年度も継続して障がいのある児童生徒等に対して、適切な教育や特別な配慮を行うため、特別支援学級への年度途中での入退級や通級指導教室への入退室を行います。

■特別支援教育連携協議会・幼保小連絡会

特別支援教育の推進のため、市、教育委員会、小中学校並びに関係機関との連携を継続、強化するため、特別支援教育連携協議会を開催しました。

幼児教育と学校教育の段差につまずき不適応を起こす小1プロブレムの解消のためにも、幼稚園、保育園、認定こども園と小学校が連携し、子どもについて情報交換をするとともに、互いの教育について理解をする場として幼保小連絡会を開催しました。

評価： 特別支援教育連携協議会は、教育委員会・学校・市健康推進課・市障がい福祉課・教育相談センターの他、海部教育事務所、海部児童・障害者相談センター、佐織特別支援学校、一宮特別支援学校、名古屋特別支援学校、一宮聾学校、津島公共職業安定所、あま市社会福祉協議会、あま市児童発達支援センターの参加を得ました。

幼保小連絡会は、「園長先生と校長先生の懇談会」と「情報交換会」を実施しました。

・評価指標

特別支援教育連携協議会参加機関数

幼保小連絡会参加園数

・評価に係るエビデンス

特別支援教育連携協議会参加機関数 18機関

幼保小連絡会参加園数 19園

目標： 令和7年度も継続して特別支援教育連携協議会・幼保小連絡会を開催します。

・数値目標

特別支援教育連携協議会参加機関数 18機関

幼保小連絡会参加園数 19園

■全国大会等出場報奨金

教育、文化及びスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場等をする市民及び団体に対して、あま市教育・文化・スポーツ活動全国大会等出場報奨金を交付しました。

・出場者

世界選手権 1人

(スポーツ課： 1人、種目：フライングディスク)

国際大会 7人

(スポーツ課： 7人、種目：空手、野球、柔道、ゴルフ、車いすテニス)

全国大会 70人・5団体  
 (学校教育課: 2人(甚目寺中、甚目寺南中)、2団体(美和中、甚目寺南中))  
 (生涯学習課: 1人・0団体)  
 (スポーツ課: 67人・3団体)

・事業費

645,000円  
 (学校教育課: 60,000円)  
 (生涯学習課: 5,000円)  
 (スポーツ課: 580,000円)

**評価:** あま市への愛着心の向上並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上に寄与するとともに、全国的にあま市のPR活動の一助を担うことができました。

・評価指標

報奨金支給件数

・評価に係るエビデンス

個人 78人、団体 5団体

**目標:** 教育、文化又はスポーツの各分野において活躍し、全国大会等に出場する市民及び団体に対して、報奨金を交付することにより、市への愛着心の醸成並びに各分野における市民及び団体のより一層の技能向上を奨励します。

■弁当の日

弁当の日を市内全ての小中学校で実施しました。児童生徒が自分の弁当を自ら準備する活動を通して、食への関心を高めたり、食事の用意をする家族への感謝の気持ちを持たせたりすることをねらいとしています。また、そのような活動を行うことで、児童生徒の自立心が培われます。

○主な取組内容と実施日

- ・手作り弁当を持参して各教室で会食会を開く。
- ・保護者の見守る中、一品でも自分で作るようにする。
- ・小中交流会に手作り弁当を持参する。
- ・家庭科で準備し学級ごとに会食する。

学校名	実施日	対象学年
七宝小学校	12月9日(月)	6年生
宝小学校	11月6日(水)	6年生
伊福小学校	12月16日(月)	6年生
秋竹小学校	11月6日(水)	6年生
美和小学校	11月29日(金)	6年生
正則小学校	11月18日(月)	5・6年生
篠田小学校	12月17日(火)	6年生
美和東小学校	12月9日(月)	5・6年生
甚目寺小学校	11月5日(火)	6年生
甚目寺南小学校	12月9日(月)	6年生
甚目寺東小学校	12月9日(月)	6年生
甚目寺西小学校	12月2日(月)	6年生
七宝中学校	11月5日(火)	1年生

七宝北中学校	11 月 6 日 (水)	全学年
美和中学校	1 月 20 日 (月)	1 年生
甚目寺中学校	12 月 2 日 (月)	1 年生
甚目寺南中学校	12 月 2 日 (月)	1 年生

**評価：** 児童生徒が献立を考え、弁当を作ることで、食事を作ってくれる家族に対する感謝の気持ちや、食事や栄養について考えることができ、弁当の日の取組を通してねらいに迫ることができたと考えています。

・評価指標

弁当の日事業実施校数

・評価に係るエビデンス

実施校数 17校

**目標：** 今後も取組を継続していくことで、市内全ての児童生徒に弁当の日の活動を通して自立心などを培っていきます。

・数値目標

実施校数 17校

## ■Ama Teachers College

教師が日頃いろいろな問題に直面し、その解決に戸惑う場面に突き当たる時、自信を持って立ち向かうことができる力を身につけることをねらいとして講座を開催しました。

### ○講座

回	開催日	講座名	講師（敬称略）	参加人数
1	8月1日（木）	道德教育を学級経営に生かす	元愛知教育大学特別教授 鈴木 健二 氏	41 人
2	8月5日（月）	日本語を日本語で教える ～外国人にルーツをもつ児童生徒の日本語指導～	特定非営利活動法人 プラス・エデュケート 理事長 森 顕子 氏	49 人
3	8月8日（木）	特別支援学級に在籍する児童生徒の実態把握にはじまる、自立活動の授業づくり	岐阜聖徳学園大学 専任講師 永井 祐也 氏	44 人
4	8月19日（月）	『考え、議論する道德』の授業づくりについて	岐阜聖徳学園大学 准教授 山田 貞二 氏	45 人
5	8月21日（水）	片付け仕事術	収納改善の専門家 片付け収納マイスター 櫛田 佳子 氏	88 人
6	8月27日（火）	当たり前のことを当たり前	元豊川高校 硬式野球部監督 今井 陽一 氏	43 人
7	8月28日（水）	学校、教員が考えるべきこと	岐阜聖徳学園大学 教授 玉置 崇 氏	57 人
8	8月29日（木）	「自己理解」からより自分を生かすために ～自己診断でストレスマネジメントとバージョンアップ～	(株)SKK ヒューマンリソースアドバイザー 藤本 丞 氏	40 人

## ○特別研修

回	開催日	講座名	講師（敬称略）	参加人数
G I G A	9月19日（木）	あま市学校情報セキュリティーポリシーを読み解く	Doit 代表取締役 土井 敏裕 氏	16人
	3月21日（金）	情報リテラシー	デジタルアーツ株式会社 プロモーション課副主任 黒川 衣紗菜 氏	15人

**評価：** 苦情対応や市内学校の特色ある取組、児童の発達やGIGAスクール構想に関する研修など、校内では十分に行うことのできない内容について研修することができました。

・評価指標

講座開催回数、延べ参加人数

・評価に係るエビデンス

講座開催回数 10回、延べ参加人数 438人

**目標：** 今後も、教師の資質や力量向上を目指し、教職員が参加したくなるような教育現場最前線の内容の研修会を企画していきます。

・数値目標

講座開催回数 7回、延べ参加人数 200人

## ■人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は令和6年度の研究主題を『人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係をはぐくむ教育 ～仲間とともに人権課題に向き合い、自他を尊重する実践的態度を養うために～』として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

・会 長 甚目寺西小学校長

・事業費 800,000円（市補助金）

・主な活動内容

（1）海部地区人権教育講演会の実施

8月2日（金） 甚目寺公民館

（2）全国人権・同和教育研究大会等参加

（3）研究紀要の作成

**評価：** 児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取組の継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

・評価指標

講演会の開催回数

・評価に係るエビデンス

講演会の開催回数 1回

**目標：** 令和7年度も「部落差別の解消の推進に関する法律」（H28.12施行）の趣旨を踏まえ、教育及び啓発を行っていきます。

・数値目標

講習会の開催回数 1回

## ■キッズ防犯体験教室事業

・事業費 462,000円（全小学校合計）

・実施校 12小学校（3年生のみ）

自立心が芽生え、友達と出かける行動範囲も広がってくる小学校3年生の児童を対象に、自身に危険が迫った時に自分の身を守る方法を練習する防犯体験教室

を実施しました。紙芝居を用いた分かりやすい説明や実際の状況を想定した訓練体験により、防犯意識を向上させました。

学校名	実施日	学校名	実施日
七宝小学校	12月13日（金）	篠田小学校	11月26日（火）
宝小学校	12月10日（火）	美和東小学校	10月7日（月）
伊福小学校	10月23日（水）	甚目寺小学校	1月31日（金）
秋竹小学校	1月30日（木）	甚目寺南小学校	10月1日（火）
美和小学校	11月5日（火）	甚目寺東小学校	12月12日（木）
正則小学校	11月14日（木）	甚目寺西小学校	11月21日（木）

**評価：** 児童が不審者から身を守るための方法を身に付けることができ、児童一人ひとりに「自分の身は自分で守る」という危険回避の意識を培うことができました。

・評価指標

キッズ防犯体験教室実施小学校数 12校

・評価に係るエビデンス

実施小学校数 12校

**目標：** 令和7年度も見守り隊やPTAに参加していただき、地域との連携を図っていきます。

・数値目標

キッズ防犯体験教室実施小学校数 12校

## ■通学路交通安全プログラム

「あま市通学路交通安全プログラム」は、平成25年度に、文部科学省、国土交通省、警察庁が連名で通知した「通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組の推進について」に基づき策定した通学路の交通安全対策についての基本的方針を示すものです。

取組の原則としては、市内12小学校を七宝地区、美和地区、甚目寺地区の3グループに分け、毎年度1グループずつ合同点検を実施しています。

合同点検は、市教育委員会、道路管理者、警察署が合同で現地を確認します。

合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに歩道整備、グリーンベルトのペイント、防護柵設置等のハード対策、交通規制や安全教育等のソフト対策等、具体的な実施メニューを検討し、道路管理者、警察署に要望し順次実施しています。

**評価：** 各組織と連携し、迅速に市内37箇所の危険箇所をリストアップすることができました。また、令和6年度末までに市内8箇所の危険箇所について対策を行うことができました。残りの危険箇所についても、令和6年度中に国庫補助金を申請し、令和7年度以降に補助金を活用しながら対応できるようにしました。

・評価指標

合同点検の結果による危険箇所のうち、対策済みの危険箇所の割合

・評価に係るエビデンス

対策済み危険箇所 21.6%（37箇所中8箇所）

**目標：** 令和7年度は七宝地区が合同点検箇所となりますが、令和6年度の対策未実施箇所の進捗を管理しつつ、他地区からの危険箇所も意見が上がり次第対応していきます。

・数値目標

対策未実施箇所 0箇所

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「教育相談活動」、「不登校などの指導及び支援」、「学校教育支援」を三つの柱として事業を実施しました。

○教育相談室事業

学校生活や教育活動上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員と話し合いの場を持ち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

- 【職員】 ・教育相談支援員 3人  
・心理支援相談員 3人  
・親と子の相談員 1人

【教育・心理相談面接件数（巡回指導含む。）】

	小学校	中学校	合計
保護者	5 1 8 件	2 3 0 件	7 4 8 件
児童生徒	9 8 9 件	4 1 3 件	1, 4 0 2 件
教職員	2, 5 6 2 件	9 7 5 件	3, 5 3 7 件
教室訪問	2, 5 7 1 件	9 9 件	2, 6 7 0 件
合計	6, 6 4 0 件	1, 7 1 7 件	8, 3 5 7 件

○教育支援室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適切な相談・助言及び生徒指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。また、不登校対策として「子どもの自立を支える親の会」を実施しました。

- 【職員】 ・専任指導員 1人  
・指導員 4人

- 【通室者】 ・令和6年度：教育支援室の登録者数 52人  
令和5年度よりの継続 34人  
令和6年度新規登録者 18人  
令和6年度その他通室者 7人  
・教育支援室通室時間数 延べ1, 809時間  
・令和6年度：教育支援室の登録者の歩み  
学校復帰者 12人  
中学校卒業者 15人（進学者15人）

- 【子どもの自立を支える親の会】 年間2回  
・進路情報の会 30人  
・不登校家族支援フォーラム 約100人

○学校支援室事業

学校を訪問して特別支援教育に係る相談支援の実施、学校が行う児童生徒の非行・校内暴力事案等に対する生徒指導等への援助、校内の現職教育の講師・助言者を外部から招く「教育アドバイザー派遣事業」等を実施しました。

- 【職員】 ・派遣指導員 2人  
・学校支援アドバイザー 1人  
・教育アドバイザー派遣 3件

令和6年度より、多様な関係機関等と連携してネットワークを構築し、福祉的な支援につなげるスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置して、小中学校及び教育支援室への巡回による相談活動や情報収集等、学校と連携して児童生徒の支援を行いました。

- 【職員】 ・スクールソーシャルワーカー 5人

【支援件数】・小学校	1 9 4 件
・中学校	1 2 6 件
【関係機関と連携して対応した件数】	
・小学校	7 7 件
・中学校	3 3 件
【ＳＳＷの介入により状況が好転した件数】	
・小学校	8 1 件
・中学校	3 5 件

### ○教育相談センター運営協議会

教育相談センターの運営のため、教育長、教育部次長、学校教育課主幹、教育相談センター長他が参加し、運営方針の決定等を行いました。

**評価：** 教育相談室、教育支援室、学校支援室と組織を整理し、学校教育活動の支援体制を充実させる事業を実施することができました。中でも教育支援室では「子どもの自立を支える親の会」主催の不登校家族を支援するためのフォーラムを開催し、支援機関や支援団体の紹介をすることができました。また、学校支援室では、市内５中学校を拠点にスクールソーシャルワーカー５人を配置し、児童生徒の問題に対し関係機関と連携した支援ができました。

・評価指標

支援実施校数

・評価に係るエビデンス

１７校／全１７校

**目標：** 令和７年度も、継続して「子どもの自立を支える親の会」を開催していきます。不登校児童生徒やその親に対して不安を和らげ、周りにつながれるよう、一人ひとりの状況を丁寧に把握し、支援していきます。また、新たな一人を生み出さないためにも、市教育委員会や学校と連携を図りながら、児童生徒支援を進めていきます。

また、スクールソーシャルワーカーの配置を継続し、職員研修への参加など、質の向上に努めるとともに、支援が必要な児童生徒及び家庭に対して継続して支援していきます。

・数値目標

全１７校

### ■校内教育支援室

学校に来ることはできるが教室に入りづらくなった生徒に対し、学校内に教室とは別に、落ち着いた空間で学習・生活できる環境を用意し、不登校傾向のある生徒の居場所づくり及び社会的自立の支援を目的に、七宝中学校に校内教育支援室（iルーム）を整備し、支援員を配置しました。

整備に当たっては、愛知県の校内教育支援センター整備推進事業の採択を受け、県委託事業として実施しました。

【新規設置校】 ・七宝中学校（令和６年度）、伊福小学校（令和６年度）

【既設校】 ・美和中学校（平成２５年度）、甚目寺東小学校（令和５年度）

**評価：** 七宝中学校では、不登校生徒全体のうち、令和６年度に新たに不登校となった生徒の割合が大幅に低下しました。

・評価指標

不登校生徒全体のうち新たに不登校となった生徒の人数

・評価に係るエビデンス

新たに不登校となった生徒の人数：令和５年度 ２５人

令和６年度 ６人

**目標：** 本市の長期欠席者の割合は全国値と比較して高い数値となっているため、「新たな一人を出さない」ことを主眼に、児童生徒及び保護者を支援していきます。

## ・数値目標

市内中学校の校内教育支援室設置校 5校

### ■生徒指導の状況

#### ○生徒指導の定義

「生徒指導提要」 令和4年12月 文部科学省

生徒指導とは、児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のことです。なお、生徒指導上の課題に対応するために、必要に応じて指導や援助を行います。

#### ○生徒指導の目的

「生徒指導提要」 令和4年12月 文部科学省

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とします。

#### ○生徒指導の3類

「生徒指導提要」 令和4年12月 文部科学省

生徒指導の課題性と課題への対応の種類から分類すると、次の3類になります。

##### (1) 発達支持的生徒指導

全ての児童生徒の発達を支えます。

##### (2) 課題予防的生徒指導

全ての児童生徒を対象とした課題の未然防止教育と、課題の前兆行動が見られる一部の児童生徒を対象とした課題の早期発見と対応を含みます。

##### (3) 困難課題対応的生徒指導

深刻な課題を抱えている特定の児童生徒への指導・援助を行います。

#### ○困難課題の類型

##### (1) 暴力行為の状況

- ・ 対教師暴力
- ・ 対人暴力
- ・ 生徒間暴力
- ・ 器物損壊

##### (2) いじめの状況

「あま市いじめ防止基本方針」 令和5年5月改定

###### ①いじめの定義

いじめ防止対策推進法第2条にあるように、「いじめ」とは「児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」をいう。

###### ②基本的認識

- ・ いじめは、どの学校にも、どのクラスにも起こる可能性がある。  
いじめはどの学校でも起こりえる問題であり、どの子どもであっても被害者にも加害者にもなるという認識を持つ。
- ・ 「弱いものをいじめることは人間として許されない」との認識をもつ。  
いじめは、いじめられる子の尊厳を深く傷つけ、人間性を破壊する人権侵害である。どのような社会にあっても、いじめは許されない。いじめをはやし立てたり、傍観する行為もいじめる行為と同様である。
- ・ いじめられている子どもの立場に立った親身の指導を行う。  
子どもの発する危険信号をあらゆる機会を捉えて鋭敏に感知するよう努める。自分のクラスや学校に発生する可能性があるという危機感をもつ。
- ・ 家庭・学校・地域社会など、すべての関係者がそれぞれの役割を果たし、一



体となって真剣に取り組むことが必要である。

いじめの解決に向けて、関係者の全てがそれぞれの立場からその責務を果たす必要がある。地域を挙げた取組も急務である。

### ③いじめの防止

いじめはどの子どもにも起こりうるという事実を踏まえ、学校はいじめの未然防止に向けて、児童生徒が、心の通じ合うコミュニケーション能力を育み、規律正しい態度で授業者行事に主体的に参加・活躍できるような授業づくりや集団作りを行うとともに、児童生徒自らがいじめを自分たちの問題として考え、主体的に話し合う機会を作ることができるよう支援する。

### ④早期発見

いじめは大人の目に付きにくい時間や場所で行われたり、遊びやふざけあいを装って行われたりするなど、大人が気付きにくく判断しにくい形で行われることを認識し、些細な兆候であっても、いじめではないかとの疑いを持って、早い段階からの確に関わりを持ち、いじめを隠したり軽視したりすることなく、いじめを積極的に認知することが必要である。

### ⑤再発防止

事実関係を確認の上、組織的に対応方針を決定し、いじめを受けた児童生徒を徹底して守り通すとともに、事情や心情を聴取し、児童生徒の状態に合わせた継続的なケアを行う。いじめが「解消している」状態に至った場合でも、その後3か月間は、特に当該いじめの関係児童生徒を日常的に注意深く観察するなど再発防止に努める。

### ⑥重大事態

#### 「いじめ防止対策推進法」

第28条 学校の設置者又はその設置する学校は、次に掲げる場合には、その事態（以下「重大事態」という。）に対処し、及び当該重大事態と同種の事態の発生の防止に資するため、速やかに当該学校の設置者又はその設置する学校の下に組織を設け、質問票の使用その他の適切な方法により当該重大事態に係る事実関係を明確にするための調査を行うものとする。

- 一 いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- 二 いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

### (3) 不登校の状況

不登校とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況であることをいいます。

年間30日以上欠席した児童生徒のうち、病気や経済的な理由による者を除いた数を不登校児童生徒数として計上します。

不登校児童生徒への支援は、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立する方向を目指すように働きかけることが求められます。

#### ・不登校の理由の分類

##### 学校

- (1)いじめ
- (2)いじめを除く友人関係をめぐる問題
- (3)教職員との関係をめぐる問題
- (4)学業の不信
- (5)進路に係る不安
- (6)クラブ活動・部活動等への不適応
- (7)学校のきまり等をめぐる問題

(8)入学、転編入学、進学時の不適応  
家庭

- (1)家庭の生活環境の急激な変化
- (2)親子の関わり方
- (3)家庭内の不和

本人

- (1)生活リズムの乱れ、あそび、非行
- (2)無気力、不安

その他

(4) 生徒指導の状況

小中学校合算 年間件数（累計人数）

暴力行為件数		いじめ認知件数		不登校児童生徒数	
令和5年度末	令和6年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和5年度末	令和6年度末
172件	195件	73件	130件	375人	386人

評価： 各学校から報告される生徒指導の状況について月別に集計し、各学校へ指導助言を行いました。生徒指導の状況については、月別に教育委員会定例会で報告し、改善に向けた協議をしました。

- ・評価指標  
支援実施校数
- ・評価に係るエビデンス  
17校／全17校

目標： 引き続き各小中学校からの報告を受け、必要に応じて当該学校に対して必要な支援を行います。また、その数の有無や多寡のみを評価するのではなく、問題を隠さず、その実態把握や対応が促され、日頃からの児童生徒の理解、未然防止や早期発見、迅速かつ適切な対応、組織的な取組等を評価するよう、学校に必要な指導・助言を行います。

- ・数値目標  
17校／全17校

■学校教育課主催の会議

○学校関係者会議

7／4（木）15：00～

学校関係者会議（あま市の保護司・少年補導員との会）市役所

○民生児童委員連絡会

① 7／12（金）14：00～

七宝小、伊福小、七宝中 3校合同で開催しました。

② 7／31（水）10：00～

宝小、秋竹小、七宝北中 3校合同で開催しました。

③ 7／9（火）9：00～

美和中 美和地区小学校と同一日に同一施設において別会場で開催しました。

7／9（火）10：00～

美和小、正則小、篠田小、美東小 4校合同及び美和中と同一日に同一施設において別会場で開催しました。

④ 6／28（金）14：00～

甚小

⑤ 6／14（金）9：30～

甚南小

- ⑥ 7/4 (木) 10:00～  
甚東小
- ⑦ 7/3 (水) 10:00～  
甚西小
- ⑧ 6/21 (金) 11:00～  
甚中
- ⑨ 8/5 (月) 10:00～  
甚南中

#### ○あま市いじめ問題対策連絡協議会

5/28 (火) 13:30～ 市役所

#### ○あま市不登校等対策協議会

7/31 (水) 14:00～ 市役所

2/14 (金) 15:00～ 市役所

**評価：** 学校関係者連絡会については、年1回ですが、あま市の保護司、少年補導委員、津島警察署、海部児童・障害者センター、各中学校と問題行動やネグレクト、児童虐待等に関する情報交換の場を設定することで、中学校が関係機関と連携して対応しやすくなったり、未然防止の対策を講じたりすることにつながっています。また、各中学校において10月～12月に保護司、少年補導委員を対象とした学校訪問を実施することで、7月に得た情報や新たな課題を共有する場となっています。

民生児童委員連絡会については、学校から各地域における見守り活動や個別の訪問活動を依頼することにより、学校だけでは対応が困難な家庭に対する支援をお願いしています。年1回ですが、民生児童委員と学校やあま市の関係者が連携することは貴重な情報交換の場となっています。

- ・評価指標  
支援対象学校数
- ・評価に係るエビデンス  
17校/全17校

**目標：** 令和7年度も、継続して学校関係者連絡会を開催します。また、全体会で得られた情報をもとに、中学校区ごとによる学校訪問の場を設定することで、より一層生徒一人ひとりに寄り添った支援や対策を講じていきます。

民生児童委員連絡会については、令和7年度も継続して開催し、学校との連携強化を図っていきます。

- ・数値目標  
17校/全17校

### ■学校支援会議

平成24年度から、「あま市学校支援会議」を開始しました。

この会議は、「いじめ」、「不登校」、「問題行動（暴力行為などの触法行為）」、「自殺及び自殺未遂」、「児童生徒虐待」など緊急性を要する問題が学校で発生した際、校長が家庭・地域・外部の専門機関の力を借りて問題を解決したいと判断した時に、「あま市学校支援会議（通称 緊急ケース会議）」を校長は市教育委員会に要請するもので、学校の抱える問題に対し、次のとおりきめ細やかに対応する仕組みをつくることをねらいとしています。

令和6年度は、学校からの要請により緊急ケース会議を1回開催しました。

- ① 家庭への働きかけや保護者に対する指導
- ② 学校以外の専門機関（病院・警察）・学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・区長）との連携や協力要請
- ③ 緊急事項に対する学校対応の方針づくり

この会議をあま市における学校関係者会議として位置付けています。

- ・「緊急ケース会議」のメンバー

緊急性を要する問題が起きた学校の教職員（校長・教頭・教務・校務・養護教諭・スクールカウンセラーなど校長が参加した方が良く考える教職員）

- ・校長の要請に応じて教育長が招集をかけるメンバー
  - (1) あま市教育委員会（指導主事など）
  - (2) あま市教育相談センター（臨床心理士・教育相談員など）
- ・会議の必要に応じて招集するメンバー
  - (3) 海部児童・障害者相談センター
  - (4) 警察関係者
  - (5) 学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司）
  - (6) 学校医・学校歯科医・あま市民病院
  - (7) あま市役所関係各課

**評価：** 緊急を要する問題が発生した場合に、教育委員会・学校・地域社会が一体となって迅速に対応できる体制を確立しています。甚目寺南中学校においては、警察（児童相談所送致）事案についての対応について、甚目寺東小学校においては、個別の支援を要する児童と親の無理解に対しての対応について、連携機関と情報交換を行い、各機関の対応可能な内容の確認と、それぞれの受け持ちについて確認することで、学校を支援しました。

- ・評価指標  
支援実施学校数
- ・評価に係るエビデンス  
1校

**目標：** 今後も、必要に応じて「あま市学校支援会議」を開催することで、学校と家庭・地域などが連携・協働して問題解決に向けて取り組んでいきます。

- ・数値目標  
1校

## ■学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

あま市では、平成29年度に七宝小学校で、平成30年度は、宝、伊福、秋竹、正則、甚目寺小学校で学校運営協議会を設置しました。令和元年度からは、全ての小中学校に設置して、保護者、地域住民と目標を共有し、地域と一体となって児童生徒を育む地域に密着した学校づくりを推進しています。

学校運営協議会は、あま市立の小学校及び中学校の学校運営に関してあま市教育委員会及び校長の権限と責任の下、地域住民、保護者等の学校運営への参画等を進めることにより、学校・家庭・地域の連携及び子どもたちの確かな学びと育ちの実現を図り、もって地域に密着した学校づくりに寄与することを目的とします。

### ○各校の主な取組内容

学校名	会議回数	取組内容
七宝小学校	4回	(1)児童への読み聞かせ (2)登下校の見守り活動 (3)除草等環境整備支援 (4)プール清掃
宝小学校	3回	(1)児童への読み聞かせ (2)登下校の見守り活動 (3)花壇、除草等環境整備支援 (4)授業や校外活動、行事等の補助
伊福小学校	3回	(1)児童への読み聞かせ (2)登下校の見守り活動 (3)除草等環境整備支援 (4)授業や校外活動、行事等の補助

秋竹小学校	3回	(1)児童への読み聞かせ (2)登下校の見守り活動 (3)除草等環境整備支援 (4)プール清掃
美和小学校	3回	(1)児童への読み聞かせ (2)登下校の見守り活動 (3)広報誌の発行 (4)授業や校外活動、行事等の補助
正則小学校	2回	(1)児童への読み聞かせ (2)登下校の見守り活動 (3)授業や校外活動、行事等の補助
篠田小学校	3回	(1)児童への読み聞かせ (2)登下校の見守り活動 (3)広報誌の発行 (4)授業や校外活動、行事等の補助
美和東小学校	3回	(1)奉仕活動 (2)登下校の見守り活動 (3)授業や校外活動、行事等の補助
甚目寺小学校	3回	(1)児童への読み聞かせ (2)授業や校外活動、行事等の補助 (3)図書室整備
甚目寺南小学校	3回	(1)児童への読み聞かせ (2)菜園整備支援
甚目寺東小学校	3回	(1)児童への読み聞かせ (2)登下校の見守り活動 (3)花壇等環境整備支援 (4)授業や校外活動、行事等の補助
甚目寺西小学校	3回	(1)児童への読み聞かせ (2)登下校の見守り活動
七宝中学校	3回	(1)除草等環境整備支援
七宝北中学校	3回	(1)コミュニティカレンダーの発行 (2)花壇、除草等環境整備支援
美和中学校	3回	(1)図書室の看板作成
甚目寺中学校	3回	(1)教育活動参観
甚目寺南中学校	3回	(1)除草等環境整備支援 (2)あいさつ運動の実施

評価： 学校と保護者、地域住民が連携・協働して、子ども達を育む学校づくりを進めることができました。

・評価指標

事業実施学校数

・評価に係るエビデンス

17校／全17校

目標： 今後も、コミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会において、学校が地域住民等と目標を共有し、地域と一体となって児童生徒を育む地域に密着した学校づくりを推進していきます。

・数値目標

17校／全17校

## ■教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

平成24年度に教育人材バンクを制度化しました。教育人材バンクは、あま市における学校教育の充実を図ると共に、文化・スポーツ等の各分野において、知識・技能及び指導力を有する人材を登録し、学校が必要とする人材に関する情報を提供するために設置しました。教育人材バンクに登録する者は、講師及び学校支援ボランティアとし、学校の依頼に応じて次の活動を行います。

- ・講師は登録された分野に係る指導、講座の実施等
- ・学校支援ボランティアは登録された分野や学校行事等学校教育活動に係る支援

令和6年度登録人数 10人

### ①大学生学校支援ボランティア

教員を目指す大学生が各小中学校において、子ども達の学校生活の支援ボランティアを行いながら、学校現場のノウハウを学ぶことができる。

### ②教育アドバイザー

各学校の教科指導、児童生徒の指導等の教育活動について、研究、研修を進める場合に講師、助言者として活用する。

(1)教科指導研究、いじめ・不登校対応、生徒指導関係、学校行事、特別活動、総合学習、英語活動など

(2)「出前授業」、「飛び込み授業」など児童生徒への直接指導

防災教育、昔の遊び、折り紙、地域の歴史などいろいろなことを児童生徒が学ぶ中で、教師以外の指導ができる講師を地域から招く。

### ③教育相談センター ハーティフレンド

教育相談センターの教育支援室において、主に教育支援室利用中の不登校傾向のある児童生徒に対して行われる。心理学的な知識を持った大学生又は大学院生である「ハーティフレンド」により、児童生徒の心や学びの支援を充実させることを目的とする。

**評価：** 前年度同様に外部の教育人材を活用した活動を行うことができました。

#### ・評価指標

大学生学生支援ボランティア人数

教育アドバイザー派遣件数

ハーティフレンド人数

#### ・評価に係るエビデンス

大学生学生支援ボランティア人数 10人

教育アドバイザー派遣件数 3件

ハーティフレンド人数 2人

**目標：** 今後は、より一層、人材バンクの人員を増やし、学校が必要とする人材に関する情報を提供していきます。また、「あま市ものしりジュニア検定」をはじめとしたふるさと学習を通して、郷土愛を育てる教育活動を推進していきます。

#### ・数値目標

大学生学生支援ボランティア人数 10人

教育アドバイザー派遣件数 3件

ハーティフレンド人数 2人

## ■キャリアスクールプロジェクト（県委託事業）

### ○キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」（小学校）

愛知県の委託事業として、キャリア教育の視点を取り入れた体験活動等を実施することで、児童が働くことや人の生き方について自らの考えを深めることができました。

・事業費 140,000円（うち県委託金 140,000円）

・実施校 宝小学校及び美和小学校

・実施学年 宝小学校 5年生及び6年生

- 美和小学校 6年生
- ・事業内容 ゲストティーチャーを招いたオンライントーク  
地域の方を招いた職業講話  
和菓子作り体験  
CM作りに向けたワークショップ  
CM作り体験  
体験活動等についての感想の発表会

**評価：** 様々な職業の方を講師として迎え、様々な視点からの体験談を聞くことでこれからの自分のことを考えるきっかけになりました。また、職人さんの和菓子へかける思いを聞き、この文化をどう未来につないでいくとよいかを考えるきっかけになりました。

CM作り体験を通じて、自分たちが中心となって一つのモノを作り上げていく楽しさややりがい、難しさを感じ、学校生活の様々な場面で積極的に活動していくようになりました。

- ・評価指標  
事業実施学校数
- ・評価に係るエビデンス  
2校

**目標：** 令和7年度も、働くことや人の生き方について自らの考えを深めることができるキャリア教育を推進していきます。

小学校1校で実施します。

- ・数値目標  
1校

#### ○キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」(全中学校)

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため、全中学校の2年生を対象に職場体験学習を実施しました。

1年生を対象に、様々な職業に対する知識や、職場体験学習に対する理解と意欲を高めるためのガイダンス事業を行いました。また、3年生を対象に、講師の講話を聞いたり、将来の生き方について考えを発表したりするなど、働くことや学ぶことに対する意欲を向上させるためのプレゼンテーション事業を行いました。

- ・事業費 562,132円（うち県委託金 165,000円）

学校名	職場体験学習 参加生徒数 (2年生)	実施日	受 入 事業所数
七宝中学校	144人	6月12日～14日	38箇所
七宝北中学校	49人	6月18日～20日	16箇所
美和中学校	210人	11月19日～21日	58箇所
甚目寺中学校	200人	10月29日～31日	60箇所
甚目寺南中学校	181人	10月22日～24日	43箇所

**評価：** 自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

- ・評価指標  
職場体験学習実施校

・評価に係るエビデンス

5校／全5中学校

目標： 令和7年度も、学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感できるキャリア教育を推進していきます。

全中学校の2年生を対象に職場体験学習を実施します。

・数値目標

職場体験学習実施校 5校

■特色ある学校づくり推進事業

・事業費 3,843,518円（全小中学校合計）

・実施校 全小中学校

この事業は、各学校で話し合われた夢を実現し、魅力ある学校づくりを目指し、従来の市内一斉横並びの学校づくりではなく「やれる学校から やれることから」を始める事業となっています。

9月に事業の進捗状況のヒアリングを学校で行い、10月には翌年度の事業について、プレゼンテーションを実施する審査会を開催しました。大学より有識者を招き、事業の方向性についてのアドバイスをいただきました。

また、審査会の結果に基づき、予算案の作成を進めました。

・各校の令和6年度実施内容

学校名	事業テーマ
七宝小学校	(1)感謝と心の安定「感謝」 (2)感謝と心の安定「心の安定」
宝小学校	(1)郷土を愛し、理解する活動（七宝焼・おまつを通して） (2)ふれあい・学びあいを生かした活動
伊福小学校	(1)豊かな心を育む活動事業 (2)ICT活用事業 (3)教師力（経営力・授業力・指導力）UP研修
秋竹小学校	(1)ふれあい・学びあいを生かした学習指導 (2)ふれあいを大切にした体験活動
美和小学校	(1)『豊かに考える児童の育成』事業 (2)『夢を広げる児童の育成』事業 (3)『地域を愛する児童の育成』事業
正則小学校	(1)地域との連携 (2)豊かな心の醸成とたくましい体づくり (3)指導力向上
篠田小学校	(1)豊かで思いやりのある子の育成 (2)命から学び、命を守り、命を尊ぶ (3)授業力向上事業
美和東小学校	(1)つなぐ つながる 東っ子 ―新たな伝統づくりに挑む―
甚目寺小学校	(1)ユネスコスクール推進事業①ふるさと学習 (2)ユネスコスクール推進事業②教師の力量向上事業 (3)ユネスコスクール推進事業③人とつながる活動
甚目寺南小学校	(1)甚南小仲間づくり事業 (2)自他を大切にする心の育成事業 (3)授業力向上事業
甚目寺東小学校	(1)人権教育推進事業 (2)専門的な知識・技術をもつ外部人材の教育力活用事業
甚目寺西小学校	(1)体験と交流を通して豊かな心を育む (2)教師力アッププロジェクト



七宝中学校	(1)自己を見つめ、他人を思いやる心の育成 (2)自他の良さを認め合い、主体的に学び続ける生徒の育成 (3)自他のいのちを尊重し、人間性豊かな生徒の育成
七宝北中学校	(1)自信や自覚をもって中学校生活を送ることができる教育活動 (2)地域の教育力を活用し、社会や集団生活の中でよりよく生きていく力を育てる活動
美和中学校	(1)指導力向上（授業力向上に重点を置いた研修） (2)豊かな人間性の育成
甚目寺中学校	(1)実社会へ出るための人間力づくり活動
甚目寺南中学校	(1)教師の資質向上を図り、学校の教育力を高める事業 (2)夢を持ち自己実現に向けて努力できる生徒の育成を目指す啓発活動

**評価：** 13年目を迎え、各学校がそれぞれの特色を打ち出し、児童生徒の心に響く活動に取り組むことができるよう、学校の発想・裁量・自主性を醸成する事業として定着しつつあり、学校の主体的な創意工夫による特色づくりを支援することができました。

- ・評価指標  
事業実施学校数
- ・評価に係るエビデンス  
17校／全17校

**目標：** 今後も審査会を実施し、限られた市の予算を「より熱い思いの事業」に配分します。学校と市教育委員会の想いの共有化を図り、魅力ある学校づくりを目指し、新たな教育実践を推進していく話し合いの場として今後も進めていきます。

- ・数値目標  
17校／全17校

#### ■私立高等学校等授業料等補助金

私立高等学校等に納入する授業料等（授業料、入学金、設備維持費及びこれらに類するもの）の一部に対し補助金を交付する。

補助金額 1人当たり年額10,000円

令和6年度実績 交付人数564人 補助交付額5,640,000円

**評価：** 国公立学校と私立学校との保護者負担の格差軽減を図り、教育の機会均等と私立学校教育の振興を図ることができた。

- ・評価指標  
制度案内チラシ送付校数
- ・評価に係るエビデンス  
53校

**目標：** 令和7年度も私立高等学校等に在籍する生徒の保護者等の経済的な負担を軽減し、教育の機会均等と私立学校教育の振興を図ります。

- ・数値目標  
50校（県内47校＋申請者が多い他県学校）

#### ■外国人学校修学援助費

幼児又は高等学校生徒が外国人学校に修学するために要する経費の一部に対し補助金を交付する。

令和6年度実績 なし

**評価：** 実績なし

**目標：** 令和7年度も外国人学校に修学する幼児又は高等学校生徒の保護者等の経済的負担を軽減し、修学の促進を図ります。

## ■就学援助費

市立小中学校へ通学するために経済的な理由で援助を必要としている児童生徒の保護者等に対して、学用品など就学に必要な経費を援助する。

令和6年度実績

認定人数751人 支給総額65,303,697円

支給項目、支給額

支給項目	支給額（小学生、年額）	支給額（中学生、年額）
学用品費	11,630円	22,730円
通学用品費	2,270円	2,270円
校外活動費（宿泊を伴わないもの）	1,600円	2,310円
生徒会費	—	300円
P T A会費	720円	900円
新入学学用品費	57,060円	63,000円
校外活動費（宿泊を伴うもの）	2,690円以内	4,210円以内
給食費	実費	実費
修学旅行費	21,190円以内	57,910円以内

評価： 経済的な援助を行うことにより、保護者等の経済的負担が軽減されるとともに、義務教育の円滑な実施に資することができた。

・評価指標

制度案内チラシ配布枚数

・評価に係るエビデンス

7,120人（全校児童生徒数＋余部）

目標： 令和7年度も生活に困窮する世帯に対し学用品など就学に必要な経費を援助することにより、保護者等の経済的な負担の軽減を行う。

・数値目標

7,000人（全校児童生徒数＋余部）

## ■特別支援教育就学奨励費

市立小中学校の特別支援学級に通学する児童生徒の保護者等に対して、学用品など就学に必要な経費を援助する。

令和6年度実績

認定人数232人 支給総額9,851,249円

支給項目、支給額

支給項目	支給額（小学生、年額）	支給額（中学生、年額）
学用品費・通学用品費	5,820円	11,370円
校外活動費（宿泊を伴わないもの）	800円	1,155円
生徒会費	—	150円
P T A会費	360円	450円
新入学学用品費	25,555円	30,490円
校外活動費（宿泊を伴うもの）	845円以内	1,105円以内
給食費	保護者実費の1／2以内	保護者実費の1／2以内
修学旅行費	9,290円以内	25,860円以内

評価： 経済的な援助を行うことにより、保護者等の経済的負担が軽減されるとともに、義務教育の円滑な実施に資することができた。

・評価指標

制度案内チラシ配布枚数

・評価に係るエビデンス

405人（特別支援学級全児童生徒数）

目標： 令和7年度も特別支援学級に通学する世帯に対し学用品など就学に必要な経費を援助することにより、保護者等の経済的な負担の軽減を行う。

・数値目標

405人（特別支援学級全児童生徒数）

■区域外就学

○制度概要

市外に住民登録がある児童生徒に対し、あま市立小中学校への通学を認めるもの

○事由別許可件数

	許可理由	申請件数	許可件数
ア	住所の移転が当該年度の途中で住所移転日の属する学年末まで引き続き従前の学校へ就学を希望した時。 ----- 同一学校に許可理由ウに該当する兄、姉がいる場合で、兄、姉と同様に従前の学校に在学を希望した時。	15件	15件
イ	住所の移転が当該年度の途中に確定していて、住所移転日の属する学年の始めから、あらかじめその学区の学校へ就学を希望した時。	0件	0件
ウ	小学校6年生及び中学校3年生で、前学年の修了式後に住所を移転する場合に、小学校6年生及び中学校3年生の学年末まで、引き続き従前の学校へ就学を希望した時。	8件	8件
エ	その他あま市教育委員会がやむを得ない理由があると認めた時。	8件	8件

評価： 申請内容を精査し、適切に処理しました。

目標： 令和7年度も申請内容を精査し、適切に処理していきます。

■指定学校変更

○制度概要

市内に住民登録がある児童生徒に対し、決められた学区以外のあま市立小中学校への通学を認めるもの

○事由別許可件数

	許可理由	申請件数	許可件数
ア	肢体不自由、身体虚弱及び心臓病等の者が、指定した学校に比べ著しく近距離にある学校を希望した時。	1件	1件
イ	住所の移転が当該年度の途中で住所移転日の属する学年末まで引き続き従前の学校へ就学を希望した時。 ----- 同一学校に許可理由エに該当する兄、姉がいる場合で、兄、姉と同様に従前の学校に在学を希望した時。	6件	6件
ウ	住所の移転が当該年度の途中に確定していて、住所移転日の属する学年の始めから、あらかじめその学区の学校へ就学を希望した時。	1件	1件
エ	小学校6年生及び中学校3年生で、前学年の修了式後に住所を移転する場合に、小学校6年生及び中学校3年生の学年末まで、引き続き従前の学校へ就学を希望した時。	4件	4件
オ	七宝小学校、篠田小学校及び美和東小学校の通学区域に居住する者が、七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度により七宝北中学校へ就学を希望した時。	16件	16件
カ	その他あま市教育委員会がやむを得ない理由があると認めた時。	13件	13件

評価： 申請内容を精査し、適切に処理しました。

目標： 令和7年度も申請内容を精査し、適切に処理していきます。

## ○七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度

あま市立小中学校の適正配置及び規模の適正化に関する提言書（平成２３年１２月提言）の趣旨にのっとり、七宝北中学校地区委員会の意見書（平成３１年２月）をもとに教育委員会が平成３１年３月に決定し、あま市小中学校通学区域に関する規則（平成２２年教委規則第８号）に規定する七宝北中学校通学区域外に住所を有する者で、七宝北中学校の校風や魅力等に賛同し、七宝北中学校に就学することを希望する者が同校に就学するために「七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度」を実施しました。

### ・七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度

令和７年度入学者

申請者数 １６人

認定者数 １６人

内訳 七宝小学校区 ３人

篠田小学校区 ５人

美和東小学校区 ８人

取下者数 ０人

許可後私立中学就学 １人

七宝北中学校就学 １５人

**評価：** 七宝北中学校適正規模化に向けた通学制度は、令和２年度４月新入学生分から開始し、令和７年度新入学生分で６年間実施しました。

６年間の実施により、累計４５人の生徒が七宝北中学校へ就学しました。

**目標：** 引き続き、七宝北中学校の適正規模化に向けて制度を実施します。

## ■副教材

学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならないが、教科用図書以外の図書その他の教材（補助教材）で、有益適切なものは、これを使用することができること。

なお、補助教材には、一般に、市販、自作等を問わず、例えば、副読本、解説書、資料集、学習帳、問題集等のほか、プリント類、視聴覚教材、掛図、新聞等も含まれること。

各学校においては、指導の効果を高めるため、地域や学校及び児童生徒の実態等に応じ、校長の責任の下、教育的見地からみて有益適切な補助教材を有効に活用することが重要であること。

学校において、教科用図書以外の教材を特定の集団全員に対し計画的かつ継続的に使用させる場合は、校長は、あらかじめ教育委員会に届け出なければならない。

### ○社会科副読本の改訂

令和６年度の小学校教科書改訂に伴い、３・４年生用社会科副読本「わたしたちのあま市」

を改訂しました。

小学校費 教育振興費 事務事業委託料 ２，２２８，６８０円

### ○公費で購入した副教材等

- ・ 明るい心
- ・ 観察と実験
- ・ 健康手帳
- ・ だいすき大愛知
- ・ はばたく中学生
- ・ 中学生活と進路
- ・ 中学校体育
- ・ 夏休み日誌
- ・ 冬休み日誌

- ・習字手本
- ・ドリームマップワークブック（小学4年生）
- ・知能検査
- ・学力検査
- ・体力検査
- ・心理検査（ハイパーQ U）（クレペリン）

小学校費 教育振興費 消耗品費 12,219,149円

中学校費 教育振興費 消耗品費 6,519,074円

**評価：** 必要な補助教材を改訂、購入しました。

**目標：** 引き続き、必要な補助教材を改訂、購入します。

## ■学校教育関係事業費補助金

### ○小中学校修学旅行事業補助金

#### (1) 目的

市内の公立各小中学校で、修学旅行を通じて、共同生活のあり方、公衆道徳、文化等総合的な体験学習を図る。

#### (2) 対象者 市内の公立小中学校

#### (3) 対象経費 児童及び生徒と教職員の交通費、宿泊費、事業等の実施に要する経費（県費で支給される教職員に係る経費を除く。）

#### (4) 補助上限額 小学校 児童 1人 1,500円

教職員1人 3,000円

中学校 生徒 1人 3,000円

教職員1人 5,000円

児童及び生徒の人数に上記の金額を乗じて得た額と児童及び生徒に要した補助対象経費の1/2とを比較していずれか低い方の額に、教職員に要した補助上限額までの補助対象経費、障がいのある児童及び生徒への合理的配慮に要した経費及び災害等に伴う旅程の変更により新たに発生した経費のうち、市長が認める補助対象経費を足した額

小学校費 教育振興費 補助金合計 1,213,392円

中学校費 教育振興費 補助金合計 3,002,000円

### ○小中学校校外活動事業補助金

#### (1) 目的

市内の公立各小中学校で、野外学習を通じて、共同生活のあり方、創意工夫、心身の鍛錬と健康の増進、忍耐力や気力を養う等総合的な体験学習を図る。

#### (2) 対象者 市内の公立小中学校

#### (3) 対象経費 児童及び生徒と教職員の交通費、宿泊費、事業等の実施に要する経費（県費で支給される教職員に係る経費を除く。）

#### (4) 補助上限額 小学校 児童 1人 1,000円

教職員1人 2,000円

中学校 生徒 1人 2,000円

教職員1人 3,000円

児童及び生徒の人数に上記の金額を乗じて得た額と児童及び生徒に要した補助対象経費の1/2とを比較していずれか低い方の額に、教職員に要した補助上限額までの補助対象経費、障がいのある児童及び生徒への合理的配慮に要した経費及び災害等に伴う旅程の変更により新たに発生した経費のうち、市長が認める補助対象経費を足した額。

小学校費 教育振興費 補助金合計 872,048円

中学校費 教育振興費 補助金合計 1, 596, 734円

### ○演劇鑑賞等事業補助金

#### (1) 目的

市内の公立小学校で、芸術鑑賞を通じて、児童が文化・芸術に対して親交を深め、豊かな心を育てる。

#### (2) 対象者 市内の公立小学校

#### (3) 対象経費 委託料、謝金、消耗品、事業等の実施に要する費用

#### (4) 補助上限額 1校 児童数700人未満 150,000円

児童数700人以上 300,000円

上記の金額と補助対象経費の1/2とを比較していずれか低い方の額

小学校費 教育振興費 補助金合計 1, 762, 915円

### ○進路指導事業補助金

#### (1) 目的

生徒が主体的に将来の進路の計画・選択をし、自己実現できるよう教職員が組織的・継続的に指導・支援する。

#### (2) 対象者 市内の公立中学校

#### (3) 対象経費 謝金、消耗品費、事業等の実施に要する経費

#### (4) 補助上限額 生徒1人1,000円 1校 100,000円

中学校費 教育振興費 補助金合計 1, 236, 696円

### ○対外試合派遣事業補助金

#### ・地区大会等

#### (1) 目的

学校の代表として、地区大会等である対外試合（公式戦に限る。）及び発表等に参加し、部活動の充実に寄与する。

#### (2) 対象者 市内の公立中学校

#### (3) 対象経費 登録料、参加費、交通費等（楽器等運搬費、緊急用タクシー代等を含む。）に要する費用。

#### (4) 補助上限額 部員1人 200円 1校 500,000円

#### ・全国大会等

#### (1) 目的

学校の代表として、全国大会等である対外試合（公式戦に限る。）及び発表等に参加し、部活動の充実に寄与する。

#### (2) 対象者 市内の公立小中学校

#### (3) 対象経費 登録料、参加費、交通費等（楽器等運搬費、緊急用タクシー代等を含む。）宿泊費、その他全国大会等への参加に要する経費（県費で支給される教職員に係る経費を除く。）

#### (4) 補助上限額 補助対象経費のうち、その支出が適正かつ合理的であると市長が認めるものの全額

中学校費 教育振興費 補助金 5, 176, 058円

### ○小中学校PTA連絡協議会補助金

#### (1) 目的

あま市内の公立小中学校PTA間の連絡および調整とその向上及び発展に寄与する。

#### (2) 対象者 小中学校PTA連絡協議会

#### (3) 対象経費 謝金、事業費、消耗品費、研究調査等の実施に要する経費

#### (4) 補助上限額 100,000円

事務局費 補助金合計 100,000円

### ○児童生徒指導推進事業費補助金

#### (1) 目的

人間の自由と平等の理念にのっとり、基本的人権を尊重する精神に基づき、人権教育に対する理解と認識を深める。

#### (2) 対象者 甚目寺東小学校、甚目寺中学校

#### (3) 対象経費 謝金、消耗品、事業等の実施に要する経費

#### (4) 補助上限額 小学校1学級2, 800円 中学校1学級4, 200円 事務局費 補助金合計 159,600円

### ○小中学校人権教育研究会活動補助金

#### (1) 目的

人間の自由と平等の理念にのっとり、基本的人権を尊重する精神に基づき、人権教育に関する調査・研究を行い、教職員の人権教育に対する理解と認識を深め、もって小中学校における人権教育の推進・充実に資する。

#### (2) 対象者 小中学校人権教育研究会

#### (3) 対象経費 謝金、消耗品、事業等の実施に要する経費

#### (4) 補助上限額 800,000円 事務局費 補助金合計 800,000円

**評価： 必要な補助事業を適切に実施しました。**

**目標： 引き続き、必要な補助事業を適切に実施します。**

## ■学校給食事業

学校給食センターでは、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

### ○学校での食に関する指導

児童生徒の食への興味・関心の高揚、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭が指導計画を作成し、各学校で学級担任とT T授業を行いました。

- ・給食を生きた教材として活用し、指導しました。
- ・毎月、献立表や給食だより、盛り付け図などを配布することに加え、保護者及び教職員を対象に食育だより・食育メッセージを発行し、給食を通して食への関心を高めました。
- ・学校に出向いて直接指導する代わりに、栄養教諭が給食放送原稿や、給食について紹介する教材データを作成しました。

### 給食試食会（P T A）

開催日	学校名	参加人数
令和6年5月16日（木）	甚目寺南中学校	13人
5月29日（水）	宝小学校	21人
6月11日（火）	美和東小学校	40人
7月4日（木）	甚目寺西小学校	19人
7月10日（水）	甚目寺中学校	29人
9月12日（木）	甚目寺小学校	57人
9月25日（水）	正則小学校	15人
10月10日（木）	伊福小学校	26人
10月30日（水）	甚目寺東小学校	55人
11月1日（金）	甚目寺南小学校	33人
11月6日（水）	美和中学校	26人
11月19日（火）	篠田小学校	34人
令和7年2月4日（火）	美和小学校	20人

**評価：** 栄養教諭が直接学校に行き、児童生徒の保護者に対して食育指導を行うことで、保護者の食に対する関心を深め、理解を促すことができました。

- ・評価指標  
食に関する指導実施校数
- ・評価に係るエビデンス  
13校

**目標：** 引き続き、食に関する理解を深めるため、各学校の教育の取組に積極的に参加し、児童生徒及び教職員に加え、保護者の食への興味・関心を高めることで、食育を推進していきます。

- ・数値目標  
17校（全校）



# ○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
令和6年4月2日（火）	5月分献立検討会
4月12日（金）	5月分物資選定委員会
5月2日（木）	6月分献立検討会
5月14日（火）	6月分物資選定委員会
5月31日（金）	7月分献立検討会
6月12日（水）	7月分物資選定委員会
6月19日（水）	あま市給食における食物アレルギー対応検討委員会
7月3日（水）	9月分献立検討会
7月12日（金）	9月・後期分物資選定委員会
7月23日（火）	第1回あま市立学校給食センター運営委員会
9月3日（火）	10月分献立検討会
9月11日（水）	10月分物資選定委員会
10月1日（火）	11月分献立検討会
10月11日（金）	11月分物資選定委員会
11月1日（金）	12月分献立検討会
11月12日（火）	12月分物資選定委員会
11月29日（金）	1月分献立検討会
12月11日（水）	1月分物資選定委員会
12月20日（金）	2月分献立検討会
令和7年1月10日（金）	2月分物資選定委員会
1月31日（金）	3月分献立検討会
2月4日（火）	第2回あま市立学校給食センター運営委員会
2月12日（水）	3月分物資選定委員会
2月28日（金）	4月分献立検討会
3月12日（水）	4月・前期分物資選定委員会

## ○あま市学校給食センターの施設見学及び試食

児童生徒及び園児の保護者をはじめ、より多くの地域住民等が学校給食の趣旨等について理解を深めるとともに、未来を担う児童等の心身の健全な発達に寄与するため、あま市学校給食センターの施設見学及び試食を実施しました。

### ・地域住民

開催日	区分	対象者及び目的	参加人数
4月4日(木)	施設見学	虹のピース 給食を作っているところを学ぶため	18人
5月7日(火)	施設見学及び試食	議員視察	12人
5月13日(月)	施設見学	美和東小学校 社会科の学習	5人
7月4日(木)	施設見学及び試食	保護者	19人
7月9日(火)	施設見学及び試食	保護者	6人
8月5日(月)	施設見学	スマイルスター 学校給食への理解と感謝を深めること	9人
9月24日(火)	施設見学及び試食	シルバーカレッジ 給食センターへ行こう！	11人
10月4日(金)	施設見学及び試食	美和歴史民俗資料館 給食について学習	14人
11月7日(木)	施設見学及び試食	五人会 給食センターの作業のながれと試食	5人
11月7日(木)	施設見学	常滑市給食センター 離乳食、アレルギー食の提供状況について	3人
11月19日(火)	施設見学	大分県日田市市会議員 行政視察	4人
11月20日(水)	施設見学	美和小学校 生活科町探検	48人
12月18日(水)	施設見学及び試食	あま市観光協会 第6回あまっこレシピ コンテスト給食の試食	8人
2月10日(月)	施設見学	稲沢市教育委員会 共同調理場運営の参考とするため	24人
3月3日(月)	施設見学及び試食	甚目寺東小学校保護者 施設見学	6人

・ 課外授業

公立小学校及び保育園の課外授業の一環として、施設見学を受け入れました。

小学校

開催日	学校名	参加人数
5 月 13 日 (月)	美和東小学校	46 人
9 月 30 日 (月)	正則小学校	51 人
11 月 20 日 (水)	美和小学校	48 人

保育園

開催日	保育園名	参加人数
6 月 4 日 (火)	正則保育園	32 人
6 月 5 日 (水)	新居屋保育園	29 人
6 月 6 日 (木)	萱津保育園	15 人
6 月 20 日 (木)	大花保育園	34 人
6 月 21 日 (金)	聖徳保育園	25 人
6 月 24 日 (月)	昭和保育園	38 人
6 月 25 日 (火)	昭和保育園	38 人
6 月 26 日 (水)	篠田保育園	36 人
6 月 27 日 (木)	五条保育園	23 人
6 月 28 日 (金)	七宝北部保育園	32 人

評価： 各学校では、学校給食の献立作成等に携わる栄養教諭が各学級を巡回し、児童生徒の喫食状況を観察したり会話したりすることで現状を把握し、それを献立に反映させることができました。また、栄養教諭が各学校の健康教育の取り組みに関わることで、食を話題として取り上げる機会が増え、児童生徒・教職員の食への関心を高めることができました。さらに、児童生徒及び園児を対象にアンケートを実施し、人気のある献立を調査して献立作成に活用する「リクエスト給食」を1月・2月に実施しました。

・ 評価指標

課外授業の受入小学校数及び保育園数

・ 評価に係るエビデンス

小学校3校／全12校、保育園9園／全9園

目標： 児童生徒に食への関心を持ってもらうため、教職員との意見交換を行い、献立を検討していきます。

給食センターの来所者に対して、給食センターが担う役割の大切さや食への興味・関心を高め、理解を深めていきます。

課外授業においては、栄養教諭や栄養士から児童や園児へ給食の大切さを伝えていきます。

・数値目標

小学校 3 校／全 12 校 保育園 9 園／全 9 園

○オーガニック給食の取組

オーガニック給食の取り組みとして、児童生徒及び園児へ環境にもより安全で配慮した給食提供を目指し、「オーガニック食材を活用した給食の推進」に取り組んでいます。また、SDGs の観点から、環境負荷の少ない有機栽培で生産された有機 JAS マーク付きの野菜を給食に取り入れました。

日程	食材	献立
5 月 21 日（火）	じゃがいも	有機じゃがいもと高野豆腐の卵とじ
12 月 6 日（金）	たまねぎ	有機たまねぎのカレーライス
1 月 29 日（水）	ブロッコリー	有機ブロッコリーのおかか和え

○アレルギー対応

制度概要

小中学校及び保育園のみならず、市全体で取り組むべき課題であるとの認識から、平成 30 年 9 月に「あま市給食における食物アレルギー対応の基本方針」を策定しました。

この方針に基づき、食物アレルギーを有する児童生徒等にも安全に配慮した給食の提供を行うことができるようになり、市全体で統一した対応を行うことで、より安全で適切なアレルギー対応が可能となりました。

アレルギー対応者数（令和 7 年 3 月現在）

人数

小学生：149 人、中学生：26 人、保育園：74 人

小中学生減額金額

金額

	牛乳	ご飯	パン	麺
小学生	66 円	61 円	62 円	65 円
中学生	66 円	73 円	71 円	76 円

※アレルギー対応者においては、上記金額を引いた金額で給食費を徴収しています。

## ○給食費

令和6年度 賄材料費における収入内訳  
(公金日：令和7年5月31日分まで)

(円)

	賄材料費	賦課額	徴収額	未納額	市負担額
小学校	284,486,682	270,427,722	268,848,246	1,579,476	14,058,960
中学校	158,018,276	151,193,556	150,080,213	1,113,343	6,824,720
合 計	442,504,958	421,621,278	418,928,459	2,692,819	20,883,680

過年度給食費

(円)

	過年度給食費未納額	徴収額	過年度給食費 未納残額	徴収率 (%)
小学校	4,259,355	543,952	3,715,403	12.8
中学校	2,722,657	287,870	2,434,787	10.6
合 計	6,982,012	831,822	6,150,190	11.9

評価： 物価高騰の状況下において、献立と使用食材を工夫することで賄材料費を適切に運用し、安定した給食運営を実現することができました。また、過年度分の未納給食費の徴収のため、夜間訪問を実施し、回収に努めました。

- ・評価指標

過年度分給食費徴収率

- ・評価に係るエビデンス

賄材料費：442,504,958円

過年度給食費徴収率 小学校：12.8%、中学校：10.6%

目標：学校給食について児童生徒等へ安全で安心な給食を提供すること。

- ・数値目標

過年度給食費未納額については、徴収率を上昇させること。

## ○あま市学校給食センター調理・配送等業務

あま市学校給食センター調理・配送等業務の契約が令和6年8月31日に終了するため、新たな受託業者を選定するプロポーザル審査委員会を開催しました。その結果、「株式会社東洋食品」を受託候補者（契約業者）として決定し、同社が調理及び配送等の業務を実施することとなりました。

評価： あま市学校給食センター調理・配送等業務において、新たに配膳業務を追加し、調理・配送・配膳の一連の業務を同一業者が一括して担うこととしました。これにより、業務間の連携が柔軟かつ迅速になり、効率的な業務運営が可能となりました。

- ・評価指標

受託候補者（契約業者）の提案内容、あま市学校給食センター調理・配送等業務実施要領

- ・評価に係るエビデンス

あま市学校給食センター調理・配送等業務仕様書、契約書

目標：児童生徒に安全安心な給食を安定的に供給していきます。

### (3) 生涯学習課

#### ■生涯学習推進本部事業

##### ○事業報告

本部会議の開催

第1回 令和6年6月11日(火)

【議題】本会議での協議事項、実施事務及び今後のスケジュールについて

第2回 令和6年9月6日(金)

【議題】評価シートの作成に係る事務の流れ及び完了までのスケジュールについて

第3回 令和6年12月17日(火)

【議題】評価シート素案の最終確認及び今後のスケジュールについて

随時 作業部会による評価シート素案の確認

令和7年2月5日(水)

生涯学習推進計画策定に携わった外部有識者による評価シートの審査・講評

令和7年2月9日(日)

外部有識者による最終確認を経て評価シートの完成

令和7年2月14日(金)

社会教育審議会への報告

**評価：** 生涯学習の推進を図るとともに、令和3年度に策定しました生涯学習推進計画に則した生涯学習事業の進捗確認及び事業評価を実施するため、令和4年度に生涯学習推進本部を設置し、生涯学習事業の進捗確認及び事業評価の指標としての評価シートを作成いたしました。

**目標：** 今回作成した評価シートを基に評価項目の見直しを行い、生涯学習推進計画の進捗状況の管理を適切に行います。

#### ■公民館事業

市民のニーズにあった学習の機会を提供し、自発的な学習意欲を喚起するとともに、知識や趣味を広げられる機会を提供しました。

##### ○アマスターカレッジ

・美和歴史民俗資料館

講座名	開催日	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
「人権を知る」	6月17日 (月) 午前	一般	5回	20名	19名	21名
チャレンジする人のはなし 「日本一小さな酒蔵の挑戦！」	6月22日 (土) 午後					
中部大学・あま市連携講座 「トルコの歴史と文化」	6月29日 (土) 午後					
「SDGsの現在」	7月5日 (金) 午前					
愛知県美術館出前講座 「美術館の仕事～もっと楽しむ美術と美術館～」	7月22日 (月) 午前					

## ○公民館講座

・七宝公民館

### 前期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
初めての方・女性向きのクラシックギター講座	5月22日、 6月5日・19日、 7月3日・17日 各水曜日午後	女性	5回	10名	10名	18名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス	5月9日・23日、 6月6日・20日、 7月4日 各木曜日午前	一般	5回	15名	15名	26名
ママのためのリフレッシュ産後ケア&バランスボール	5月16日・30日、 6月13日・27日、 7月11日 各木曜日午前	女性	5回	15名	14名	14名
夏休み書道教室	7月13日・20日 各土曜日午後	小学生	2回	15名	10名	10名
楽しく学ぶ英会話レッスン	7月23日・30日(火)、 8月7日(水)・20日(火)・ 21日(水) 午前	中学生以上	5回	16名	3名	3名

### 後期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
歌が上手くなる「ボイトレ講座」	10月11日・25日、 11月22日、 12月13日、 令和7年1月10日 各金曜日午前	一般	5回	20名	20名	58名
作ろう！親と子の思い出紡ぐオリジナル絵本	10月12日 土曜日午後	年少～ 小学6 年生ま での子 と親	1回	8組	4組	4組
マクラメ講座	10月16日・23日 各水曜日午前	一般	2回	20名	18名	19名
バランスボールでココロとカラダのメンテナンス	10月24日、 11月7日・21日、 12月5日・19日 各木曜日午前	一般	5回	15名	15名	29名
パンチニードル講座	11月13日・27日、 12月11日 各水曜日午後	一般	3回	10名	5名	6名
自分探しのコーヒー講座	11月17日、 12月22日、 令和7年1月19日 各日曜日午前	一般	3回	20名	20名	43名

はじめまして HTML ウェブページを作る ためのコードを書いてみよう	11 月 30 日 土曜日午後	小学 4～6 年生	1 回	10 名	2 名	2 名
ママのためのバラン スボール講座 SPECIAL	12 月 26 日 木曜日午前	一般	1 回	15 名	14 名	15 名
可能性開花講座～1 年後のなりたい自分 ～～	令和 7 年 1 月 14 日 火曜日午後	一般	1 回	15 名	10 名	13 名

・美和公民館

前期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
Time is Money ! 「時短料理講座」	5 月 12 日・19 日・26 日 各日曜日午前	一般	3 回	24 名	6 名	8 名
中学生からはじめる 「ハングル講座」	5 月 12 日・26 日、 6 月 9 日・23 日、 7 月 14 日・28 日 各日曜日午後	中学生 以上	6 回	20 名	20 名	25 名
パンとお菓子づくり 講座	6 月 3 日・10 日・17 日 各月曜日午前	一般	3 回	24 名	15 名	15 名
楽しく学ぶ英会話レ ッスン	7 月 22 日(月)・26 日 (金)・29 日(月)、 8 月 2 日(金)・12 日 (月)午前	中学生 以上	5 回	16 名	14 名	14 名

後期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
文字で伝わる書き手 の想い「大人の美文 字講座」	10 月 8 日・22 日、 11 月 12 日・26 日、 12 月 10 日 各火曜日午前	一般	5 回	16 名	16 名	52 名
学んで活かす！「プ ロから学ぼう接遇マ ナー講座」	10 月 9 日・23 日 各水曜日午後	一般	2 回	16 名	15 名	15 名
地球を実感しよう！ ～JICA 海外協力隊 員の声～「国際理解 教育講座」	10 月 12 日、 11 月 16 日、 12 月 14 日 各土曜日午前	中学生 以上	3 回	25 名	11 名	12 名
ギターで脳トレ「認 知症予防(改善)講座 ～クラシックギター しよう～」	10 月 16 日・30 日、 11 月 13 日・27 日、 12 月 11 日 各水曜日午後	45 歳 以上	5 回	10 名	10 名	15 名
パンとクリスマスケ ーキづくり講座	10 月 21 日、 11 月 18 日、 12 月 16 日 各月曜日午前	一般	3 回	30 名	25 名	25 名



親子で作るお弁当講座	11月23日 土曜日・祝日午前	親子	1回	6組	4組	6組
------------	--------------------	----	----	----	----	----

・甚目寺公民館

前期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
やるからには突き詰めろ！レザークラフト・レザーカービング講座	7月21日、 8月4日・18日、 9月1日・15日・ 29日 各日曜日午前	一般	6回	10名	10名	18名
パソコン講座 パソコンを楽しむ	5月14日・21日・ 28日、 6月4日・11日・18 日 各火曜日午後	一般	6回	10名	9名	11名
食パンアート講座	6月23日 日曜日午前	一般	1回	12名	7名	7名
自転車シミュレータで 学ぶ自転車安全講座	8月6日 火曜日午前	小・中 学生と 保護 者	1回	8組 16名	6組 13名	6組 13名
楽しく学ぶ英会話 レッスン	7月23日・30日、 8月6日・20日・27 日 各火曜日午前	中 学 生 以 上	5回	16名	12名	12名

後期講座

講座名	開催日	対 象	回 数	定 員	受講者数	申込者数
パソコン講座 はじめてのパソコン	11月5日・12日・ 19日・26日、 12月3日・10日 各火曜日午後	一般	6回	10名	4名	4名
パソコン講座 パソコンを楽しむ	11月7日・14日・ 21日・28日、 12月5日・12日 各木曜日午後	一般	6回	10名	10名	11名
羊毛フェルト講座	11月10日・24日 各日曜日午前	小 学 生 以 上	2回	20名	18名	19名

○読書室・図書室事業

事業名	内 容	回 数	参加者数	会 場
この本だいすきの会のよみきかせ	幼児・児童向け絵本のよみきかせ	39回	延べ 128名	甚目寺公民館 図書室
おどろぐばこのかみしばい	幼児・児童向けかみしばい	12回	延べ31名	甚目寺公民館 図書室

## ○読書室・図書室利用者数・年間貸出冊数（点数）

読書室・図書室	利用者数（前年）	年間貸出点数（前年）	蔵書点数
七宝公民館読書室	535名（646名）	2,030点（2,313点）	13,158点
甚目寺公民館図書室	10,257名（11,610名）	27,667点（31,758点）	38,975点

## ○ブックスタート事業

はじめての本との出会いとして、また絵本を通じて親子のふれあいの時間を持つことの大切さを実感していただくため、読み聞かせを実施しました。7月までは「くだもの」を配布、8月から「がたんごとんがたんごとん」を配布しました。

事業名	回 数	実施者数	会 場
ブックスタート事業	28回	延べ576名	甚目寺保健センター

### ・ブックスタートボランティア研修

開催日時	講 師	参加者数	会 場
3月5日（水） 午後2時～午後3時30分	村田 あゆみ氏	7名	あま市役所 E会議室

## ○パソコン・スマホ・タブレット相談室

パソコン・スマホ・タブレット操作で悩みを抱えている方への支援策として、パソコン・スマホ・タブレット相談室を開催しました。

開催日	回 数	参加者数	会 場
4月3日（水）・20日（土）、 5月8日（水）・18日（土）、 6月5日（水）・15日（土）、 7月3日（水）・20日（土）、 8月7日（水）・17日（土）、 9月4日（水）・21日（土）、 10月2日（水）・19日（土）、 11月6日（水）・16日（土）、 12月4日（水）・21日（土）、 1月8日（水）・18日（土）、 2月5日（水）・15日（土）、 3月5日（水）・15日（土）、 午前10時～11時30分	24回 （3名のボランティア協力による）	延べ 70名	七宝公民館 読書室
4月9日（火）、5月22日（水） 6月25日（火）、7月25日（木） 8月22日（木）、9月10日（火） 10月10日（木）、11月29日（金） 12月26日（木）、1月31日（金） 2月28日（金）、3月21日（金） 午後2時～4時	12回 （甚目寺パソコンクラブへ委託）	延べ 36名	甚目寺公民館 児童室
5月9日（木）、6月12日（水） 7月10日（水）、9月25日（水） 10月23日（水）、11月13日（水） 12月11日（水）、1月15日（水） 2月20日（木） 午後4時～5時30分	9回 （五条高等学校パソコン部へ委託）	延べ 14名	甚目寺公民館 児童室

4月22日、7月22日、8月26日、 9月23日、10月28日、11月25日、 12月23日、1月27日、2月24日、 3月24日 各月曜日 午前10時～11時30分	10 回 (有志のボランティア協力による)	延べ 9名	美和歴史民俗資料館 研修室
--	--------------------------	----------	------------------

評価： 公民館事業を通じて、幅広く学習の場を提供することができました。また、健全な地域コミュニティの形成につながりました。

・評価指標

受講者数

・評価に係るエビデンス

受講者名簿 上記参加者数

目標： 令和6年度の実績を踏まえながら、令和7年度も継続及び新規の講座を開催します。

## ■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、身近な子育てモデルもなく、親は育児不安やストレスを抱えている現状があります。親同士のつながりや子育てについての知識を広げることができるよう、各種事業を実施しました。

### ○幼児期家庭教育講座

講座名	開催日	定員	受講者数	開催場所
栄養満点ふりかけと野菜たっぷり お味噌汁講座	5月8日(水) 午前	10組	3組 6名	美和公民館
消防署へ行こう ～消防署見学と応急処置～講座	5月21日(火) 午前	15組	15組 33名	海部東部 消防署
親子で色ぬりしよう♪my絵本作り 講座	6月7日(金) 午前	15組	6組 12名	甚目寺公民館
梅講師『梅ミッキー』に習う！ 親子で梅仕事講座	6月14日(金) 午前	12名	6名	美和公民館
影絵の世界を楽しもう♪講座	7月23日(火) 午前	15組	11組 22名	七宝公民館
初めてのバレトン！体を動かして リフレッシュ！！講座	10月23日(水) 午前	12名	9名	七宝公民館
ハーブボール作り&セルフケア講 座	11月22日(金) 午前	10名	4名	甚目寺公民館
クリスマスを食べよう♪講座	11月24日(日) 午前	10組	8組 16名	美和公民館
心をつなぐ音楽遊び♪講座	11月28日(木) 午前	10組	3組 7名	甚目寺公民館
レジンキーホルダーを作ろう講座	12月4日(水) 午前	15名	5名	美和公民館

## ○小学生親子ふれあい講座

講 座 名	開催日	定 員	受講者数	開催場所
オーブントースターで焼くパン講座「トマトフォカッチャ&春野菜のポトフ」	5月18日（土） 午前	12組	11組 22名	美和公民館
お菓子作り講座 「簡単クッキー」	6月8日（土） 午前	12組	11組 22名	美和公民館
木工クラフト講座「宝箱づくり」	7月27日（土） 午前	12組	15組 30名	七宝公民館
フラワー講座 「フラワーアレンジメント」	9月7日（土） 午前	15組	13組 26名	七宝公民館
スイーツデコレーション講座 「メモスタンド」	10月26日（土） 午前	15組	11組 22名	七宝公民館
リボン作り講座 「クリスマスツリーのフレーム」	11月30日（土） 午前	15組	12組 24名	七宝公民館
お菓子作り講座 「シフォンケーキ」	12月7日（土） 午前	12組	12組 24名	美和公民館
オーブントースターで焼くパン講座「シュガーバターりんごパン・れんこんの中華スープ」	令和7年1月25日（土） 午前	12組	12組 24名	美和公民館

## ○家庭教育学習事業

事業名	開催日	参加者数	開催場所
親子で楽しむ音楽会	8月9日（金）午前	225名	美和文化会館
家庭教育講座 小学生親子ポーセラーツ講座	12月1日（日）午後	8組	美和公民館
親子ふれあいデー	2月8日（土）	374名	美和文化会館

## ○家庭教育推進協力企業登録制度

企業内における家庭教育事業を奨励し、家庭教育の一層の促進を図ることを目的として協力企業の募集を行いました。

	登録企業・団体名	業 種
1	佐藤醸造株式会社	味噌・醤油製造業
2	株式会社原ネームプレート製作所	家電自動車プラスチック部品製造
3	株式会社弘和テック	製造業
4	勅使川原産業株式会社	運輸業

5	株式会社光電業社	電気工事業
6	有限会社立松空調サービス	空調設備工事・広告企画
7	特定非営利活動法人ほっとネット・みわ	まちづくり・中間支援事業 子育て支援事業
8	株式会社エコフォレスト	産業廃棄物処理業・建設業・不動産業
9	株式会社浦田建築工房	建設業
10	富士スクリーン印刷株式会社	製造業
11	株式会社サンクリエイト	塗装工事・防水工事・屋根工事・とび 土木・建築工事
12	株式会社坪井ガラス	サービス業
13	N D S 株式会社	建設業
14	株式会社コーワ	その他製造業
15	株式会社エイビス	野球ユニフォーム製造・販売
16	株式会社ワコウ	理美容サロン向クロス等衛生用品及び 業務用エプロン等衛生用品の企画・製 造・販売
17	美吉建設株式会社 あま支店	総合建設業
18	株式会社C o m o d o L A B O	企画・デザイン
19	三輪電設株式会社	電気工事
20	特定非営利活動法人ママ・ぷらす	子育て支援
21	中部美化企業株式会社	製造業
22	株式会社河村産業所	輸送用機械器具製造業・総合建設業
23	株式会社山田製作所	金属製品製造業
24	加藤製菓株式会社	飴菓子製造業
25	中日本炉工業株式会社	製造業

26	濱嶋運輸有限会社	運輸業
27	S A ロジテム株式会社	運輸業
28	特定非営利活動法人あまスポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブ

**評価：** 家庭教育は人が最初に受ける教育であり、基本的な生活習慣を身につけるための重要な役割を果たしています。親と子がともに学び、ともに楽しむきっかけづくりとなりました。

・評価指標

受講者数、来場者数、登録者数

・評価に係るエビデンス

受講者名簿、家庭教育推進協力企業一覧

令和6年度親子ふれあいデー来場者数374名

**目標：** 令和7年度も、家庭教育推進協力企業の登録数を増やすとともに、子育て支援の一助となるよう親子ふれあいデーを実施します。

・数値目標

親子ふれあいデー来場者数500名以上

## ■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を実施しました。

	事業名	内 容	開催日・場所
1	夏期街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員、小中学校教職員及びPTA役員との合同により、市内の街頭パトロールを実施しました。	7月・8月 小中学校夏休み 期間中
2	「あまつり 2024」夜間街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員により、「あまつり 2024」において夜間街頭パトロールを実施しました。	8月17日（土） 七宝焼アートヴィレッジ
3	「イルミネーション点灯式」街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員により、「イルミネーション点灯式」において街頭パトロールを実施しました。	11月23日（土） 美和文化会館
4	「あま市人権講演会」啓発活動	青少年健全育成推進協議会委員により、「あま市人権講演会」において啓発活動を実施しました。	11月24日（日） 甚目寺公民館
5	冬期街頭パトロール	青少年健全育成推進協議会委員、小中学校教職員及びPTA役員との合同により、市内の街頭パトロールを実施しました。	12月 小中学校冬休み 期間中
6	「家庭の日」県民運動啓発活動	広報掲載、各施設へのポスター・リーフレットの掲示及び配布を実施しました。	2月1日（土） ～28日（金）

**評価：** 非行に走る若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく、多くの方が参加するイベント等で啓発活動を実施しました。地域全体で、青少年の健全育成のためにどのようなことができるのかを考える契機とな

りました。

・評価指標

パトロール・啓発活動回数

目標： 今後も学校の長期休暇を中心に、青少年の非行防止の啓発活動を推進します。

■文化の杜指定管理事業

文化の杜（美和文化会館・美和図書館・美和ふれあいの森）の管理運営に指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを活用して、より効果的・効率的な運営に努めました。

- ・指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日
- ・指定期間に係る指定管理料 614,214,000円
- ・令和6年度指定管理料 120,654,000円
- ・指定管理者 ホームメックス株式会社

評価： 民間事業者のノウハウを活用した効果的・効率的な運営により、地域の文化振興に寄与することができました。

目標： 令和7年度もより効果的・効率的な運営に努めます。

■美和文化会館事業

各種講座・教室、イベント事業などを開催し、文化・芸術に親しむ機会を提供するとともに、文化会館利用の促進を図りました。

○文化教室

事業名	開催日	定員	受講者数	申込者数	会場
やさしいヨガ (6回コース)	4月3日・17日 5月1日・29日 6月12日・19日 各水曜日	各 25名	延べ 189名	25名	多目的ホールB Cほか
0～3歳児のための親子 リズム教室ずむずむ® (6回コース)	4月4日・18日 5月2日・16日 6月6日・20日 各木曜日	5組	延べ7組	2組	多目的ホールC
うちの子ペット自慢・ 写真展	4月7日(日) ～28日(日)	-	-	29点	2階ロビー
バランスボール エクササイズ (6回コース)	4月11日・25日 5月9日・23日 6月13日・27日 各木曜日	各 20名	延べ36名	13名	多目的ホールA B
アロマヨガ(6回コース)	4月12日・26日 5月10日・24日 6月14日・28日 各金曜日	各 25名	延べ 186名	26名	多目的ホールB Cほか
スズメバチトラップで 蜂退治！講座	4月13日(土)	各 10名	延べ13名	14名	多目的ホールA
幹遼太鼓 和太鼓教室 (体験会)	4月17日(水)	40名	36名	41名	多目的ホールA B C
いきいき美容教室	4月30日(火)	20名	13名	19名	アートスペース M
幹遼太鼓 和太鼓教室 (4回コース)	5月1日・15日 6月5日・19日 各水曜日	各 10名	延べ66名	10名	多目的ホールA B Cほか

ソーパークーピング教室	5月3日（金・祝）	各 6名	延べ11名	12名	多目的ホールA
あま市文化の杜 市民展	5月3日（金・祝） ～26日（日）	-	-	30点	2階ロビー
みわおもちゃ病院	5月5日（日・祝）	-	延べ32個 （修理 台数）	-	多目的ホールA
スマホ初心者向け講座	5月18日（土）	15名	4名	9名	ふれあいの森ほ か
やさしいヨガ （6回コース）	7月3日・17日 8月14日・28日 9月4日・18日 各水曜日	各 25名	延べ 146名	25名	多目的ホールB Cほか
幹遼太鼓 和太鼓教室 （6回コース）	7月3日・17日 8月7日・21日 9月18日・25日 各水曜日	各 10名	延べ93名	9名	アールスペース Mほか
0～3歳児のための親子 リズム教室ずむずむ® （6回コース）	7月4日・18日 8月1日・15日 9月5日・19日 各木曜日	5組	延べ12組	3組	多目的ホールC
あま市文化の杜 市民展	7月5日（金） ～28日（日）	-	-	32点	2階ロビー
バランスボール エクササイズ （6回コース）	7月11日・25日 8月1日・22日 9月12日・26日 各木曜日	各 20名	延べ59名	18名	多目的ホールA B
アロマヨガ（6回コー ス）	7月12日・26日 8月9日・23日 9月13日・27日 各金曜日	各 25名	延べ 195名	25名	多目的ホールA B
チョークアート	7月15日（月・祝）	各 15名	延べ27名	27名	多目的ホールA
あま市文化の杜 夏休みラジオ体操	7月20日（土） ～8月31日（土）	-	延べ 362名	-	1階ロビー
あま市文化の杜 市民展（一般の部）	8月4日（日） ～28日（水）	-	-	30点	2階ロビー
みわおもちゃ病院	8月18日（日）	-	延べ56個 （修理 台数）	-	多目的ホールA
大ホール探検ツアー	8月18日（日）	各 12名	延べ11名	11名	大ホール
あま市文化の杜 市民展	9月4日（水） ～26日（木）	-	-	65点	2階ロビー



アロマヨガ (6回コース)	10月4日・18日 11月15日・29日 12月13日・20日 各金曜日	各 25名	延べ 183名	25名	多目的ホールB Cほか
やさしいヨガ (6回コース)	10月9日・30日 11月6日・20日 12月4日・18日 各水曜日	各 25名	延べ 181名	20名	多目的ホールB C
0～3歳児のための親子 リズム教室ずむずむ® (6回コース)	10月10日・24日 11月14日・28日 12月5日・19日 各木曜日	5組	延べ9組	3組	多目的ホールC
バランスボール エクササイズ (6回コース)	10月17日・24日 11月14日・28日 12月12日・19日 各木曜日	各 20名	延べ64名	18名	多目的ホールA B
みわおもちゃ病院	10月20日(日)	-	延べ6個 (修理 台数)	-	多目的ホールA
あま市内中学校絵画展	11月7日(木) ～24日(日)	-	85点	-	2階ロビー
スマホ初心者向け講座	11月23日(土・祝)	15名	11名	11名	ふれあいの森
あま市文化の杜 市民展	12月1日(日) ～25日(水)	-	-	36点	2階ロビー
あま市文化の杜 市民展	1月7日(火) ～29日(水)	-	-	23点	2階ロビー
やさしいヨガ (6回コース)	1月15日・29日 2月5日・19日 3月5日・19日 各水曜日	各 25名	延べ 163名	25名	多目的ホールB C
0～3歳児のための親子 リズム教室ずむずむ® (6回コース)	1月16日・30日 2月6日・20日 3月6日・20日 各木曜日	5組	延べ6組	2組	多目的ホールC
バランスボール エクササイズ (5回コース)	1月16日・30日 2月27日 3月13日・27日 各木曜日	20名	延べ50名	19名	多目的ホールA B
アロマヨガ (6回コース)	1月17日・31日 2月14日・28日 3月14日・28日 各金曜日	各 25名	延べ 209名	25名	多目的ホールA Bほか
ときめき美容体験会	1月25日(土)	25名	22名	26名	アートスペース M
みわおもちゃ病院	2月16日(日)	-	延べ45個 (修理 台数)	-	多目的ホールA
あま市文化の杜 市民展	3月6日(木) ～28日(金)	-	-	17点	2階ロビー

## ○イベント事業

事業名	出演者	開催日	参加者数	会 場
久住昌之のふらっと グルメあま市	指定管理者ホームメ ックス株式会社	5 月 25 日 (土)	265 名	大ホール
にこるんマルシェ	にこるんマルシェ 実行委員会	5 月 26 日 (日)	延べ 1,250 名	多目的ホー ル A B C ほ か
愛知室内オーケストラ 0 歳からのオーケスト ラコンサート	N P O 法人ほっとネ ット・みわ	9 月 8 日 (日)	473 名	大ホール
文化の杜フェスタ	指定管理者ホームメ ックス株式会社	9 月 29 日 (日)	延べ 400 名	大ホールほ か
あいち県民の日連携事 業 ふれぱーく	指定管理者ホームメ ックス株式会社	11 月 9 日 (土)	延べ 128 名	大ホールほ か
幹遼太鼓	幹遼太鼓「大きなご 縁」実行委員会	12 月 1 日 (日)	629 名	大ホールほ か
文化の杜 ミュージカルショー 子どもたちのための 芸術劇場	4 年椿組ほか	12 月 8 日 (日)	676 名	大ホール
にこるんマルシェ	にこるんマルシェ 実行委員会	12 月 8 日 (日)	延べ 1,500 名	多目的ホー ル A B C ほ か
クリスマスコンサート in イルミネーション 2024	N P O 法人ほっとネ ット・みわ	12 月 15 日 (日)	352 名	大ホールほ か
クリスマス・イヴきら めきロビーコンサート	オルケストラ・アル テ・ムジカ	12 月 24 日 (火)	延べ 265 名	1 階ロビー
第 5 回未来を紡ぐコン サート	未来を紡ぐコンサー ト実行委員会	1 月 19 日 (日)	481 名	大ホール
親子ふれあいデー	あま市教育委員会	2 月 8 日 (土)	374 名	ふれあいの 森ほか
映画上映会	指定管理者ホームメ ックス株式会社	2 月 24 日 (月・ 振)	延べ 309 名	大ホール
ピアノコンサート	エイコン・ヒビノほ か	3 月 23 日 (日)	259 名	大ホール

評価： これらの講座・イベント等の開催により、文化・芸術に親しむ機会を提供しました。

・評価指標

受講者数、参加者数

・評価に係るエビデンス

月次報告書 上記参加者数

目標： 令和6年度の実績を踏まえながら、令和7年度も継続及び新規の講座・イベント等を開催します。

## ■美和図書館事業

企画展示や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

### ○企画展示

展示名	内 容	開催日	会 場
特別展示	美和図書館30thAnniversary記念「ヨネザワ玩具／トミカ黒箱の世界made in Japan 重機の大行進」美和文化会館館長・高橋直弘氏からコレクションを借りて展示しました。	4月7日(日) ～6月30日(日)	図書館内 展示ケース
	「おはなしのなかのきりえ展」 あま市在住の黒川禮子氏より作品を借りて展示しました。	7月7日(日) ～9月29日(日)	
	「読書人形展」 図書利用カードをデザインした溝口真澄氏から読書している人形のコレクションを借りて展示しました。	10月19日(土) ～12月6日(金)	
	「郷土玩具・巳展」 本年の干支である「へび」の郷土玩具を展示しました。	12月15日(日) ～1月13日(月・祝)	
	「あめを造って88年」 あま市の企業・加藤製菓株式会社様にご協力いただき展示しました。	1月19日(日) ～3月23日(日)	
テーマ展示	A・L・C 第11号	4月2日(火) ～6月12日(水)	図書館内
	日本の映画っていいね！2024	4月2日(火) ～4月21日(日)	
	はるがきた！	4月2日(火) ～4月25日(木)	
	読み聞かせ春のおすすめ絵本(小学校低・中・高学年)	4月2日(火) ～6月5日(水)	
	子どもの本の会「やまだうたこ」	4月2日(火) ～4月10日(水)	
	本屋大賞 2024	4月2日(火) ～7月5日(金)	
	美和図書館 30 周年	4月2日(火) ～6月15日(土)	
	ふくろうの森コーナー「たかばたけじゅん」	4月2日(火) ～6月27日(木)	
	ふくろうの森コーナー「第16回 MOE 絵本屋さん大賞」	4月4日(木) ～7月3日(水)	
	子どもの本の会「世界の絵本賞」	4月9日(火) ～6月12日(水)	
	読み聞かせおすすめ絵本(小学校低・中・高学年)	4月9日(火) ～3月30日(日)	
	子どもの本の会「エリック・カール」	4月11日(木) ～5月8日(水)	
	久住昌之と旨いもの	4月11日(木) ～6月27日(木)	
	さとうわきこさん	4月11日(木) ～6月15日(土)	
	Let's Go! ピクニック	4月27日(土) ～6月11日(火)	

子どもの本の会「世界の絵本賞」	5月9日(木) ～6月12日(水)
読み聞かせ夏のおすすめ絵本(小学校低・中・高学年)	6月5日(水) ～9月3日(火)
かさもっておでかけ	6月12日(水) ～8月11日(日)
子どもの本の会「ディック ブルーナ」	6月13日(木) ～7月10日(水)
2024 パリオリンピック ガンバレ ニッポン!	6月18日(火) ～9月11日(水)
夏のおすすめ本(小学校低・中・高学年・YA)	6月29日(土) ～8月31日(土)
怖いやら不思議やら	6月29日(土) ～9月27日(金)
ふくろうの森コーナー「第171回芥川賞・直木賞」	7月3日(水) ～9月12日(木)
JAICA 国際協力書籍展	7月6日(土) ～7月25日(木)
紙を切る	7月6日(土) ～9月29日(日)
子どもの本の会「町田尚子」	7月11日(木) ～9月11日(水)
ふくろうの森コーナー「新札 もう見たかまだ見ぬか」	7月12日(金) ～8月30日(金)
ふくろうの森コーナー「第63回青少年によい本をすすめる県民運動」	8月3日(土) ～9月15日(日)
お月見	8月12日(月・祝) ～10月10日(木)
矢玉四郎さん	8月22日(木) ～9月26日(木)
ふくろうの森コーナー「共に生きともに歩もう認知症」	9月1日(日) ～10月31日(木)
ふくろうの森コーナー「敬老の日読書のすすめ2024」	9月1日(日) ～12月12日(木)
読み聞かせ秋のおすすめ絵本(小学校低・中・高学年)	9月4日(水) ～11月30日(土)
ハロウィン	9月4日(水) ～10月31日(木)
リーリー シンシン 13年間ありがとう♡	9月6日(金) ～10月6日(日)
子どもの本の会「堀川理万子」	9月12日(木) ～11月13日(水)
東海道新幹線誕生 60 周年	9月13日(金) ～11月3日(日・祝)
第63回青少年によい本をすすめる県民運動	9月16日(月・祝) ～10月22日(火)
第36回読書感想画中央コンクール	9月26日(木) ～10月22日(火)
ふくろうの森コーナー「秋の寺子屋ライブラリーお寺・仏像・坐禅・茶道ってどんなもの？」	9月28日(土) ～11月21日(木)
特別展示「読書人形展」記念 お人形さん	10月3日(木) ～12月28日(土)
まつり	10月11日(金) ～11月21日(木)
中川李枝子さん	10月18日(金) ～12月28日(土)
わたしの一押し本	10月26日(土) ～12月15日(日)

	ふくろうの森コーナー「読書会の一押し本」	11月3日(日・祝) ～12月28日(土)	
	人権	11月4日(月・振) ～12月20日(金)	
	クリスマス	11月4日(月・振) ～12月25日(水)	
	子どもの本の会「スギヤマカナヨ」	11月14日(木) ～12月11日(水)	
	ふくろうの森コーナー「追悼 谷川俊太郎」	11月23日(土・祝) ～12月28日(土)	
	お正月	11月26日(火) ～1月21日(火)	
	読み聞かせ冬のおすすめ絵本(小学校低・中・高学年)	12月1日(日) ～3月2日(日)	
	子どもの本の会「今年出会った私の好きな本」	12月12日(木) ～1月8日(水)	
	ふくろうの森コーナー「第172回芥川賞・直木賞」	12月15日(日) ～3月30日(日)	
	ひと箱本棚	12月21日(土) ～3月2日(日)	
	若い人に贈る読書のすすめ 2025	12月27日(金) ～3月27日(木)	
	ふくろうの森コーナー「阪神淡路大震災 30 年」	12月27日(金) ～3月18日(火)	
	おやつの時間	1月5日(日) ～3月30日(日)	
	子どもの本の会「ディビッドマッキー・きたむらさとし」	1月9日(木) ～2月5日(水)	
	ふくろうの森コーナー「尾張国の城を語る！城博士 千田嘉博氏、見参！」	1月13日(月・祝) ～3月29日(土)	
	犬 vs 猫	1月22日(水) ～3月30日(日)	
	子どもの本の会「スギヤマカナヨ」	2月6日(木) ～3月12日(水)	
	こころの健康コーナー「こころ」を大切にしよう	2月20日(木) ～3月23日(日)	
	A・L・C 第12号「推し！」	2月21日(金) ～8月13日(水)	
	読み聞かせ春のおすすめ絵本(小学校低・中・高学年)	3月4日(火) ～6月1日(日)	
	子どもの本の会「アイヌの絵本」	3月13日(木) ～4月9日(水)	
	日本の映画っていいね！ 2025	3月29日(土) ～6月26日(木)	
ワーク 展示 ショ	カラフルフィッシュ	5月7日(火) ～7月25日(木)	図書館内
	カラフルサンタ	12月1日(日) ～25日(水)	
展示 その他	市内図書館、公民館図書室・読書室連携「おすすめ本」を各所と本庁舎へ掲示しました。	11月1日(金) ～8日(金)	図書館内、 図書室・読 書室、本庁 舎

## ○イベント事業

事業名		内容	開催日	参加者	会 場
ヨムキッズ2024	読書手帳配布	手書きの読書手帳を配布しました。	4月23日(火)～5月12日(日)	-	図書館内、各小中学校
	ブックピクニック	「絵本をいっぱい読もう！」コーナーにおすすめの本を展示し、青空の下、親子で読書を推奨しました。		-	図書館内、ふれあいの森
図書館オリジナルグッズ作成・販売		あまくま図書館版のNDC栞、A4ファイルを作成し、販売しました。	5月1日(水)、11月24日(日)～	-	図書館内
くまぼんと一緒にカウントダウンして写真を撮ろう！		くまぼんと一緒にカウントダウンして写真を撮ろう！	5月1日(水)～7月12日(金)	-	美和文化会館 1階ロビー
高島純さんのワークショップ&講演会「どうぶつえんをつくるゾウ！」		絵本作家高島純氏を招き、ワークショップと講演を行いました。	5月12日(日)	81名	美和文化会館2階多目的ホール
久住昌之のふらっとグルメあま市		「孤独のグルメ」原作者久住氏を招き、スライドとグルメなトークショーを行いました。	5月25日(土)	265名	美和文化会館ホール
ボランティア講座「絵本を選ぶ眼を育てるために」		家庭文庫どんぐり小屋主宰・児童図書相談士の久原幸子氏を講師に招き、小学生向けの読み聞かせについて講演を行いました。	6月5日(水)	28名	美和文化会館多目的ホールABC
七夕飾り		図書館来館者が願い事を短冊に書いて笹に飾りました。	7月2日(火)～7月7日(日)	-	美和文化会館1階ロビー
読書ラリー		年少児から高校生までを対象に期間中、5回貸出、おはなし会参加のスタンプを集めた方に粗品をプレゼントしました。	7月2日(火)～9月1日(日)	延べ971名	図書館内
30周年記念Youtube配信		30周年記念に図書館からのメッセージ、「NDCを覚えましょう」の歌、館内ドローン撮影などを配信しています。	7月12日(金)～	-	Youtube
30周年記念メッセージ		図書館開館30周年記念に利用者からメッセージを集め、掲示しています。	7月12日(金)～5月31日(土)	-	図書館入口
図書利用カードのスマートフォン利用開始		図書館利用登録者がスマートフォンを使って図書利用カード情報を表示できるようにしています。	7月12日(金)～	-	-
学習室の開設		夏休み期間中、学習室を開設しました。	7月20日(土)～9月1日(日)	延べ559名	美和文化会館アールスペースM
ペンギンさんと虫とあそぼう！PartⅢ		重盛ペンギン氏を招き、ふれあいの森で昆虫採集をした後、標本作りを学びました。	7月28日(日)	55名	美和文化会館多目的ホールABC、ふれあいの森

「わたしの一押し本」書評・読書画募集・展示・表彰		利用者の一押し本の書評と読書画を募集・展示・賞を決めました。	9月7日(土) ～12月15日(日)	64点	図書館内
語りの会ペロリの「お寺でおはなしをさく会」		ボランティアと図書館長がストーリーテリングをお寺で行いました。	9月20日(金)	18名	善福寺
シルバーカレッジ		あま市シルバーカレッジにて「読書で交流」でビブリオバトルを行いました。	9月24日(火)	36名	シルバーカレッジ
図書館探偵No. 2		ポプラディア利用やおはなし会参加で「はてなシート」の全問正解者に景品を渡しました。	10月5日(土) ～19日(土)	33名	図書館内
秋の寺子屋ライブラリー		図書館からお寺を3ヶ所巡り、坐禅、写仏や茶道を体験し、最後に図書館で本を借りてもらいました。	10月6日(日)	30名	菊泉院、光専寺、善福寺、図書館内
読書週間イベント	アートフルフェア2024	街のアーティストによるアートを集めたブースでワークショップなどを行いました。	10月26日(土)・ 27日(日)	1,005名	美和文化会館多目的ホールABC、アートスペースM
	グー・チョキ・パーの駄菓子屋さん	美和おはなしグループグー・チョキ・パーが駄菓子屋さんを開催し、売上を社会福祉協議会へ寄付しました。	10月27日(日)	86名	美和文化会館1階ロビー
	フォトブースと親子ふれあい広場	NPO法人ママ・ぷらすがフォトブースと親子ふれあい広場を行いました。		47名	美和文化会館ホワイエ
	図書館ふれあい企画・おまつりひろば	本の貸出レシートをチケットにして輪投げ、ボール投げ、さかな釣り、あめすくいを行いました。		145名	美和文化会館1階ロビー
	市民活動団体などの出展	パン、たこ焼きを販売しました。		220名	美和文化会館1階ロビー、ふれあいの森
図書館長とくるま座になって話そう！博士ちゃん集まれ！「文学散歩ってどんなもの？」		博士ちゃんに皇學館大学文学部岡野裕行氏を招き、「文学散歩」について江藤淳『一族再会』も含め、くるま座になって話しました。	11月8日(金)	5名	美和文化会館多目的ホールA
認知症予防講座		60歳以上を対象に音読や体操などで認知症予防や健康増進に取り組む講座を行いました。	11月15日(金)・ 12月13日(金)・ 1月17日(金)・ 2月14日(金)・ 3月21日(金)	延べ 118名	美和文化会館多目的ホールA、ホワイエ、アートスペースM
ちくちく手づくりの会		「もこもこのおはなし会」に参加した方を対象に「ちくちく手づくりの会」から講師を招き、小物の手芸作りを行いました。	12月17日(火)	20名	美和文化会館多目的ホールABC

「わたしの一押し本」優秀者発表		利用者から応募のあった書評・読書画の最優秀賞1点、優秀賞12点を投票により決め、図書カードをお渡ししました。	1月4日(土)	13名	図書館内
本の福袋		図書館員がおすすめの本を児童用33袋、一般用17袋、計50袋として貸し出しを行いました。	1月4日(土)～7日(火)	50袋	図書館内
図書館ボランティアアラ・ブックさんの日常		図書館ボランティアグループアラ・ブックさんの修理の様子を写真で紹介しました。	1月26日(日)～3月30日(日)	-	図書館入口
30周年記念事業歴史講演会「尾張国の城を語る！」		城郭考古学者千田嘉博氏を講師に招き、講演会を行いました。	3月9日(日)	652名	美和文化会館大ホール
ワークショップ	カラフルフィッシュ	袋にシールのウロコをつけるミニワークショップを館内で行いました。	4月23日(火)～4月29日(月・祝)	100名	図書館内
	一日図書館員	講師：図書館スタッフ 小学4年生から中学3年生までを対象に図書館の仕事を体験してもらいました。	7月30日(火)～8月1日(木)	延べ12名	図書館内
	親子で紙ヒコーキを飛ばそう！	講師：神田吉男氏 紙ヒコーキのデモンストレーション後、3種の紙ヒコーキ作りと飛行距離を競い、親子で紙ヒコーキのキャッチボールなどを行いました。	8月4日(日)	44名	美和文化会館多目的ホールABC
	カラフルサンタ	折紙のサンタに絵付けをするミニワークショップを館内で行いました。	11月10日(日)～24日(日)	276点	図書館内

## 〇おはなし会

事業名	内 容	開催日または回数	参加者数	会 場
もこもこのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等を行いました。	24回開催	延べ420名	図書館内 おはなしコーナー 美和文化会館多目的ホールABC
グー・チョキ・パーのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居、工作、お手玉遊び、手遊び、ストーリーテリング等を行いました。	9回開催	延べ292名	美和文化会館1階ロビー、 図書館内 おはなしコーナー
グー・チョキ・パーキッズのおはなし会	子どもによる子どものためのおはなし会を行いました。	8月24日(土) 3月22日(土)	延べ124名	図書館内 おはなしコーナー
語りの会おはなしペロリの夜のおはなしをきく会	ストーリーテリングを行いました。	7月27日(土)	70名	図書館内 おはなしコーナー



グー・チョキ・パー のお正月あそび	昔なつかしい羽子板、こ ままわし、すごろくなど を行いました。	1月18日 (土)	111名	美和文化会館2階 多目的ホール ABC
語りの会おはなしペ ロリのおはなしをさ く会	ストーリーテリングを行 いました。	2月22日 (土)	21名	図書館内 おはなしコーナー
お楽しみおはなし会	絵本の読み聞かせ、わら べうた、紙芝居等を行 いました。	8回開催	延べ 132名	図書館内 おはなしコーナー

## ○乳幼児・児童サービス

事業名	内 容	開催日または 回数	実施者数	会 場
ブック スタート	乳児健診の親子に対して読み 聞かせとわらべうたを歌いま した。 また、読み聞かせの重要性の説 明や図書館等の利用案内を行 い、ブックスタートパックを手 渡しました。	10回	延べ 201名	甚目寺保健センター
出張読み 聞かせ	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わ らべうた、手遊び等を行いま した。	103回	延べ 2,069名	子育て支援センター つどいの広場 七宝北部保育園 正則保育園 篠田保育園 ひかりこどもえん 青山幼稚園 明和幼稚園 美和こども園
図書館見学	篠田保育園	6月14日(金)	34名	図書館内、 美和文化会館1階ロビー
	正則保育園	6月25日(火)	27名	図書館内、 美和文化会館1階ロビー

## ○学校支援サービス

事業名	対 象	開催日	参加者数	会 場
図書館見学	美和小学校2年生	11月14日(木)	48名	図書館内、 美和文化会館大ホール
職場体験	七宝中学校2年生	6月12日(水) ～14日(金)	3名	図書館内
	七宝北中学校2年生	6月18日(火) ～20日(木)	4名	図書館内
	甚目寺南中学校2年生	10月22日(火) ～24日(木)	4名	図書館内
	甚目寺中学校2年生	10月29日(火) ～31日(木)	4名	図書館内
	美和中学校2年生	11月19日(火) ～21日(木)	3名	図書館内

# ○図書館利用者数・年間貸出冊数（点数）

図書館	利用者数（前年）	年間貸出点数（前年）	蔵書点数
美和図書館	58,288名（56,441名）	252,340点（235,337点）	132,313点

評価：これらの講座・イベント等の開催により、図書に親しむ機会を提供しました。

## ・評価指標

参加者数、実施者数

## ・評価に係るエビデンス

月次報告書 上記参加者数

目標：令和6年度の実績を踏まえながら、令和7年度も継続及び新規の講座・イベント等を開催します。

## ■放課後子ども教室事業

（令和5年度より福祉部子育て支援課から生涯学習課へ移管）

放課後の子どもたちが安心して活動できる場所として、学校の余裕教室や校庭を活用し、地域の大人の参画を得て学習活動、文化活動及びスポーツ等を行うことで、地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりに努めました。

- ・開催期間 令和6年5月から令和7年2月まで
- ・開催場所 市内11小学校の体育館
- ・開催回数 開催期間の月曜日のうち13回
- ・開催時間 午後3時から5時まで（集団下校後）
- ・対象者 令和6年度の1年生から6年生  
※放課後児童クラブ参加者を除く
- ・定員 各校50名
- ・開催内容 工作やレクリエーション等の各種体験活動の実施

## ○児童・スタッフ登録人数及び平均参加人数

（人）

小学校名	児 童		スタッフ	
	登録人数	平均人数	登録人数	平均人数
七宝	18	16	6	5
伊福	12	10	5	4
秋竹	10	8	5	4
美和	12	10	22	5
正則	15	13		5
篠田	11	10		5
美和東	24	21		5
甚目寺	40	34	5	5
甚目寺南	13	11	4	4
甚目寺東	15	12	4	4
甚目寺西	35	30	6	6
合計	205		57	

## ○スタッフ会議・運営委員会の開催

各校コーディネーター・サブコーディネーター等と事務局との会議

運営会（全地区合同） 年1回（令和7年3月）

全体会（各地区毎） 年4回（4月、8月、12月、3月）

定例会（各地区毎） 年6回（5月～2月）

## ○放課後子ども教室のあり方研究会の開催

学識経験者、関係機関又は団体の代表者（民生委員児童委員協議会会長、小中学校長会会長、小中学校PTA連絡協議会会長等）、市関係職員で構成される研究会の会議 年2回

開催日	内 容
令和6年9月20日（金）	第1回放課後子ども教室のあり方研究会
令和7年3月14日（金）	第2回放課後子ども教室のあり方研究会

評価： 活動状況、児童・スタッフの参加者数、講師参画による地域社会の多様な交流する機会の提供

### ・評価指標

活動状況、児童・スタッフの参加者数

### ・評価に係るエビデンス

実施プログラム、放課後子ども教室実施報告書

目標： 全12小学校での実施を目指す

## ■はたちの式事業

成人の日を迎えられたことを祝し、これから一層飛躍されることを願って、市と市教育委員会の共催により、はたちの式を実施しました。

・日時及び会場：令和7年1月12日（日）

甚目寺地区：午前9時30分開始 甚目寺公民館大ホール

七宝・美和地区：午前10時30分開始 美和文化会館大ホール

・行 事 の 内 容：式典、はたちの式実行委員会企画

・記 念 品：マグカップ

・対 象 者：平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれ

・対 象 人 数：1,073名

・参 加 者：750名

・参 加 率：約69.8%

評価： 2会場での開催でしたが、はたちの式実行委員による、誓いのことば、交通安全宣言、アトラクション等が行われ、記憶に残る式典となりました。

目標： はたちの式を開催することで、社会人としての自覚と責任感を促します。令和7年度も実行委員会による運営に取り組みます。

## ■あま発未来創造塾

次世代の市を担っていく若者と市長・副市長・教育長との対話の場を設け、共生・協働のまちづくりに対する意識の向上を図ることを目的とし、市の未来について考えました。

開催日	内 容 (はたちの式実行委員会)	内 容 (有志)
4月28日（日）	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
5月18日（土）	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
6月18日（火）	あま発未来創造塾の概要説明	—

6月22日(土)	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
7月28日(日)	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
8月2日(金)	あま市の現状について①	—
8月25日(日)	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
9月7日(土)	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
9月10日(火)	あま市の現状について②	—
10月22日(火)	あま市がより良い街となるための提案書の作成	—
10月26日(土)	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
11月9日(土)	—	じもくじっ子食堂の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
11月29日(金)	前回作成した提案書のブラッシュアップ	—
11月30日(土)	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
12月19日(木)	あま市の市民活動団体について	—
12月22日(日)	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
1月19日(日)	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
1月28日(火)	市長・副市長・教育長との懇談会のテーマについて	—
2月15日(土)	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施
2月18日(火)	市長・副市長・教育長との懇談会	
3月23日(日)	—	自習室の開催 ※未来塾生が団体を設立して実施

**評価：** 市の現状を考えるきっかけづくりとして、市が取り組んでいる事業を紹介し、市への興味と問題意識を芽生えさせ、まちづくりへの意識を高めることができました。

**目標：** 令和7年度も、はたちの式実行委員会を中心とした未来創造塾を実施し、まちづくりに関するグループワークを行います。

## ■シルバーカレッジ事業

市内在住・在勤の60歳以上の方及びシルバーカレッジ卒業生を対象に、学び、交流、健康づくりの場を提供するため、シルバーカレッジ及びシルバーカレッジOB会講座を開催しました。

### ○シルバーカレッジ

授業内容	開催日
入学式／自己紹介	6月8日(土)
ハピトレ ～広げよう笑顔の輪～	6月18日(火)
バランスボールで有酸素運動	6月25日(火)

ゼロから楽しく学ぼう！スマートフォン講座	7月9日（火）
阿波踊りいす体操	7月16日（火）
令和時代の子育て事情 ～昔と違うこと、変わらないこと～	7月23日（火）
身近なSDGs	8月6日（火）
消費者トラブル最前線／通販広告に強くなろう！	8月27日（火）
社会見学（関ヶ原古戦場記念館・奥の細道むすびの地記念館）	9月10日（火）
読書で交流／給食センターへ行こう！	9月24日（火）
七宝焼を作ろう！	10月1日（火）
あま市をもっと好きになる！	10月8日（火）
あま市史跡巡り①	10月15日（火）
あま市史跡巡り②	10月29日（火）
オーラルフレイルについて学ぼう！	11月12日（火）
地域の防災 ～いま何をしたらいい？～	11月19日（火）
エンディングノートを書いてみよう！	11月26日（火）
運動不足を解消！すぐできる健康体操	12月4日（水）
卒業文集・アルバムを作ろう！①	12月17日（火）
卒業文集・アルバムを作ろう！②	1月14日（火）
卒業式／アトラクション	1月25日（土）

- ・会 場：シルバーカレッジ教室（美和文化会館内）ほか
- ・時 間：午前9時30分～午後0時30分
- ・対 象：あま市在住・在勤の60歳以上の方
- ・定 員：36名
- ・入学者：36名（うち卒業生35名）

### ○シルバーカレッジOB会講座

内 容	開催日	会 場	参加者数
第1回OB会講座 ゲームで学ぶ！ライフイベント・リスク・消費者被害～ライフサイクルゲームⅢ～	6月26日（水）	シルバーカレッジ 教室	23名
第2回OB会講座 いまできることをこれからも 笑って 元気にフレイル予防	8月28日（水）	シルバーカレッジ 教室	27名
第3回OB会講座 かんたんヨガ体操～ヨーガ療法～	10月25日（金）	シルバーカレッジ 教室	27名
第4回OB会講座 近世尾張地域における地震災害について	12月21日（土）	シルバーカレッジ 教室	27名
第5回OB会講座 アイヌの人々と人権～アイヌの人々 に対する偏見や差別をなくそう～	2月25日（火）	シルバーカレッジ 教室	33名

- ・対 象：シルバーカレッジ卒業生
- ・対象者：164名

**評価：** シルバーカレッジ事業を通して、学びや交流の場を提供することにより、地域コミュニティの活性化や、互いに助けあえる共助の生活に寄与することができました。

・評価指標

参加者数

・評価に係るエビデンス

シルバーカレッジ参加者数及び参加者名簿

**目標：** 令和7年度もシルバーカレッジ事業の目的を踏まえながら事業を実施します。

・数値目標

参加率85%以上

## ■人権啓発推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を計画し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図ることを目的に実施しました。

### ○海部地区人権教育講演会（共催：あま市小中学校人権教育研究会）

- ・日 時：令和6年8月2日（金）午後2時～午後4時
- ・会 場：甚目寺公民館 大ホール
- ・講 師：ロンドンパラリンピックゴールボール金メダリスト 安達 阿記子 氏
- ・演 題：「夢に向かって」
- ・参加者数：435名

**評価：** 講演会の開催を通じて、参加者の人権問題の正しい理解及び人権に対する意識の向上に寄与することができました。

・評価指標

講演会アンケートの感想について「とてもよかった」「よかった」の割合

令和6年度 81.2%

・評価に係るエビデンス

講演会アンケート結果

**目標：** 人権問題に係る正しい認識と理解を深めるため、令和7年度も事業を実施します。

・数値目標

上記割合90%以上

## ■地域学校協働活動事業

地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の配置や地域学校協働活動の担い手となる地域ボランティアを確保する等、地域学校協働本部を整備することにより、コーディネート機能を強化し、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等の参画を得て、地域学校協働活動を推進しました。

### ○コーディネート実績

	内 容	地域ボランティア	開催日（開催期間）	開催場所
1	甚目寺南小学校 「朝の登校時の見守り」 （人員の確保）	1名	（5月1日（水）から）	（甚目寺南小学校 南門前の横断歩道）
2	七宝小学校 「環境整備活動（全校草取り集会）」（人員の確保）	6名	5月10日（金）	七宝小学校

3	七宝中学校 「環境整備活動(除草作業)」(人員の確保及び団体の協力)	(※1) 4名	8月21日(水)	七宝中学校
4	宝小学校 「環境整備活動(除草作業)」(人員の確保)	1名	9月18日(水)	宝小学校
5	七宝北中学校 「環境整備活動(PTAモーニング除草)」(人員の確保)	(※2) 3名	11月16日(土)	七宝北中学校

(※1) 市民活動センター登録団体 RAP0 エコの会員2名を含む

(※2) うち1名は七宝北中学校学校運営協議会副会長

## ○その他

開催日	内 容
9月6日(金)	第1回運営委員会開催
10月12日(土)	第8回「あまのわ(市民活動祭)」ブース出展 (放課後子ども教室と併せて出展)
12月17日(火)	第2回運営委員会開催
令和7年2月8日(土)	親子ふれあいデー動画上映
3月14日(金)	地域学校協働活動推進員連絡会議開催

**評価：** 市民活動センター登録団体及び学校運営協議会委員の協力のもと、5件のコーディネート実績がありました。

### ・評価指標

コーディネート実績の年間件数

### ・評価に係るエビデンス

協働活動実績一覧表 上記コーディネート実績

**目標：** 組織的かつ継続的に地域学校協働活動を推進するには、地域コーディネーターの充実や資質向上、また地域ボランティアの確保が求められます。さらには、地域学校協働活動への理解促進を図ることが必要であり、学校関係者、地域住民、保護者等への普及啓発をより一層推進します。

### ・数値目標

コーディネート実績年間10件

## ■社会教育団体育成事業

### ○『あま市文化協会』

市民及び市内文化団体が日頃の文化・芸術活動の成果を発表し、市の文化芸術振興の推進及び文化創造の発展に寄与することを目的とし、市の文化・芸能の発表を積極的に行っている「あま市文化協会」に対し補助金を交付しました。

### ・あま市文化協会補助事業

第15回あま市文化祭(あま市文化協会主催)

- ・作品展示、生花展示、体験コーナー

日 時：11月2日(土) 午前9時～午後4時

11月3日(日) 午前9時～午後3時

会 場：七宝公民館、甚目寺公民館、美和文化会館

参加者数：文化協会27団体226名、一般参加20名

- ・芸能発表会

日 時：11月2日(土) 午前10時～午後4時

- 11月3日（日） 午前10時～午後3時  
 会場：美和文化会館 大ホール  
 参加者数：文化協会38団体395名、一般参加7団体230名
- ・茶席
 

日時：11月2日（土） 午前10時～午後3時  
 会場：美和文化会館  
 参加者数：文化協会1団体5名
  - ・第15回あま市民囲碁大会
 

日時：11月10日（日） 午前9時～午後5時  
 会場：七宝公民館  
 参加者数：文化協会2団体49名、一般参加5名
  - ・第15回あま市民将棋大会
 

日時：11月10日（日） 午前9時～午後5時  
 会場：美和文化会館  
 参加者数：文化協会1団体13名、一般参加10名

## ○『あま市女性の会』

女性の社会参画を促進し、社会教育及び地域社会の発展のために、多くの女性参加が得られるような各種事業を積極的に行っている「あま市女性の会」に対し補助金を交付しました。

### ・あま市女性の会補助事業

- ・ホウ酸団子作り
 

日時：4月～7月  
 会場：各地区  
 参加者数：85名
- ・廃品回収
 

日時：6月・11月  
 会場：各地区
- ・主催講座「防災の講習会」
 

日時：4月19日（金）・5月16日（木）  
 会場：甚目寺公民館 講義室1・2、大会議室1  
 参加者数：96名
- ・主催講座「手芸教室」
 

日時：6月20日・7月4日（木）午前9時30分～正午  
 会場：甚目寺公民館 講義室3  
 参加者数：28名
- ・夏まつり盆踊り練習会
 

日時：7月7日（日）午後1時30分～午後3時30分  
 会場：甚目寺公民館 講義室1・2・3  
 参加者数：70名
- ・主催講座「楽しいお料理教室」
 

日時：1回目：9月14日（土）午前9時30分～午後1時  
 2回目：10月5日（土）午前9時30分～午後1時  
 会場：人権ふれあいセンター  
 参加者数：各20名
- ・主催講座「干支の木目込人形作り」
 

日時：11月6・13・20日（水）午前9時30分～正午  
 会場：甚目寺公民館 研修室  
 参加者数：23名
- ・チャリティーバザー
 

日時：12月1日（日）午後1時～午後3時



会 場：甚目寺公民館 大ホールホワイエ

参加者数：86名

- ・主催講座「アートフラワー作り」

日 時：令和7年2月20・27日（木）午前9時30分～正午

会 場：甚目寺公民館 研修室

参加者数：25名

### ○サマーキャンプ補助事業

- ・あま市青少年キャンプ

日 時：7月20日（土）、21日（日）

会 場：文化の杜

参加者数：65名

評価：『あま市文化協会』

「文化祭」「市民囲碁大会」「市民将棋大会」の開催を通じて、市の文化芸術振興の推進及び文化創造の発展に寄与することができました。

『あま市女性の会』

各種事業を通じ、より一層女性の社会参画に有効な事業を展開することができました。

『サマーキャンプ補助事業』

野外活動を通じて、生活に欠くことのできない電気・ガス・水道等の重要性の体験、夏休みの楽しい思い出づくり、市内の小学校間の異学年児童たちとの交流を図ることができました。

- ・評価指標

『あま市文化協会』 文化祭参加者数

『あま市女性の会』 主催事業参加者数

『サマーキャンプ』 サマーキャンプ参加者数

- ・評価に係るエビデンス

『あま市文化協会』 あま市文化協会補助金実績報告書 上記参加者数

『あま市女性の会』 あま市女性の会補助金実績報告書 上記参加者数

『サマーキャンプ』 あま市青少年キャンプ補助金実績報告書 上記参加者数

目標：『あま市文化協会』、『あま市女性の会』両団体について、事業目的及び市民協働の観点からみても、市の積極的な協力が不可欠と考えられます。両団体と市が協力し合いながらお互いを尊重し、補い合い、対等のパートナーとして、共通の目的のために事業に取り組む必要があります。

『サマーキャンプ補助事業』について、令和7年度も青少年の健全育成のため、継続していきます。

## ■歴史民俗資料館事業

市の歴史文化を認識する機会を各種事業において提供しました。同時に市の歴史文化を発信し、子どもから大人まで幅広い年代層に郷土愛を育むきっかけづくりとしました。

### ○企画展示会

美和歴史民俗資料館、甚目寺歴史民俗資料館において企画展を実施し、市内外より多くの来館者があり、広く市の歴史文化をPRすることができました。

企画展名	開催期間	開催場所	入館者数
収蔵品展 「春を感じる～日本画で感じる春～」	3月16日（土）～ 4月30日（火）	美和歴史民俗資料館	延べ484名
企画展示会「むかしの甚目寺」	3月23日（土）～ 5月6日（月）	甚目寺歴史民俗資料館	延べ256名

第33回 ときのきねんび展	5月27日(月)～ 6月30日(日)	美和歴史民俗資料館	延べ 2,041名
企画展示会 「50年前のあま市の姿と 65年前の台風の爪跡」	10月4日(金)～ 12月8日(日)	美和歴史民俗資料館	延べ624名
企画展示会 「わがまちの先生」	3月24日(月)～ 5月18日(日)	美和歴史民俗資料館	延べ103名

### ○歴史散策事業（歴史ガイド養成講座を含む）

市内各地に点在する史跡や文化財をめぐり、市の歴史を再認識する機会を設けました。

事業名	開催日	散策地またはテーマ	参加者数
あま市歴史巡礼の旅 フィールドウォーカー (前期5回)	① 5月11日(土) ② 5月18日(土) ③ 5月25日(土) ④ 6月1日(土) ⑤ 6月22日(土)	① 見て触れよう！七宝焼 ② 移民者の足跡をたどる ③ コンスタンチノとは ④ 小笠原登医師 ⑤ 事前学習！香の物祭	4名
フィールドウォーカー ～信長でたどるまちあるき～ (後期5回)	① 10月6日(日) ② 10月19日(土) ③ 11月3日(日) ④ 11月17日(日) ⑤ 12月1日(日)	①出自編：津島神社とその周辺 ②誕生編：勝幡駅から勝幡城跡 ③雄飛編：萱津合戦碑跡周辺 ④立志編：清洲城とその周辺 ⑤俯瞰編：信長を育てた濃尾平野を見る(多度山)	8名
あま市の歴史散策をしよう (美和編)	3月15日(土)	二ツ寺	6名

### ○水文化継承事業（エコきっず調査隊）

小学生を対象として、川や生物を調べることにより、水文化の役割と、地域と水との関わり合いを知る機会を設けました。

内 容	開催日	参加者数
藤前干潟での生き物調査	8月23日(金)	9名

### ○講演会事業

ときのきねんび展に合わせて講演会を開催し、古時計の魅力を多くの市民に周知する機会を設けました。

講演テーマ	講 師	開催日	参加者数
古時計の解説とその魅力について	宮崎 照夫氏	6月中の土曜・日曜 (全8回) ときのきねんび展会場	延べ150名

## ○文化体験講座

歴史文化体験講座を開催し、歴史への探求心を呼び起こす契機としました。

講座名	講 師	開催日	開催場所	参加者数
古文書解読講座 (前期 4 回)	石田 泰弘氏	6 月 8 日 (土) 6 月 15 日 (土) 6 月 29 日 (土) 7 月 6 日 (土)	シルバーカレッジ教室	20 名
古文書解読講座 (後期 5 回)	石田 泰弘氏	11 月 30 日 (土) 12 月 7 日 (土) 12 月 21 日 (土) 1 月 18 日 (土) 2 月 15 日 (土)	シルバーカレッジ教室	27 名
お香講座 「色んなお香 を作ってみよう」	竹内 香織氏	12 月 14 日 (土) 12 月 21 日 (土) 1 月 18 日 (土) 2 月 15 日 (土) 2 月 22 日 (土)	甚目寺歴史民俗資料館 体験学習室	11 名
収蔵資料活用事業「炭火生活」	職員	1 月 25 日 (土) ～2 月 16 日 (日) の土・日	美和歴史民俗資料館	延べ 200 名

## ○歴史ガイドボランティア・フォローアップ講座(ガイド養成 2 年目以降が対象)

散策や研修会を通じ、歴史ガイドボランティアの養成を行いました。

内 容	開催日	活動場所	参加者数
講演会 尾張地域の戦国武将について 講師：石田泰弘氏	6 月 16 日 (日)	シルバーカレッジ教室	17 名
つまみぐい散策	① 7 月 7 日 (日) ② 8 月 24 日 (土) ③ 9 月 17 日 (火) ④ 1 月 30 日 (土) ⑤ 2 月 28 日 (金)	① 上萱津 ② 花長 ③ 森山 ④ 甚目寺(観音以外) ⑤ 北苅	9 名 11 名 13 名 9 名 7 名
ガイド研修会	10 月 23 日 (水)	知立神社、遍照院	12 名
ガイド養成講座	3 月 23 日 (日)	木田	7 名

## ○移動博物館

歴史民俗資料館の収蔵品を教室へ持ち出し、昔のくらしと生活道具についての授業を実施し、子どもたちに当地域のかつての暮らしぶりを伝え、考えてもらう機会を提供しました。希望校で実施しました。

講座名	内 容	開催日	開催場所	参加者数
移動博物館	小学 3 年生を対象に、昔のくらしの道具を授業で活用し、かつての当地域の暮らしを学習しました。	6 月 21 日 (金) 1 月 14 日 (火) 1 月 17 日 (金) 1 月 21 日 (火) 1 月 22 日 (水) 1 月 31 日 (金) 2 月 4 日 (火) 2 月 5 日 (水) 2 月 18 日 (火)	甚目寺南小 甚目寺西小 七宝小 伊福小 正則小 宝小 甚目寺東小 甚目寺小 篠田小	126 名 90 名 62 名 55 名 49 名 24 名 105 名 96 名 58 名

## ○検定事業

出前授業を通してあま市の歴史・文化を多くの児童に主体的に学んでもらう機会を提供しました。希望校で実施しました。

講座名	内 容	開催日	開催場所	参加者数
第 14 回 あま市 ものしり 検定	一般（中学生以上）向けのあま市のご当地検定	8 月 25 日（日）	美和歴史民俗資料館 研修室又は自宅	24 名
出前授業	主に小学 6 年生を対象に、学校に出向き、地域の歴史文化を伝える授業を行い、その後、希望する各学校でジュニア検定に臨みました。	1 月 16 日（木） 1 月 28 日（火） 2 月 6 日（木） 2 月 21 日（金）	正則小 正則小（2 年） 甚目寺小 篠田小	39 名 49 名 105 名 39 名

\* 正則小の出前授業は学校の希望に沿い、小学 6 年生に加え小学 2 年生を対象として実施しました。

**評価：** 市の歴史・文化を認識するための展示会および講演会等を実施し、郷土への理解と関心を高めるきっかけづくりを行いました。

### ・評価指標

各講座の参加者数、移動博物館及び出前授業の各学校からの依頼数

### ・評価に係るエビデンス

講座受付名簿、移動博物館等申請用紙

**目標：** 令和 7 年度も、歴史・文化の情報を発信し続けることにより、市内外の多くの方々に、市の誇る歴史・文化を伝え広められるよう事業を展開します。

### ・数値目標

各講座の参加者数の前年度からの 5 パーセント増加

移動博物館及び出前授業の各学校からの依頼数の前年度からの 3 校増加

## ■文化財保護啓発事業

市民一人ひとりの文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内に点在する史跡、寺社の祭事等にあわせ各種事業を実施しました。

## ○文化財の保護活動、啓発活動

保護活動として、県天然記念物「下萱津のフジ」の藤棚修繕、国の重要文化財である甚目寺観音建造物群（南大門・三重塔・東門）にて文化財防火デー（消防訓練）を実施しました。

また、啓発活動として、県天然記念物「下萱津のフジ」の一般公開をしました。

	内 容
保護	県天然記念物「下萱津のフジ」及び藤棚の修復作業 昨年度に引き続き、天然記念物である幹に悪影響を及ぼさぬよう樹木医指示のもとフジの樹勢回復を促進させつつ、棚の修繕作業を行いました。
	重要文化財 絹本著色不動尊像の修復を協議 東京国立博物館に寄託中の重要文化財である絹本著色不動尊像について、前回の修理から 93 年経過しており、経年に伴う絵具の剥落や進行性の損傷が生じています。絵画表現を保存するため、令和 7 年度の事業化に向けて甚目寺代表役員等と、修復内容について協議しました。

	重要文化財 甚目寺南大門建造物保存修理事業 国の重要文化財である甚目寺南大門の屋根と木部の修理工事について、前回の屋根葺替修理時（昭和 56 年度）から、およそ 43 年が経過しており、屋根全体の破損・腐朽が徐々に進行しています。令和 6 年度から令和 8 年度までの 3 ヶ年の計画で、こけら葺替工事等を行います。
公開 啓発	県天然記念物「下萱津のフジ」一般公開 4 月 29 日（月・祝）に一般公開し、延べ 772 名の来場者がありました。
	第 71 回文化財防火デーの実施 1 月 24 日（金）、甚目寺観音境内において海部東部消防組合、あま市消防団及び甚目寺自衛団と協力して消防訓練を実施しました。
審議 会	第 1 回文化財保護審議会の開催 7 月 29 日（月）審議会を行い、文化財保存活用地域計画の進捗及びあま市の文化財について、説明しました。 第 2 回文化財保護審議会の開催 3 月 14 日（金）審議会を行い、文化財保存活用地域計画の認定についての報告及びあま市の文化財について、説明しました。

## ○刊行物

市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行し、地域の魅力について情報を発信しました。

タイトル	内 容	備 考
あま市文化財マップ 改訂版	あま市内の文化財を紹介する冊子を改訂しました。	A4 版、8 頁 1,000 部
資料館だより ニュースレター	年 1 回発行の資料館ニュースレターを作成しました。	A4 版、6 頁 500 部

**評価：** 文化財保護の理解を深めると同時に、市民に対してその意識を高めることができました。

### ・評価指標

県天然記念物「下萱津のフジ」の来場者数、啓発実施回数、刊行物の発行回数

### ・評価に係るエビデンス

来場者数、啓発事業の回数

**目標：** 幅広い世代に地域の歴史を伝え広められるよう継続して保護活動を実施します。

### ・数値目標

県天然記念物「下萱津のフジ」の来場者数を 5 パーセント増加

啓発実施回数の 1 回以上の増加

## ■文化財保存活用地域計画作成事業

本市が有する文化財を改めて見つけ出すとともに、文化財の保存・活用に関する課題を整理し、地域の特徴や課題を踏まえ、市全体として将来に向けた文化財の保存・活用の方針や取組を打出しました。

### ○あま市文化財保存活用地域計画作成支援業務

契約期間 令和 6 年 4 月 10 日から令和 7 年 3 月 31 日

契約金額 4,477,000 円

契約業者 ランドブレイン株式会社 名古屋事務所

## ○あま市文化財保存活用地域計画委員会

開催日	内 容
4 月 30 日（火）	第 1 回 あま市文化財保存活用地域計画委員会
8 月 20 日（火）	第 2 回 あま市文化財保存活用地域計画委員会
令和 7 年 1 月 24 日（金）	第 3 回 あま市文化財保存活用地域計画委員会

## ○あま市文化財保存活用地域計画の認定

令和 6 年 1 2 月 2 0 日付け文化庁文化審議会分科会にて、文化庁長官の認定を受けました。

## ○シンポジウムの開催

地域計画の作成にあたり、地域住民があま市の歴史文化について改めて理解を深める機会を創出するとともに、計画の目的についても理解を促し、官民協働による歴史文化の保存・活用に向けての機運を醸成することを目的として開催しました。

- ・ 日 時 令和 7 年 2 月 1 日（土） 午後 1 時 3 0 分から
- ・ 場 所 あま市美和文化会館 大ホール
- ・ 参加者数 1 9 7 名
- ・ 内 容 計画についての概要説明に加え、愛知県立美和高等学校生徒による発表や海部歴史研究会担当によるトークセッション、奈良教育大学山岸公基教授による特別講演を実施しました。

**評価：** 委員会を開催し、文化振興の分野にて活動されている方々の意見を取り入れながら、計画を作成しました。

## ■社会教育施設整備事業

市民が安全かつ快適に生涯学習活動を実施できるよう、社会教育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

### ○基目寺公民館空調機 4 号機補修工事

- ・ 事業内容 3 階空調機械室 A C - 4 空調機のドレンパンから水漏れが発生し、正常な冷房運転ができないため、補修工事を行いました。
- ・ 事業費 4, 1 2 8, 3 0 0 円

### ○七宝公民館講堂空調設備更新工事

- ・ 事業内容 平成 2 0 年度に設置した 2 階講堂の天吊型ツインエアコン 3 台のうち 2 台が稼働せず、施設運営に支障をきたしていたため、更新工事を行いました。
- ・ 事業費 1, 9 6 9, 0 0 0 円

### ○美和公民館南側駐車場照明灯設置工事

- ・ 事業内容 美和公民館南側駐車場の既存照明の明るさが十分ではなく、施設利用に支障をきたしていたため、照明灯の設置工事を行いました。
- ・ 事業費 9 5 7, 0 0 0 円

**評価：** これらの工事を実施したことにより、安全かつ快適な施設環境を提供することができました。

**目標：** 令和 7 年度も市民が安全かつ快適に生涯学習活動ができるよう、社会教育施設の整備を進めます。

## ■文化会館施設整備事業

市民が安全かつ快適に文化活動を実施できるよう、トイレ改修工事及び工事に必要な次の業務を実施しました。

### ○美和文化会館トイレ改修工事業務

- ・事業内容 施設内の和式トイレを洋式トイレに改修する工事を行いました。
- ・事業費 31,545,800円

### ○美和文化会館トイレ改修工事監理業務

- ・事業内容 上記工事の監理業務を行いました。
- ・事業費 2,079,000円

評価： この工事を実施したことにより、安全かつ快適な施設環境を提供することができました。

#### (4) スポーツ課

##### ■あま市スポーツ推進連絡会議

###### (1) 設置の目的

スポーツ関係団体等の、相互交流と情報交換を行い、協力連携を図り、市のスポーツ施策を効果的かつ効率的に推進するため、あま市スポーツ推進連絡会議を設置しました。

###### (2) 事業概要

- ・あま市スポーツ推進連絡会議委員の委嘱

任期：令和5年7月31日から令和7年7月30日までの2年間

- ・会議の開催

第1回 令和6年7月17日（水）

【議題】① 令和5年度第2回あま市スポーツ推進連絡会議における意見と検討状況について

② 令和5年度スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目（結果・評価）について

③ 令和6年度スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目について

④ 意見交換（テーマ：スポーツ推進にかかる課題及びスポーツ推進計画について）

第2回 令和7年2月12日（水）

【議題】① 令和6年度スポーツ推進計画にかかる関係課の取組項目の状況・報告について

② 第1回会議での意見集約の報告について

③ 意見交換

**評価：** スポーツ推進連絡会議を開催し、スポーツの分野に関係する方々の意見を取り入れ、各種スポーツ教室及び事業を実施しました。

**目標：** 令和7年度も、スポーツ推進計画に基づき、市民、スポーツ関係団体、企業、学校等と連携・協働し、本市のスポーツ振興に係る各種取組を推進します。

##### ■スポーツ顕彰

###### ○あま市スポーツ栄誉大賞

- ・令和6年12月27日（金）

あま市スポーツ栄誉大賞表彰式を実施しました。

受賞者：加納 虹輝（日本航空株式会社所属）

功 績：パリ2024オリンピック競技大会

フェンシング男子エペ個人金メダル、男子エペ団体銀メダル獲得

**評価：** スポーツの分野における国際的な活躍を通じて、市民に夢と明るい希望を与える等その功績が顕著であった者に対し表彰式を開きました。

##### ■トップアスリート関係事業

###### ○フットサル体験会

- ・概要

「子どもがスポーツを楽しむ機会・場の提供」、「スポーツへの関心を高める機会の提供」、「トップアスリートとの交流機会の提供」とし、その取組として民間企業の協力のもと、プロフットサルチームの名古屋オーシャンズの協力を得ることができ、実施しました。



・開催日

令和6年11月30日（土）

・開催場所

七宝総合体育館

・参加者数

104名（市内小学1年生～3年生）

○アーチェリー体験会

・概要

あま市ゆかりのトップアスリートである武藤弘樹選手を招いてアーチェリーの体験会を開催し、アーチェリー競技への理解・興味を深めていただくため実施しました。

・開催日

令和6年12月1日（日）

・開催場所

甚目寺総合体育館

・参加者数

150名

○スポーツ観戦事業

・概要

西尾張地区をホームエリアとするプロバスケットボールクラブ「ファイティングイーグルス名古屋」の協力をいただき、多くの市民に、プロスポーツを「みる」機会を提供し、スポーツに触れ、感動を体験いただけるよう、同クラブのシーズンマッチ・ホームゲームへ、あま市民デーとして市民を無料招待しました。

・開催日

令和6年12月22日（日）

・開催場所

豊田合成記念体育館（エントリオ）

・観戦者数

100名（無料招待）

評価： 子どもがスポーツを楽しむ機会の場を提供し、スポーツへの関心を高める機会やトップアスリートとの交流機会を提供することができました。

■スポーツ教室

市民のニーズにあった各種スポーツ教室を開催し、継続的なスポーツや運動のきっかけづくりとするとともに、健康増進・体力向上を目的として、各種スポーツ教室を開催しました。

教室名	開催期間	開催場所	回数	対象	参加者数	内容
親子遊び教室（前期）	5月16日～ 7月4日 火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子 (2歳以上未就 園児)	中止	親子と一緒に鉄棒・ マット・跳び箱運動 等を行い、運動の基 本を習得することを 目的として実施しま した。
親子遊び教室（後期）	10月10日～ 11月28日 火曜日	七宝 総合体育館	8回		7組 14名	
親子体操教室(1) ※午後4時～5時	6月4日～ 12月17日 火曜日	甚目寺 総合体育館	14回	親子 (年中・ 年長)	25組 50名	※親子遊び教室（前 期）は、申込者少数の ため中止
親子体操教室(2) ※午後5時30分～6時 30分	6月4日～ 12月17日 火曜日	甚目寺 総合体育館	14回	親子 (1・2 年生)	22組 44名	

ボクシングエクササイズ教室	5月14日～ 6月18日 火曜日	七宝 総合体育館	6回	一般	32名	ボクシングエクササイズを通して健康な生活を送ることを目的に実施しました。
肩こり・腰痛ケアストレッチ教室	10月8日～ 11月26日 火曜日	七宝 総合体育館	7回	一般	27名	家庭でもできるストレッチを行い健康な身体づくりを行う目的で実施しました。
はつらつ健康教室 ～シニア運動教室～	10月10日～ 11月14日 木曜日	甚目寺 総合体育館	6回	60歳以上	14名	高齢者が自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的として実施しました。
ふれあいスポーツ ～子ども体育教室～①	10月31日～ 11月14日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	年少	12名	子どもの成長や発達過程から「動作の習熟」を主眼に置き、楽しくからだを動かすことを目的として実施しました。
パラスポエキスポ ～モルック編～	令和7年 1月19日 3月16日 日曜日	甚目寺 総合体育館	3回	誰でも	11名	インクルーシブスポーツとして幅広い年代が参加しました。
小学生夏休みスポーツ教室（団体スポーツ教室）	7月25日～ 8月29日 木曜日	甚目寺 総合体育館	5回	小学生	30名	小学生を対象にスポーツを行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施しました。
小学生夏休みスポーツ教室（団体スポーツ教室）	7月24日～ 8月28日 金曜日	美和公民館	5回	小学生	20名	
小学生夏休みスポーツ教室（フットサル教室）	7月26日～ 8月25日 金曜日	七宝 総合体育館	5回	小学生 〔1～3年生〕	20名	小学生を対象にフットサルを行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施しました。
小学生夏休みスポーツ教室（キャッチボール教室）	7月27日 火曜日	甚目寺 総合体育館	1回	小学生 親子	18組 36名	小学生親子を対象にキャッチボールを行いながら、運動や野球の楽しさを教える教室を実施しました。

評価： 各種スポーツ教室を開催したことで、市民に対しスポーツや運動のきっかけづくりと健康増進・体力向上に寄与することができました。

- ・評価指標  
参加者数
- ・評価に係るエビデンス  
上記教室別一覧の参加者数

目標： 令和7年度も引き続き、市民のニーズにあった各種スポーツ教室を開催します。

- ・数値目標  
全講座及び教室の定員合計の70%以上の参加者数

## ■スポーツ行事・大会

スポーツ活動のきっかけづくりや運動意欲を引き出すこと、またスポーツを通じた市民のふれあいや親睦、まちの活性化を目的として、各種事業を開催しました。

行事・大会名	開催日	曜日	開催場所	参加者数	内容
市民ラジオ体操の集い	6月9日	日	あま市役所	雨天中止	基本的な体操であるラジオ体操をもう一度見直し、ラジオ体操にふれあう機会を持ち、広く市民に普及することを目的として実施しました。
	5月12日	日	甚目寺総合体育館 野外ステージ	147名	
	5月26日	日	美和中学校 運動場	156名	
市民体力測定会	9月14日	土	甚目寺総合体育館 メインアリーナ	45名	市民の体力・運動能力の現状を明らかにすることで、健康及び体力の保持、増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施しました。
市民歩け歩け会	10月20日	日	郡上八幡城下町周辺 (岐阜県郡上市)	121名	あま市外にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施しました。
愛知万博メモリアル 第17回愛知県市町村 対抗駅伝競走大会	12月7日	土	「愛・地球博記念 公園」内、周回コース	市民	愛知県内各市町村の交流、市町村合併後の一体化の促進、市民意識の高揚、スポーツの振興を目的として参加しました。
市民走ろう・歩こう会	1月26日	日	木曽三川公園 東海広場	152名	市民の世代を超えた交流及び、健康促進を目的にジョギング・ウォーキングイベントとして実施しました。
甚目寺テニスコート 人工芝生化新設に伴う 施設開放	3月20日～ 3月31日	—	甚目寺 テニスコート	13団体	人工芝生化新設記念として、新年度4月1日の利用開始前に市内テニス団体に無料開放しました。

**評価：** スポーツイベントを通じて市民に広くスポーツに親しんでいただくとともに、参加者同士の親睦が深まり、スポーツの振興とまちの活性化に資することができました。

### ・評価指標

#### 参加者数

### ・評価に係るエビデンス

市民ラジオ体操の集い・・・・・・・・・・ 303名（2会場）

市民体力測定会・・・・・・・・・・ 45名

市民歩け歩け会・・・・・・・・・・ 121名

愛知県市町村対抗駅伝競走大会・・・市の部37市のうち26位

市民走ろう・歩こう会・・・・・・・・・・ 152名

**目標：** 今後も、より多くの市民が参加したくなるようなスポーツ行事・大会を開催します。

### ・数値目標

市民ラジオ体操の集い・・・・・・・・・・ 650名（3会場）

市民体力測定会・・・・・・・・・・ 50名

市民歩け歩け会・・・・・・・・・・ 120名

**愛知県市町村対抗駅伝競走大会・・・市の部 37市のうち 26位**  
**市民走ろう・歩こう会・・・・・・ 240名**

■社会体育団体育成事業

○『あま市スポーツ協会』

スポーツ振興を図るとともに、市民の体力向上と健康増進に寄与するとことを目的とし、市のスポーツ振興を積極的に行っている「あま市スポーツ協会」に対し補助金を交付しました。

○あま市スポーツ協会補助事業

・市民大会（15種目19大会）

大会名	開催日	開催場所	参加者数
第15回 市民ソフトテニス大会 (一般・壮年の部、中学生の部)	4月7日(日)～ 5月11日(土)	七宝・甚目寺 テニスコート	213名
第15回 市民軟式野球大会	5月12日(日)～ 6月2日(日)	七宝・美和・森 グラウンド	162名
第15回 市民ビーチボール大会	6月23日(日)	甚目寺総合体育館	119名
第15回 市民9人制バレーボール大会	7月7日(日)	甚目寺総合体育館	55名
第15回 市民インディアカ大会	8月4日(日)	甚目寺総合体育館	25名
第15回 市民バドミントン大会	10月6日(日)	甚目寺総合体育館	50名
第8回 市民柔道大会兼市長杯	10月27日(日)	美和中学校 誠友館 柔道場	27名
第15回 市民ソフトボール大会 (一般男子・女子、中学生の部)	11月3日(日)～ 12月8日(日)	七宝鷹居グラウンド 森遊水地グラウンド	346名
第15回 市民サッカー大会	11月3日(日)～ 10日(日)	七宝北中学校運動場 蜂須賀グラウンド	400名
第13回 市民弓道大会	11月10日(日)	甚目寺総合体育館	26名
第15回 市民グラウンド・ゴルフ大会	11月16日(土)	森グラウンド	170名
第15回 市民ゲートボール大会	11月23日 (土・祝)	森ゲートボール場	25名
第15回 市民卓球大会 (一般、小学生、中学生の部)	12月14日(土)～ 3月8日(土)	七宝総合体育館	247名
第14回 市民空手道選手権大会	1月19日(日)	甚目寺総合体育館	93名
第15回 市民ソフトバレーボール大会	3月23日(日)	甚目寺総合体育館	77名

・教室・講習会事業（9種目10事業）

事業名	開催日	開催場所	参加者数
ゲートボール審判講習会	4月29日(月・祝)	美和ゲートボール場	29名
バドミントン技術講習会	5月19日(日)	七宝総合体育館	30名
弓道教室	5月11日(土)～ 6月9日(日)	甚目寺総合体育館	7名
ソフトバレーボール審判講習会	6月2日(日)	甚目寺総合体育館	21名
硬式空手審判講習会	4月21日(日)～ 7月21日(日)	七宝総合体育館	104名

ビーチボール審判講習会	6月30日(日)	七宝総合体育館	46名
ママさんバレーボール審判研修会	9月28日(土)	甚目寺総合体育館	42名
軟式野球審判講習会	2月16日(日)	美和小学校体育館	52名
ソフトボール審判講習会	2月9日(日)	七宝鷹居グラウンド	125名
ソフトボール記録講習会	3月23日(日)	七宝総合体育館	54名

- ・令和6年度あま市スポーツ協会研修会  
※あま市スポーツ少年団と合同開催  
開催日：令和6年10月5日(土)  
会場：あま市役所  
参加者数：64人（うちスポーツ協会関係者43人）
- ・令和7年あま市スポーツ協会総合開会式及びスポーツ講習会  
開催日：令和7年3月2日(日)  
会場：美和文化会館 大ホール

### ○『あま市スポーツ少年団』

スポーツを通じて青少年のスポーツ振興を図るとともに、心身の健全な育成に寄与することを目的とし、市のスポーツ少年団振興を積極的に行っている「あま市スポーツ少年団」に対し補助金を交付しました。

### ○あま市スポーツ少年団補助事業

- ・令和6年度あま市スポーツ少年団本部指導者等研修会  
※あま市スポーツ協会と合同開催  
開催日：令和6年10月5日(土)  
会場：あま市役所  
参加者数：64人（うちスポーツ少年団関係者21人）
- ・愛知県スポーツ少年大会西尾張支部大会  
6団体が大会に出場し、大会派遣費を補助しました。  
野球・サッカー・剣道・ソフトボール・バレーボール（2団体）
- ・令和6年度あま市スポーツ少年団本部交流会  
開催日：令和7年1月25日(土)  
会場：七宝総合体育館  
参加者数：360人

**評価：** あま市スポーツ協会が行う事業を支援することにより、市民の体力向上と健康増進に寄与することができました。

あま市スポーツ少年団が行う事業を支援することにより、青少年の心身の健全な育成に寄与することができました。

### ・評価指標

あま市スポーツ協会

市民大会種目数、大会数、参加者数

競技種目数、事業数、参加者数

あま市スポーツ少年団

研修参加者数

事業参加者数

### ・評価に係るエビデンス

あま市スポーツ協会

市民大会種目数、大会数、参加者数・・・15種目、19大会、2,035名

教室・講習会競技種目数、事業数、参加者数・・・9種目、10事業、510名

研修参加者数・・・・・・・・・・・・・・43名

## あま市スポーツ少年団

研修参加者数・・・21名

事業参加者数・・・360名

目標： 各団体について、スポーツ振興を図る観点から、市、団体の積極的な連携、協力が不可欠と考えられます。各団体と市が協力し合いながら、各種事業に取り組みます。

### ・数値目標

## あま市スポーツ協会

市民大会種目数、大会数、参加者数・・・15種目、18大会、2,600名

教室・講習会競技種目数、事業数、参加者数・・・8種目、9事業、320名

研修参加者数・・・55名

## あま市スポーツ少年団

研修参加者数・・・20名

事業参加者数・・・434名

## ■夏休み学校プール開放事業

小中学校の夏休み期間中、児童生徒及び付添いの保護者を対象に、小学校プールを活用したプール開放事業を実施しました。

事業名	開催期間	実施場所	参加者数	内容
夏休み学校プール開放事業	7月20日～ 8月3日	七宝小学校 美和小学校 甚目寺南小学校	2,552名	小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生及び付添いの保護者を対象に七宝小学校、美和小学校、甚目寺南小学校の学校プールを活用して実施しました。

評価： プール開放事業を実施したことにより、児童生徒の体力向上と健康増進に資することができました。

### ・評価指標

参加者数

### ・評価に係るエビデンス

参加者数2,552名

目標： 令和7年度も児童生徒の体力向上と健康増進に寄与するため実施します。

### ・数値目標

参加者数3,000名

## ■社会体育施設整備事業

市民が安全かつ快適にスポーツ活動を実施できるよう、体育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

### ○甚目寺テニスコート人工芝生化新設事業工事設計監理業務

・事業内容 甚目寺テニスコートを人工芝生化するための工事について、専門知識を有する業者に監理業務を委託しました。

・事業費 3,597,000円

### ○七宝プール解体整備工事実施設計業務

・事業内容 現在休止中である七宝プールを老朽化のため解体し、跡地には駐車場として令和7年度に解体整備工事ができるよう、設計業務を委託しました。

・事業費 6,380,000円

### ○宝小学校夜間照明管理棟解体工事実施設計業務

- ・事業内容 現在休止中である宝小学校夜間照明を老朽化のため令和7年度に解体工事ができるよう、設計業務を委託しました。なお、既にキュービクルは令和5年度に撤去済です。
- ・事業費 3,080,000円

### ○森グラウンドトイレ整備工事監理業務

- ・事業内容 森グラウンドトイレを仮設簡易トイレから常設トイレにするための工事について、専門知識を有する業者に監理業務を委託しました。
- ・事業費 2,497,000円

### ○甚目寺テニスコート人工芝生化新設事業工事

- ・工事内容 あま市には下が土のクレーコートしかないため、人工芝を敷いたオムニコートに改修しました。
- ・事業費 33,112,200円

### ○森グラウンドトイレ整備工事

- ・工事内容 森グラウンドトイレは仮設簡易トイレであるため、常設トイレにする工事について着手しましたが、職人不足によりトイレ本体の納品が遅れ、工事期間を延長しております。
- ・事業費 41,910,000円

**評価：** 施設を整備したことにより、市民が安全で快適にスポーツを楽しむ環境を提供することができました。また、次年度も施設整備が施工できるよう設計書を作成しました。

**目標：** 令和7年度も市民が安全かつ快適にスポーツ活動ができるよう、体育施設整備を進めます。

### ■オリンピック・パラリンピック大会市民応援事業

スポーツを「みる」「触れる」機会を提供し、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げられるようスポーツイベントを開催しました。

事業名	開催期間	開催場所	参加者数	内容
オリンピック・パラリンピックに関する資料展示	6月9日(日)から 9月8日(日)まで  ※特別展示 ①6月9日(日) ②6月16日(日)	市役所1階	不特定多数  ※特別展示 ①156名 ②176名	オリンピック競技大会に出場したあま市ゆかりの選手の資料展示や、パラスポーツ・インクルーシブスポーツの紹介コーナーを開設しました。 また、屋外には登り旗・横断幕・懸垂幕のほか、大会開催地であるフランス・パリのエッフェル塔を背景に撮影ができるフォトパネルスペースを設置しました。特別展示では、東京オリンピックの金メダルを2日間展示しました。
	9月8日(日)から 11月10日(日)まで	甚目寺 総合体育館	不特定多数	各体育館ロビーにオリンピック競技大会に出場したあま市ゆかりの選手の資料展示コーナーを開設し、施設利用者に広く周知しました。
	11月12日(火)から 12月27日(金)まで	七宝 総合体育館		

	10 月 12 日 (土)	美和 文化会館		「あまのわ」会場のスポーツ課ブースにおいて、オリンピック競技大会に出場したあま市ゆかりの選手の資料展示コーナーを開設し、来場者に広く周知しました。
BMX 体験会	①6 月 9 日 (日) ②6 月 16 日 (日)	市役所 屋外広場	①雨天延期 ②37 名	オリンピック競技の『BMX』や、フィンランド発祥のどなたでも気軽に楽しめる『モルック』の体験会を開催し、子どもから大人まで多くの方にご参加いただける場を提供しました。
モルック体験会	①6 月 9 日 (日) ②6 月 16 日 (日)	市役所 屋外広場	①雨天延期 ②61 名	

評価： パリ 2024 オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げられるようスポーツイベントを開催しました。



## 8. 学識経験者による意見

学識経験者名	小島 基生 (元弥富市立弥富北中学校長)
--------	----------------------

### 1 はじめに

現在の学校現場では、以下のような6つの課題に直面している。子どもたちの多様化、子どもたちの学習意欲の低下、教師の長時間勤務による疲弊、情報化の加速度的な進展に関する対応の遅れ、少子高齢化・人口減少の影響、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により浮き彫りとなった課題である。このような課題に真摯に向き合い、教育立市を目指すあま市及びあま市民の願いが達成されるよう、令和6年度の教育委員会の取組に対して所見を述べさせていただく。

### 2 教育総務課について

小中学校の将来を見据えたあり方に向けて具体的な方策を実施するにあたり、学校関係者及び市民などから広く意見を聴取するため、あま市小中学校あり方課題別検討委員会を設置していることはすばらしいと思う。その中でも、令和6年度に検討された内容について所見を述べさせていただく。

#### (1) あま市小中学校あり方課題別検討委員会（学校プール）

小中学校のプールの老朽化にともない、学校プールの共有化あるいは外部民間委託についての検討委員会がもたれたことは、喫緊の課題に対応する重要なことである。報告書に目を通させていただいたが、外部民間委託に賛同する委員の意見が多かったように思う。特に共有化については、プールのある学校の負担や使用計画等を考えると、かなりの困難が予想される。小学校は体育の専門でない教員が水泳指導をすることが多い状況を考えると、外部民間委託により専門的な指導者の下、教員がサポートしながら水泳指導をする形がよいと考える。中学校においては、体育の教員がいるので、その専門性を生かせる方法も考えることができるのではないかな。

#### (2) あま市小中学校あり方課題別検討委員会（部活動）

休日部活動について、小中学校の将来を見据えたあり方に向けて具体的な方策を実施することは、教員の働き方改革につながり、教員の人材確保にも大きく影響する課題である。しかし、実施にあたり多くの課題があることも事実である。海部地区のどの市町村も、悩みが多い課題ではないだろうか。報告書にもあるように、生徒指導の問題、指導者の連携、保護者の金銭的な負担、指導員の確保など、課題は山積みである。しかし、部活動に生きがいを感じている生徒は少なくない。また、部活動を通して成長できる部分も多くある。生徒にとっては、大切な教育活動でもある。よりよい取組がなされることを期待している。

#### (3) あま市小中学校あり方課題別検討委員会（小中一貫教育）

あま市は、基本的方針に基づき、市内に小中一貫教育を行う学校の設置を目指し、計画の策定を進めている。新しい取組においては、必ずメリットとデメリットが存在する。いかにメリットを多くし、デメリットをおさえる工夫をするかがポイントになるのではないかな。さらに、小中一貫教育とは別の課題だと思うが、学校規模の適正化についても議論する必要性があるのではないだろうか。

#### (4) あま市小中学校あり方課題別検討委員会（タブレット端末持ち帰り）

令和7年9月からの小中学校ICT化推進事業に合わせて、あま市小中学校にクラウドフィルタリングが導入される。クラウドフィルタリングを導入することにより、児童生徒のタブレット端末の持ち帰りについて、オンラインによる持ち帰り学習が可能となることはすばらしい。昨年度の意見として、タブレットをあたりまえに持ち帰ることができるようにしていただきたいと書かせていただいたところであ

る。リモート授業を実施するなど、学びの多様化や個別最適な学びの実現を期待している。

### 3 学校教育課

#### 教育相談センター事業について

教育相談室、教育支援室、学校支援室と組織を整理し、学校教育活動の支援体制を充実させる事業を実施することができた。中でも教育支援室では「子供の自立を支える親の会」主催の不登校家族を支援するためのフォーラムを開催し、支援機関や支援団体の紹介をすることができた。また、学校支援室では、市内5中学校を拠点にスクールソーシャルワーカー5名を配置し、児童生徒の問題に対し関係機関と連携した支援ができた。このような評価がなされたことはすばらしいと思う。特に、スクールソーシャルワーカーに関する事業は、5年度のあま市小中学校あり方課題別検討委員会の課題としてあつかわれ、6年度に事業化されている。このように事業化されなくても、あま市小中学校あり方課題別検討委員会の課題となったものの、継続的な情報提供があるとよいのではないかと。点検評価報告書に載らなくとも、ホームページ等で情報公開されることを望む。

### 4 生涯学習課について

多種多様で数多くの生涯学習事業を実施していることに敬意を表する。人の学びは学校教育で終わりではなく、生涯にわたり継続されるものである。成長とともに学びの大切さを実感し、学びの分野の興味関心も変化する。このような状況にも対応できる生涯学習課の事業であることを期待している。

### 5 スポーツ課について

市民のニーズにあった各種スポーツ教室を開催し、継続的なスポーツや運動のきっかけづくりとするとともに、健康増進・体力向上を目的として、各種スポーツ教室を開催したことは、とても意義のあることである。市民の健康長寿を目指し、今後の成果を期待している。

### 6 おわりに

令和6年8月に、中央教育審議会から「令和の日本型学校教育を担う 質の高い教師の確保のための環境整備に関する 総合的な方策について」という答申がなされている。多くの教育課題に対応するためには、教員の数を増やすことが急務であると考えられる。しかし、愛知県も含め、多くの都道府県で教員採用試験の受験者は減少している。もし、教員定数が改善されたとしても、この状況で、質の高い教師がはたして確保できるのか疑問である。教師という仕事はたいへんやりがいのあるすばらしい仕事だと思う。そう考える若者も少なくないと考えている。しかし、教師になろうとしないこの現実をなんとか改善しなくてはならないと思う。将来の日本のためにも、もっと教育に重きをおいた政策を期待する。

あま市は教育立市の理念である「教育はあま市の未来を創り出す原動力」のもと、学校・家庭・地域が連携し市全体で子どもを育て、生涯にわたり学び続け、自分の判断と責任で課題解決に取り組む人づくりを継続している。その取組は10年間（第Ⅰ期令和4年～8年・第Ⅱ期令和9年～13年）に及ぶもので、その間点検と評価を繰り返し喫緊の課題だけでなく、将来を見通した課題解決に適切な方策を立て取り組まれている。その取組の一部となるが、令和6年度教育委員会の取組について所見を述べさせていただきたい。

## 1 教育総務課

### （1） あま市立小中学校のあり方に関する基本的方針

愛知県内では少子化による学校規模の課題に、学校再編が検討されることがある。しかし、地域の核となる学校の存続は、地域住民にとって大きな問題で計画変更がされる場合がある。こうした課題に対して単純に規模が小さい学校の合併や閉校ではなく、小中一貫教育を目指す取組が提案された。私は、小中一貫教育の良さと言われる「学習のつながりの強化」「異年齢交流の促進」だけでなく、「不登校の減少」「学校不適応への対応」に対する効果も幅広く市民に伝えて理解の促進を図り、小中一貫教育の研究を進めていただきたいと考える。

### （2） 学校施設管理及び学校施設と他用途施設との複合化

あま市の公共施設の設置状況を確認すると、学校と公民館が近い距離に立地している。また児童館も小学校に隣接するケースもある。その特性を生かして整備事業を進めるだけでなく、活用について幅広く意見を受け取り効果的な整備になるような配慮をしていくことを願う。また、学校は安全であることが大前提であるが、多くの体育関係施設が夜間及び休日に開放されている。さらに、老朽化や経年劣化により修繕が必要な事案は予定外・予想外に起きる。日々の点検の実施により適切な対応を続けているが、さらに学校職員と連携して施設管理・維持に努めていくことを期待する。

## 2 学校教育課

### （1） スクールサポーター配置事業

子どもが学校生活に必要な介助や学習支援のために、市内で122名のスクールサポーターが配置されている。一人一人が限られた時間の中で子どもを支えるために尽力されていることを評価したい。ただ、子どもの視点で見ると、子どもの必要な支援が登校から下校まですべての時間にできているかと問われれば、疑問が残る。スクールサポーターの働く時間や予算など課題があると思うが、支援を必要とする時間に配置できるように、これまで以上に学校と協議を重ねて事業を進めていただきたい。

### （2） 人権教育

あま市は愛知県人権教育研究会に参加する7つの市町村の1つである。そのため、市独自で人権教育を推進するだけでなく、その教育実践は愛知県内の全小中学校に発信されている。この取組は価値あるもので、県内の多くの地区で人権教育を進める際、参考にしており、今後も愛知県の人権教育の中心としての活動を期待する。

また、人権啓発推進事業の講演会に市民とともに多くの教員が参加し、人権問題の正しい理解と人権意識の向上に努めている。講演会では、参加者の80%以上が「よかった」と回答しており、学校教育と生涯教育の両面から人権意識の向上を目指した事業を今後も大切に実践してほしいと願っている。

### （3） 教育相談センター事業

さまざまな要因で「登校しない・できない」子どもが増加している。その対応のために校内教育支援室が新規で2校に設置された。それにより、中学校では新たに不登校となった割合が30%減少した。これは、子どもとの関わりをもつ機会の増加や、心の動きを時間をかけて受けとめることができたからである。今後も「新たな一人を出さない」に主眼を置いた取組を期待したい。また、置かれた家庭環境等に起因して生きづらさを感じている子どもは多く、その支援のため令和6年度からスクールソーシャルワーカーが配置された。今後も学校だけでは解決できない課題に対して、保護者を含めた全方位型の手立てを継続をすべきである。

#### (4) 特色ある学校づくり推進事業

市内17校の全学校が、目の前にいる子どもに必要なもの、伸ばしたい力を見つめ、自主的・主体的な取組を行う本事業は、あま市教育の特徴で素晴らしい取組である。ただ、事業として「教師の指導力」「教師力」「授業力」の向上を取組としている学校がある。この取組により子どもに何が還元されたのかを明確にする必要性を感じる。今後も子どもに視点を置いた目的と方策が一致した実践と、成果を含めた評価というサイクルを意識した事業展開が望まれる。

### 3 生涯学習課

教育立市プランの施策5に掲げる「共に考え、学び、楽しむ生涯学習社会」の実現のため、11の大きな柱を設けている。その内容は多種多様で対象になる年齢層も広く、着実な成果を上げている。特に公民館事業では、年間を通して幅広い分野で講座が開講され市民の興味・関心を高める工夫がされている。また、美和文化会館事業では文化芸術分野に親しむという狙いの達成可能な事業が展開されている。さらに、次世代の方に焦点を当てた「あま未来創造塾」は年間通して開催されており、今後も継続することで「見つめ・考え・行動する」という循環の基盤となるような機会を今後も続けることを期待する。

### 4 スポーツ課

スポーツ推進連絡会議を開催し、多くの意見を取り入れ事業を進めることで市民が求めている事業が確実に実施できている。特に、トップアスリート事業の市内、県内で身近に感じられるトップアスリートにふれる機会は魅力的である。またスポーツ行事・大会や社会体育団体育成事業で多くの参加者があり、スポーツに取り組む意欲を高めるのに大きな効果があったと考えられる。今後もスポーツ推進計画に基づいて着実な実践を行い、よりよいスポーツ環境づくりと市民の健やかな心と体の育成に努めることを期待する。

